

Ⅱ. 調査結果の分析 (在住者意識調査)

1. 回答者の標本構成

性別、年代、居住区については、さいたま市の人口（令和6年5月1日現在の18歳以上人口）と対比を行った。

(1) 性別

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
男性	948	42.6%	49.2%
女性	1,205	54.1	50.8
選べない・ 答えたくない	19	0.9	
無回答	55	2.5	
全体	2,227	100.0	100.0

(2) 年代

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
18～19歳	27	1.2%	2.2%
20代	193	8.7	13.5
30代	300	13.5	14.9
40代	390	17.5	17.0
50代	447	20.1	18.2
60代	399	17.9	12.4
70歳以上	418	18.8	21.7
無回答	53	2.4	
全体	2,227	100.0	100.0

(3) 性・年代

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率	属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
男性18～29歳	87	3.9%	7.9%	女性18～29歳	130	5.8%	7.8%
男性30代	126	5.7	7.6	女性30代	171	7.7	7.3
男性40代	177	7.9	8.7	女性40代	207	9.3	8.3
男性50代	186	8.4	9.3	女性50代	254	11.4	8.9
男性60代	183	8.2	6.3	女性60代	213	9.6	6.1
男性70歳以上	189	8.5	9.4	女性70歳以上	228	10.2	12.4
				選べない・ 答えたくない	19	0.9	
				無回答	57	2.6	
				全体	2,227	100.0	100.0

(4) 居住区

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
西区	152	6.8%	7.0%
北区	243	10.9	11.2
大宮区	194	8.7	9.4
見沼区	264	11.9	12.4
中央区	173	7.8	7.7
桜区	136	6.1	7.3
浦和区	274	12.3	12.4
南区	342	15.4	14.4
緑区	207	9.3	9.6
岩槻区	187	8.4	8.5
無回答	55	2.5	
全体	2,227	100.0	100.0

(5) 主に利用する駅

属性	回答者数	比率	属性	回答者数	比率	属性	回答者数	比率
大宮	297	13.3%	与野本町	60	2.7%	東岩槻	38	1.7%
浦和	210	9.4	与野	59	2.6	北与野	27	1.2
北浦和	146	6.6	七里	56	2.5	大宮公園	11	0.5
南浦和	139	6.2	土呂	54	2.4	今羽	11	0.5
武蔵浦和	135	6.1	大和田	52	2.3	加茂宮	9	0.4
岩槻	113	5.1	日進	46	2.1	鉄道博物館	7	0.3
東浦和	91	4.1	西大宮	45	2.0	東宮原	7	0.3
東大宮	87	3.9	中浦和	42	1.9	北大宮	4	0.2
さいたま新都心	82	3.7	浦和美園	41	1.8	吉野原	1	0.0
宮原	80	3.6	指扇	39	1.8	その他	40	1.8
南与野	64	2.9	西浦和	38	1.7	無回答	96	4.3
						全 体	2,227	100.0

(6) 主な移動手段 (複数回答)

属性	回答者数	比率
徒 歩	1,155	51.9%
自転車	927	41.6
自家用車	1,100	49.4
バイク	56	2.5
電 車	1,185	53.2
バ ス	516	23.2
タクシー	82	3.7
その他	8	0.4
無回答	52	2.3

(7) 職業

属性	回答者数	比率
自営業主・家業手伝い	113	5.1%
勤め人(正規職員・正社員)	891	40.0
勤め人(パート・アルバイトなど)	394	17.7
学 生	68	3.1
専業主婦・専業主夫	348	15.6
無職	334	15.0
その他	25	1.1
無回答	54	2.4
全 体	2,227	100.0

(7-1) 勤務先・通学先

属性	回答者数	比率
さいたま市内	627	42.8%
さいたま市以外の埼玉県内	228	15.6
東京都23区	492	33.6
その他の東京都	31	2.1
その他の道府県	59	4.0
無回答	29	2.0
有職者・学生全体	1,466	100.0

(7-2) 通勤・通学時間

属性	回答者数	比率
30分未満	525	35.8%
30分～1時間未満	411	28.0
1時間～1時間半未満	388	26.5
1時間半～2時間未満	101	6.9
2時間以上	19	1.3
無回答	22	1.5
有職者・学生全体	1,466	100.0

(8) 同居している家族構成

属 性	回答者数	比率
一人暮らし	244	11.0%
夫婦だけ	591	26.5
親子（2世代）	1,180	53.0
親と子と孫（3世代）	115	5.2
その他	44	2.0
無回答	53	2.4
全 体	2,227	100.0

(9) 子どもの有無

属 性	回答者数	比率
いる	1,476	66.3%
いない	698	31.3
無回答	53	2.4
全 体	2,227	100.0

(9-1) 子どもの年代（複数回答）

属 性	回答者数	比率
小学校入学前（0～6歳）	229	15.5%
小学生・中学生	303	20.5
高校生・大学生・大学院生・ 短大生・専門学校生	264	17.9
学校教育終了	769	52.1
その他	124	8.4
無回答	12	0.8

(10) 65歳以上の家族の有無

属 性	回答者数	比率
いる	1,137	51.1%
いない	1,057	47.5
無回答	33	1.5
全 体	2,227	100.0

(11) 居住形態

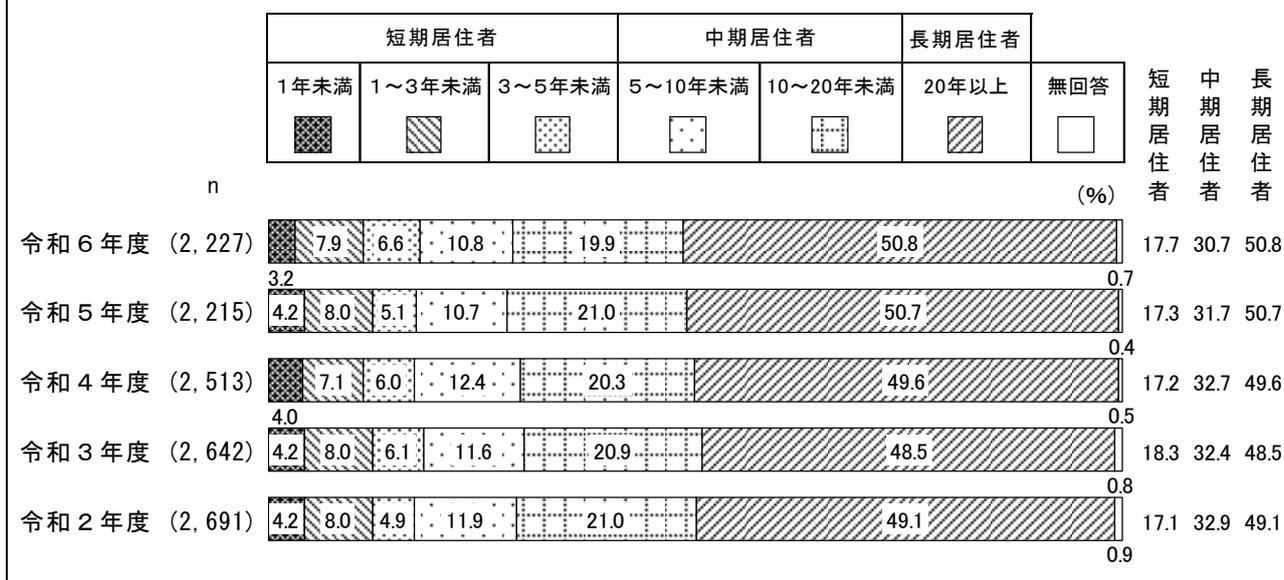
属 性	回答者数	比率
持ち家の一戸建て	1,223	54.9%
持ち家の集合住宅	460	20.7
社宅、公務員住宅など	26	1.2
民間の借家(一戸建て、集合住宅)	398	17.9
公営の借家(UR、市・県営住宅など)	54	2.4
その他	16	0.7
無回答	50	2.2
全 体	2,227	100.0

2. 地域での生活

(1) 居住年数

問1 あなたは、現在の「地域」にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

図2-1-1 居住年数



全体結果

「1年未満」(3.2%)、「1～3年未満」(7.9%)、「3～5年未満」(6.6%)を合わせた『短期居住者』は17.7%、「5～10年未満」(10.8%)と「10～20年未満」(19.9%)を合わせた『中期居住者』は30.7%、「20年以上」の『長期居住者』は50.8%であった。

過去4年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-1-1)

表 2-1-1 居住年数-性・年代別、居住区別-

	n	短期居住者			中期居住者		長期居住者	無回答	短期居住者	中期居住者	長期居住者	(%)
		1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20年以上					
全 体	2,227	3.2	7.9	6.6	10.8	19.9	50.8	0.7	17.7	30.7	50.8	
<性・年代別>												
男 性	948	3.4	8.4	6.9	11.1	19.6	50.0	0.6	18.7	30.7	50.0	
18~29歳	87	10.3	23.0	6.9	4.6	23.0	31.0	1.1	40.2	27.6	31.0	
30代	126	9.5	21.4	20.6	20.6	11.1	16.7	-	51.6	31.7	16.7	
40代	177	2.3	10.7	7.9	22.6	33.3	23.2	-	20.9	55.9	23.2	
50代	186	1.6	1.6	4.3	9.1	27.4	55.4	0.5	7.5	36.6	55.4	
60代	183	1.6	4.4	2.7	7.1	14.8	67.8	1.6	8.7	21.9	67.8	
70歳以上	189	0.5	1.6	3.2	2.6	7.9	83.6	0.5	5.3	10.6	83.6	
女 性	1,205	3.3	7.7	6.7	10.7	20.0	51.0	0.5	17.8	30.7	51.0	
18~29歳	130	7.7	20.0	12.3	6.9	25.4	27.7	-	40.0	32.3	27.7	
30代	171	8.2	16.4	18.7	24.0	10.5	22.2	-	43.3	34.5	22.2	
40代	207	4.8	9.7	5.8	19.8	39.1	20.8	-	20.3	58.9	20.8	
50代	254	2.0	3.9	4.7	7.5	28.3	52.8	0.8	10.6	35.8	52.8	
60代	213	-	2.8	2.3	5.6	11.3	77.5	0.5	5.2	16.9	77.5	
70歳以上	228	0.4	1.3	1.8	3.1	5.7	86.4	1.3	3.5	8.8	86.4	
<居住区別>												
西 区	152	3.3	5.9	7.2	12.5	13.2	57.9	-	16.4	25.7	57.9	
北 区	243	2.1	9.5	8.2	8.6	23.5	46.5	1.6	19.8	32.1	46.5	
大 宮 区	194	3.6	10.8	8.2	8.2	17.0	51.0	1.0	22.7	25.3	51.0	
見 沼 区	264	4.5	8.3	3.4	11.0	17.8	54.9	-	16.3	28.8	54.9	
中 央 区	173	3.5	8.7	6.9	12.1	19.1	49.1	0.6	19.1	31.2	49.1	
桜 区	136	2.9	7.4	2.9	8.8	16.9	59.6	1.5	13.2	25.7	59.6	
浦 和 区	274	1.8	8.4	6.9	13.5	21.5	47.4	0.4	17.2	35.0	47.4	
南 区	342	4.1	8.5	7.9	10.5	25.4	43.0	0.6	20.5	36.0	43.0	
緑 区	207	3.9	5.3	8.7	13.5	24.2	44.4	-	17.9	37.7	44.4	
岩 槻 区	187	3.2	5.3	5.9	9.6	13.4	62.6	-	14.4	23.0	62.6	

属 性 別

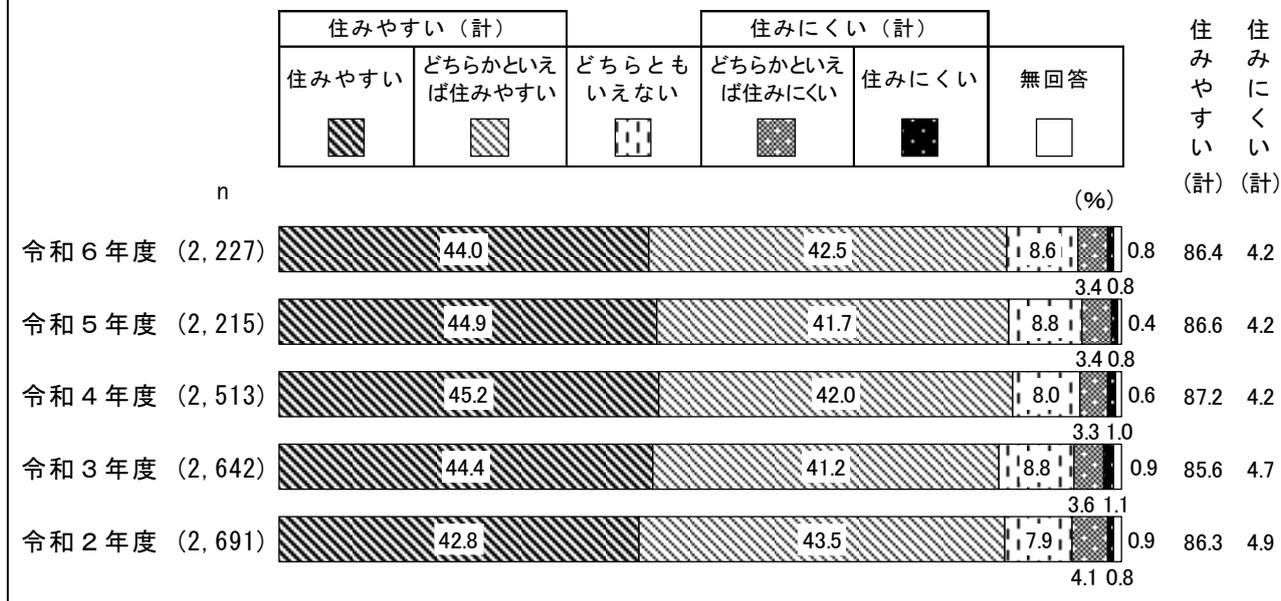
性・年代別でみると、『短期居住者』は男性30代(51.6%)、『中期居住者』は男女40代で5割を超えた。一方、『長期居住者』は、男女とも50代以上で5割を超え、70歳以上は8割を超えた。

居住区別でみると、『長期居住者』は、岩槻区が62.6%で最も高く、桜区(59.6%)、西区(57.9%)、見沼区(54.9%)、大宮区(51.0%)が5割台で続いた。(表2-1-1)(表2-1-1)

(2) 住み心地

問2 あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうですか。(○は1つ)

図2-2-1 住み心地

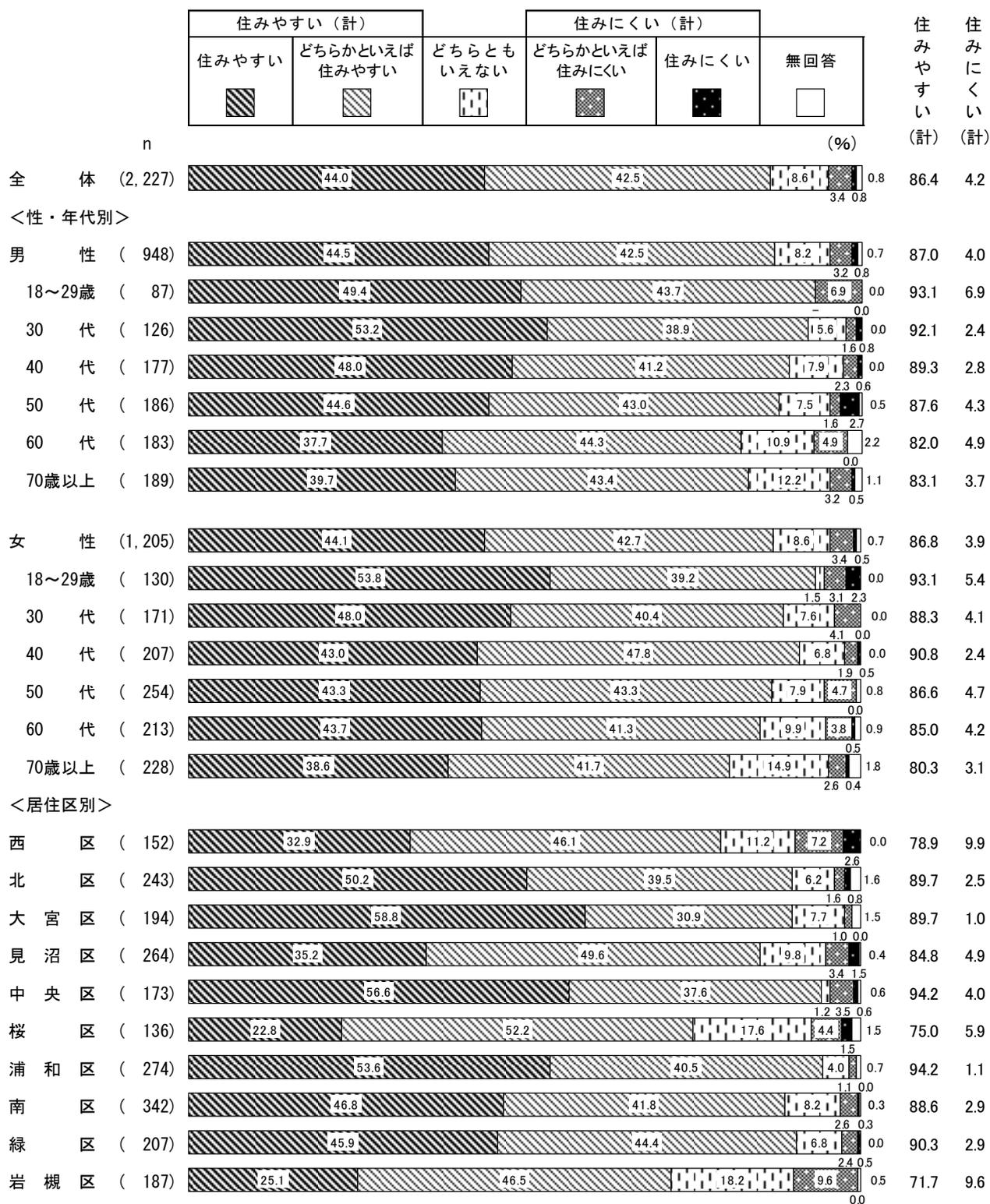


全体結果

「住みやすい」(44.0%)と「どちらかといえば住みやすい」(42.5%)を合わせた『住みやすい(計)』(86.4%)は、8割半ばであった。一方、「どちらかといえば住みにくい」(3.4%)と「住みにくい」(0.8%)を合わせた『住みにくい(計)』(4.2%)は、1割未満であった。

過去4年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-2-1)

図2-2-2 住み心地—性・年代別、居住区別—



属性別

性・年代別でみると、『住みやすい (計)』は、男女とも18~29歳 (ともに93.1%) が最も高く、男性30代 (92.1%)、女性40代 (90.8%) も9割台であった。

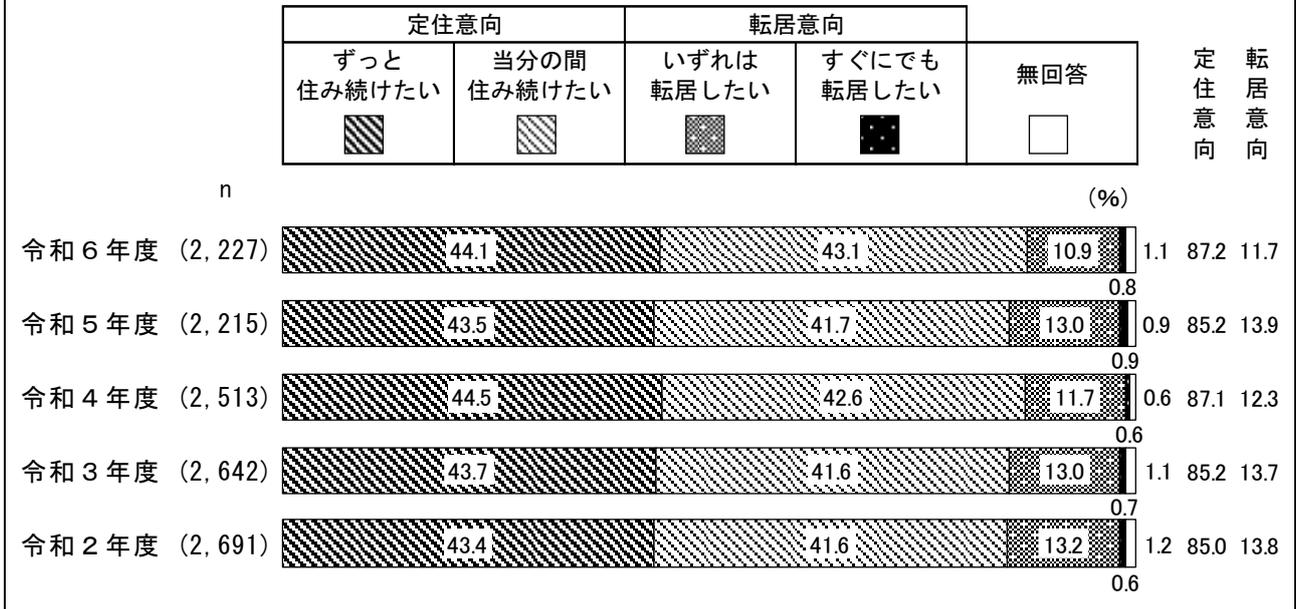
居住区別でみると、『住みやすい (計)』は、中央区、浦和区 (ともに94.2%)、緑区 (90.3%) で9割台であった。一方、岩槻区 (71.7%)、桜区 (75.0%)、西区 (78.9%) は7割台であった。

(図2-2-2)

(3) 定住意向

問3 あなたは、現在お住まいの「地域」にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

図2-3-1 定住意向

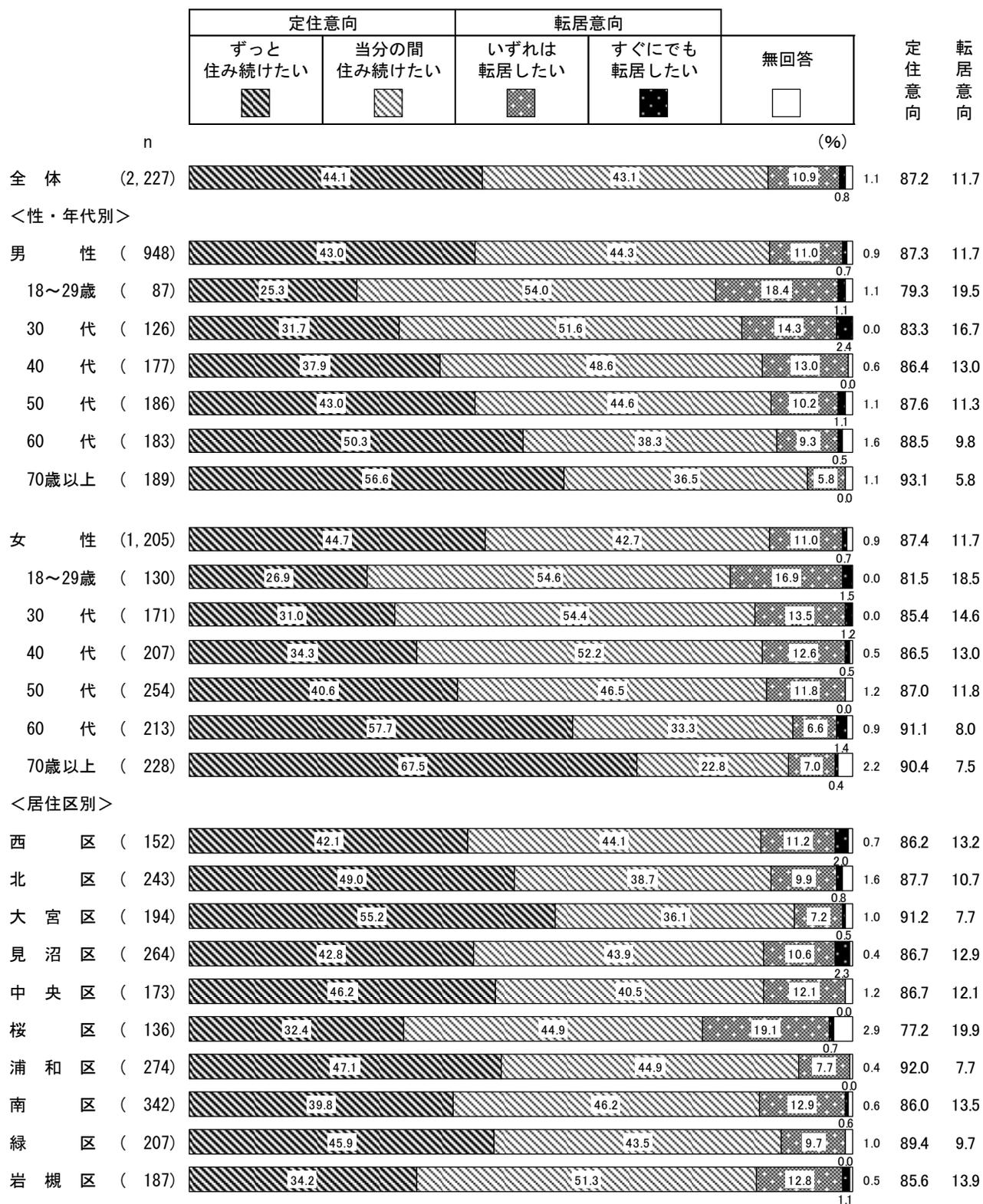


全体結果

「ずっと住みたい」(44.1%)と「当分の間住みたい」(43.1%)を合わせた『定住意向』(87.2%)は、9割近くであった。一方、「いずれは転居したい」(10.9%)と「すぐにでも転居したい」(0.8%)を合わせた『転居意向』(11.7%)は、1割を超えた。

過去4年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-3-1)

図 2-3-2 定住意向—性・年代別、居住区別—



属性別

性・年代別でみると、『定住意向』は、男性 18～29 歳 (79.3%) を除き 8 割以上であり、男性 70 歳以上 (93.1%)、女性 60 代以上は 9 割台であった。

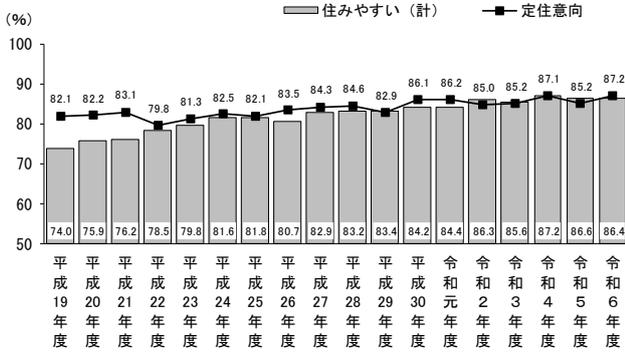
居住区別でみると、『定住意向』は、浦和区 (92.0%)、大宮区 (91.2%) で 9 割を超えた。

(図 2-3-2)

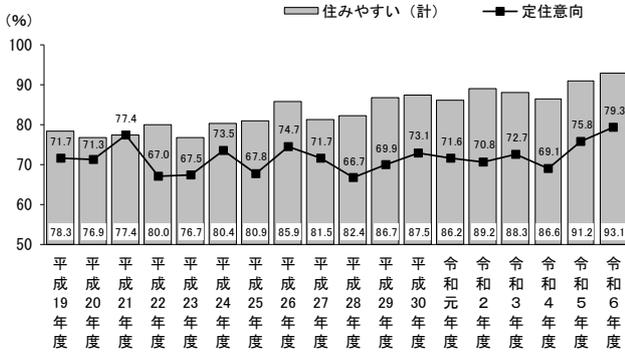
(4) 住みやすさと定住意向の推移

図2-4-1 住みやすさと定住意向の推移—性・年代別—

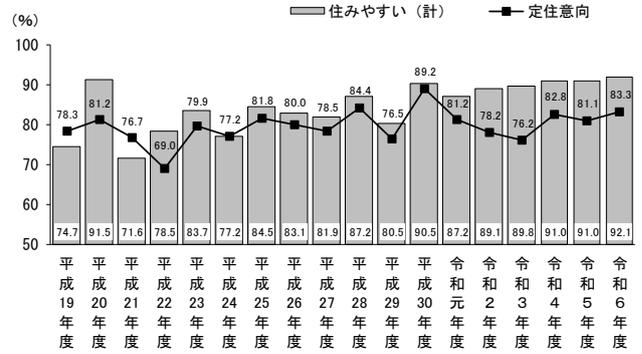
全体結果



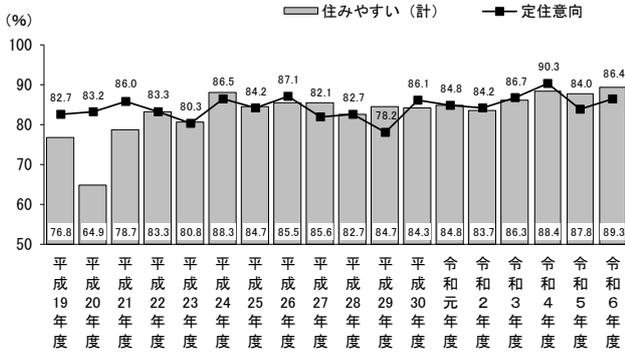
男性18~29歳



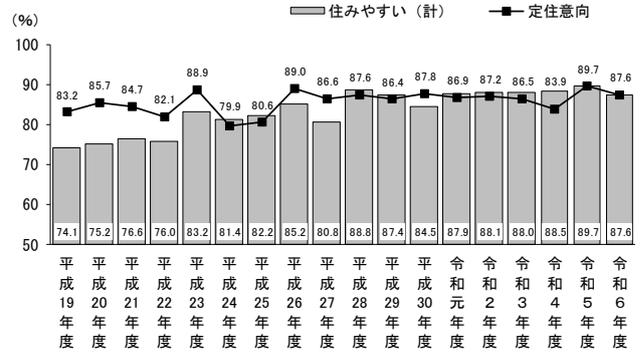
男性30代



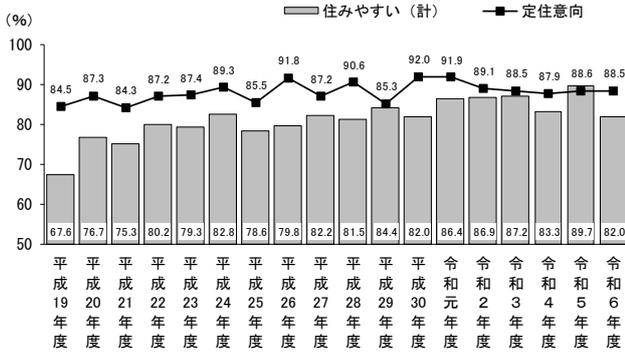
男性40代



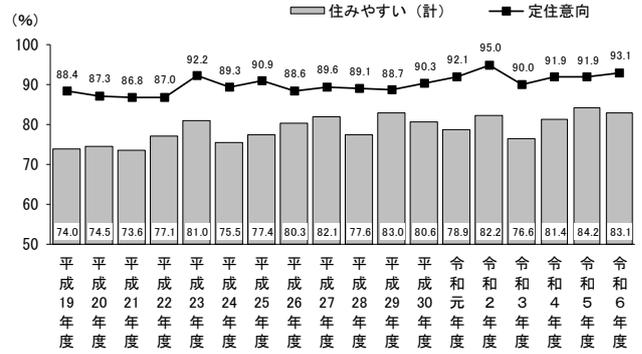
男性50代



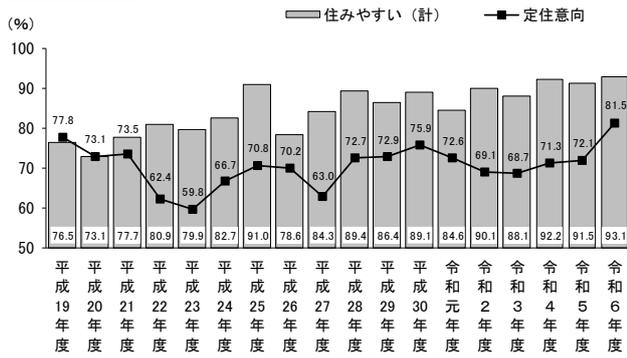
男性60代



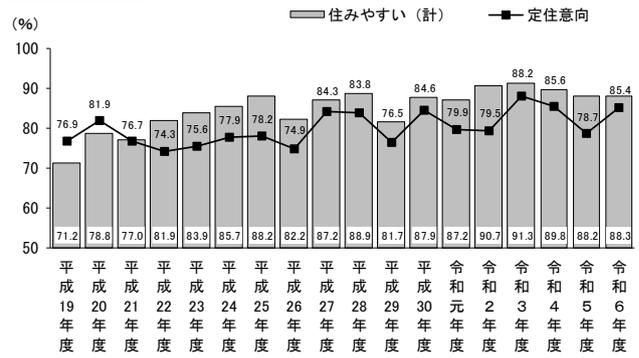
男性70歳以上



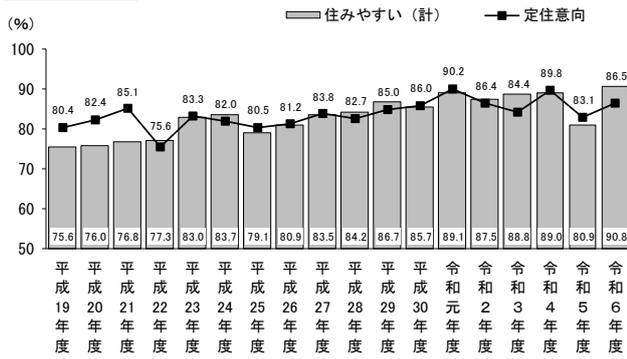
女性18～29歳



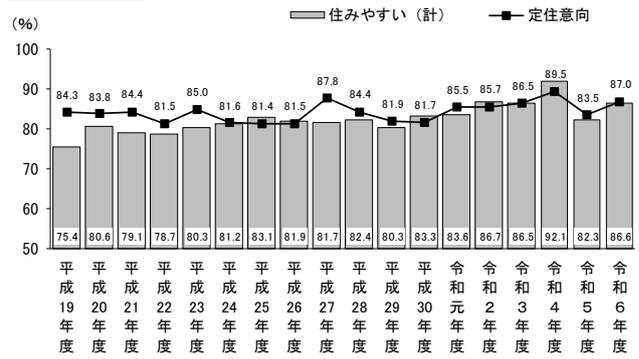
女性30代



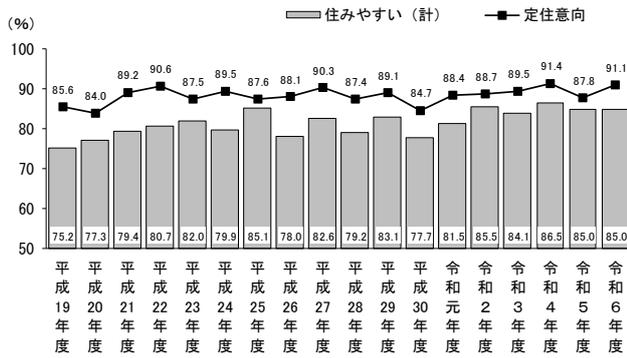
女性40代



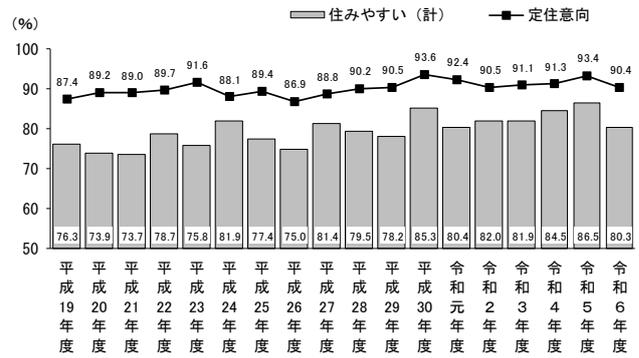
女性50代



女性60代



女性70歳以上



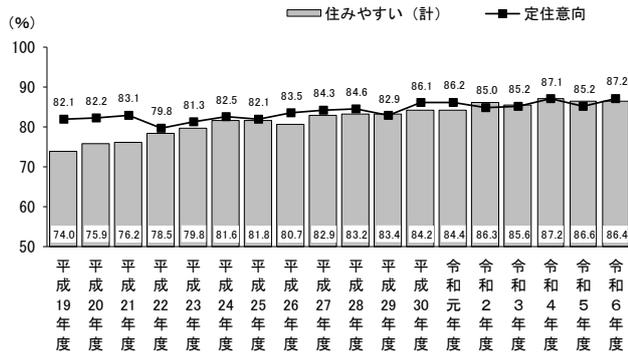
(注記) 「男性18～29歳」「女性18～29歳」は、平成27年度までは「男性20～29歳」「女性20～29歳」で集計している。

性・年代別でみると、『住みやすい (計)』は、男女ともすべての年代で平成19年度を上回り、男性は60代以下、女性は50代以下で10ポイント以上増加した。

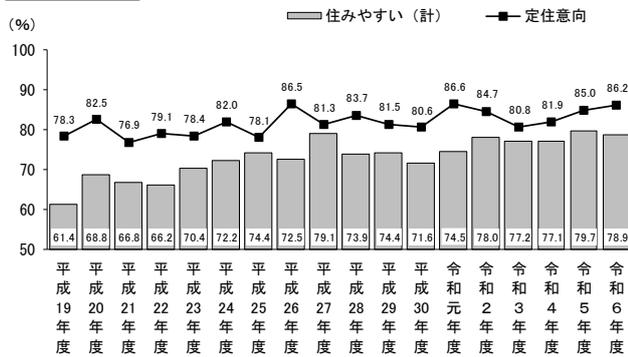
『定住意向』は、男女ともすべての年代で平成19年度を上回った。(図2-4-1)

図2-4-2 住みやすさと定住意向の推移—居住区別—

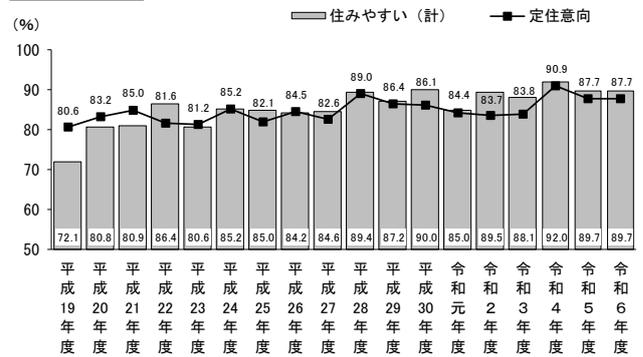
全体結果



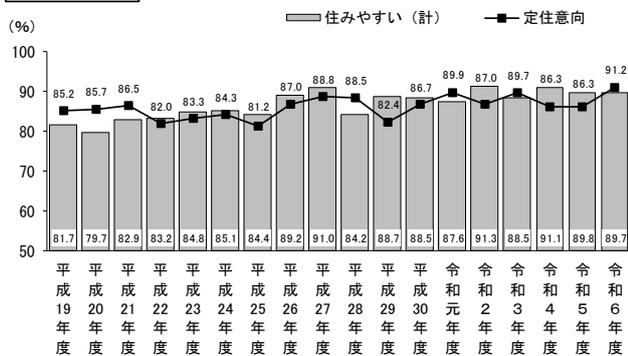
西区



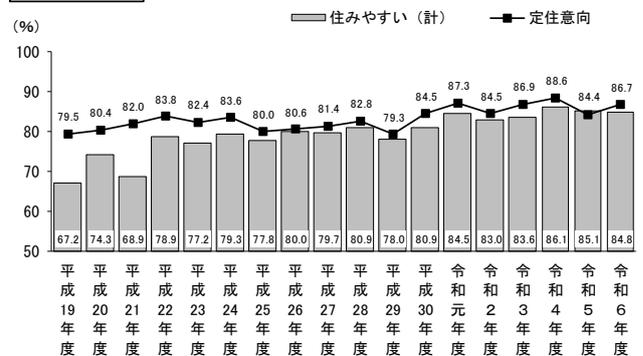
北区



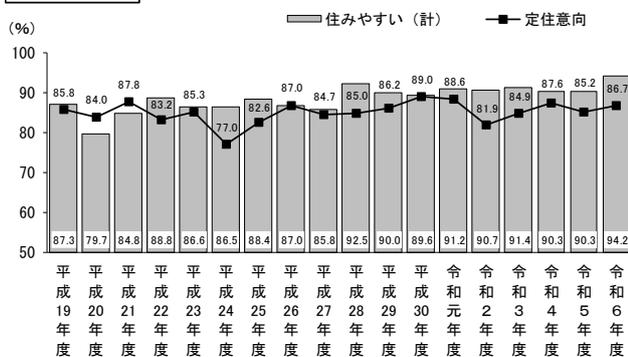
大宮区



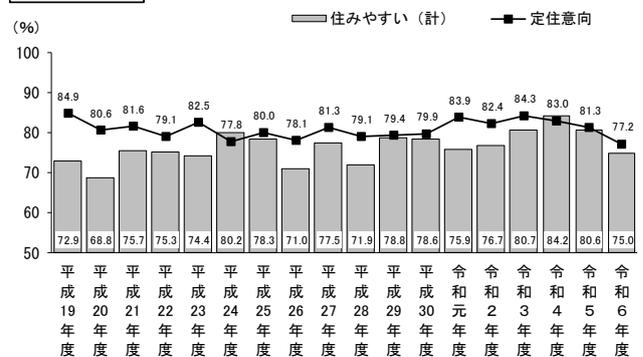
見沼区

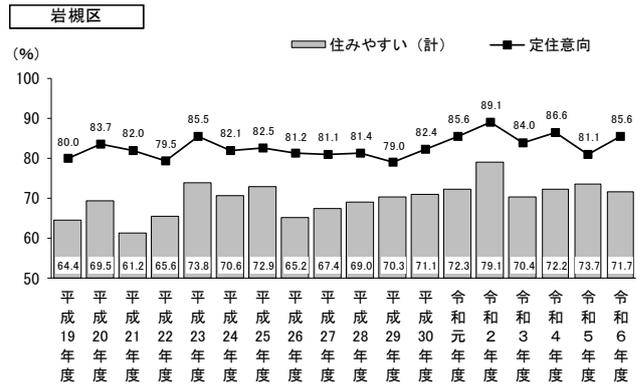
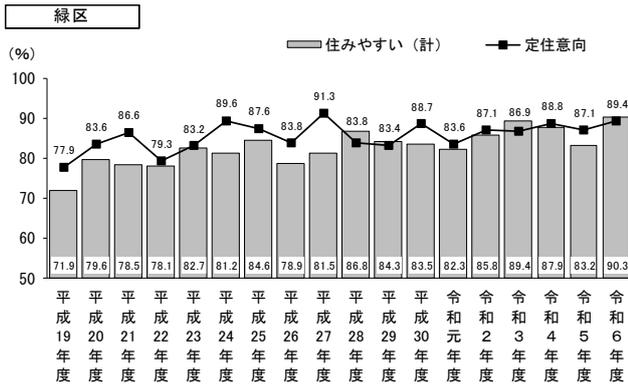
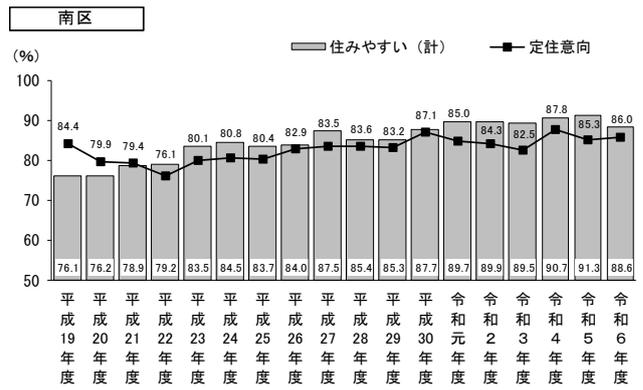
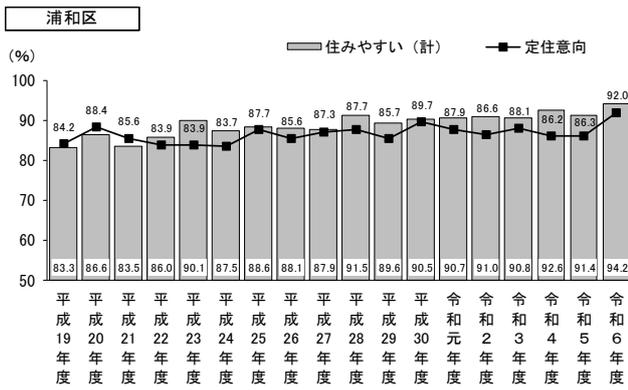


中央区



桜区



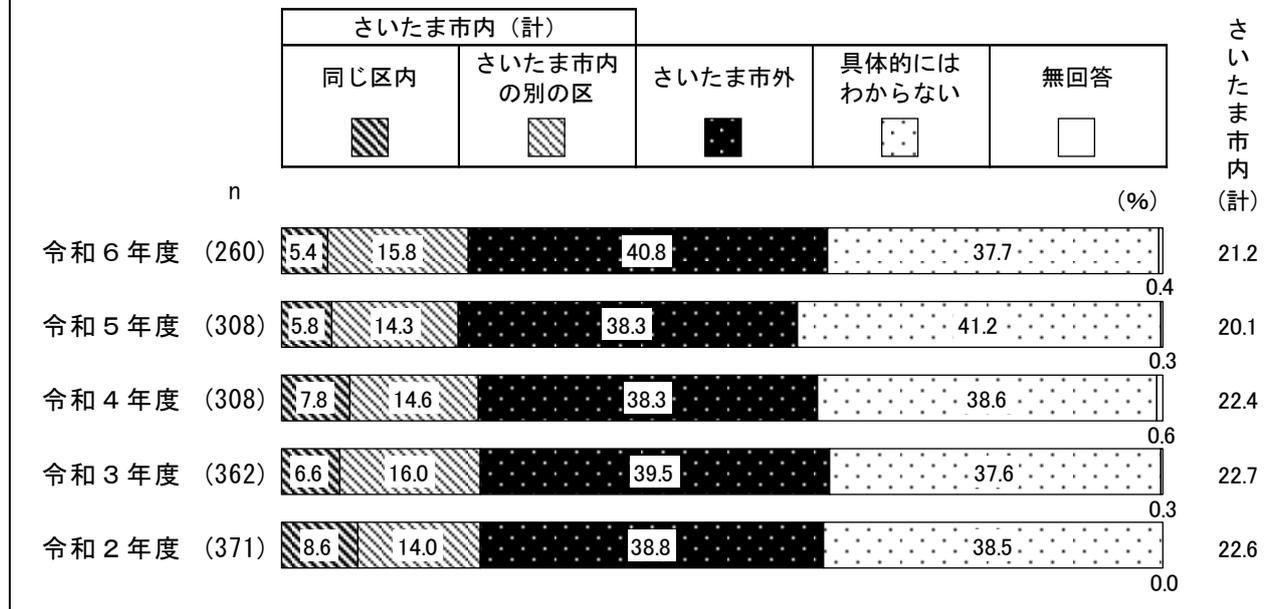


居住区別で見ると、『住みやすい(計)』は、すべての区で平成19年度を上回り、10区中6区は10ポイント以上増加した。(図2-4-2)

(5) 希望する転居先

(問3で「いずれは転居したい」「すぐにでも転居したい」と答えた方に)
問3-1 どこに転居したいと思いますか。(〇は1つ)

図2-5-1 希望する転居先

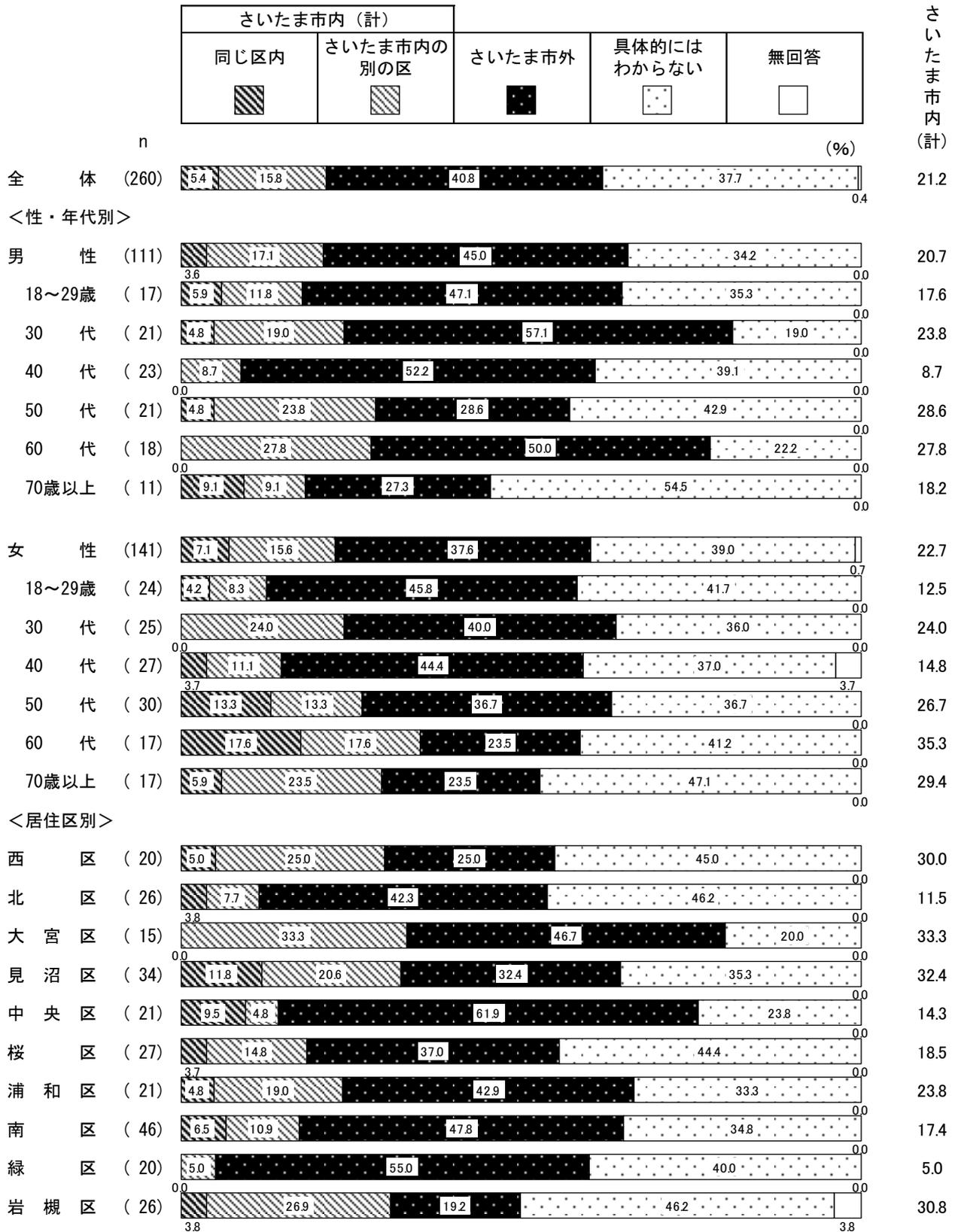


全体結果

「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」と答えた人の、希望する転居先は、「さいたま市外」が40.8%で、「同じ区内」(5.4%)と「さいたま市内の別の区」(15.8%)を合わせた『さいたま市内(計)』(21.2%)を上回った。

過去4年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-5-1)

図 2-5-2 希望する転居先一性・年代別、居住区別一



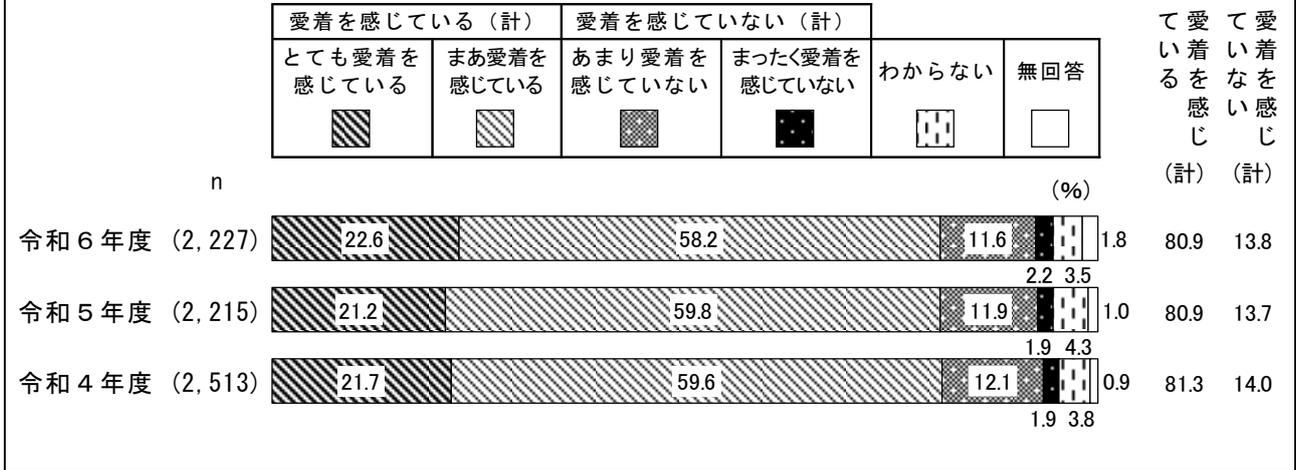
属性別

性別でみると、「さいたま市外」は男性が45.0%、「具体的にはわからない」は女性が39.0%で最も高く、『さいたま市内 (計)』は、男女とも2割台であった。(図2-5-2)

(6) 地域への愛着

問4 あなたは、現在お住まいの「地域」に愛着を感じていますか。(○は1つ)

図2-6-1 地域への愛着

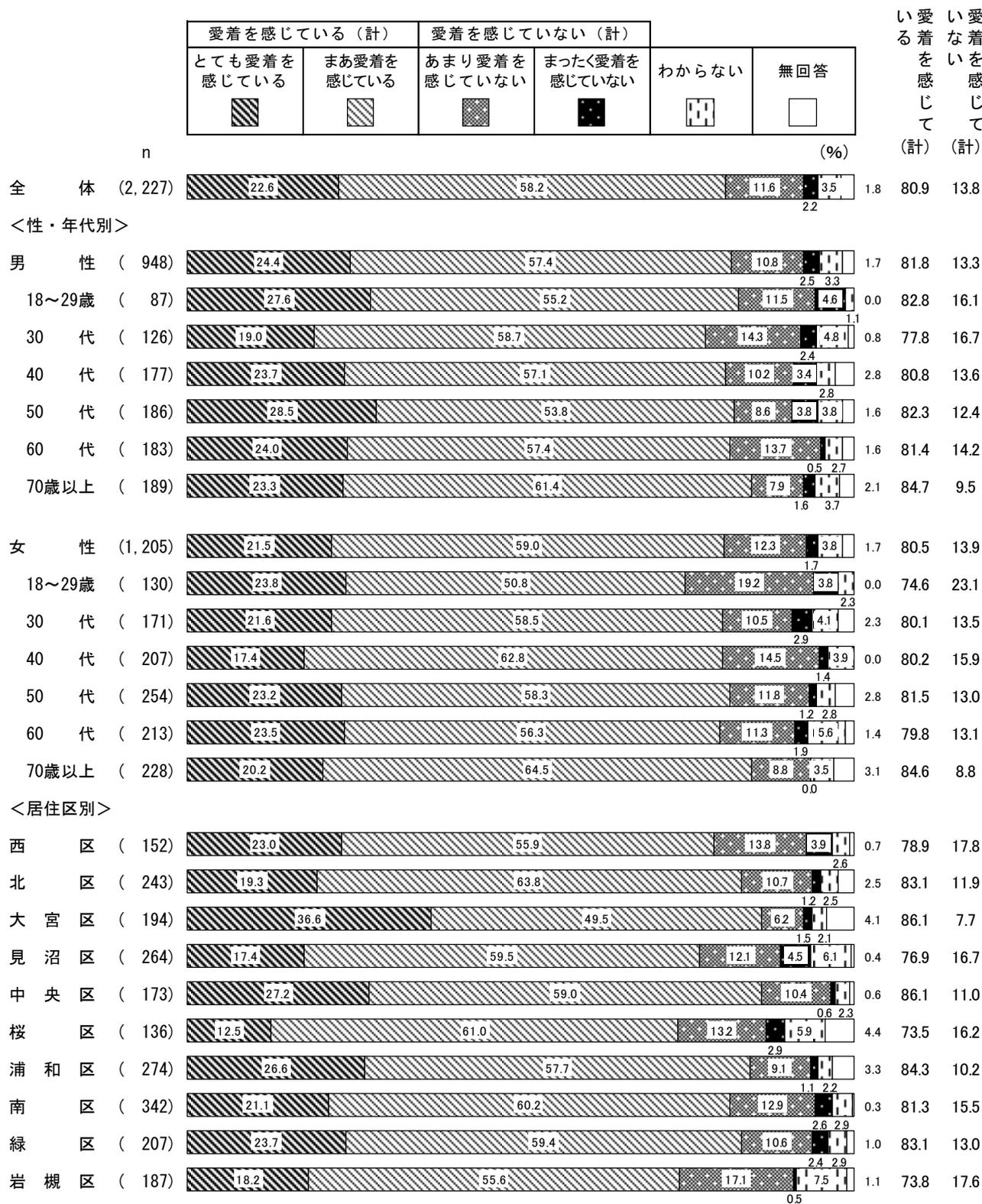


全体結果

「とても愛着を感じている」(22.6%)と「まあ愛着を感じている」(58.2%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(80.9%)は、ほぼ8割であった。一方、「あまり愛着を感じていない」(11.6%)と「まったく愛着を感じていない」(2.2%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(13.8%)は、1割を超えた。

過去2年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-6-1)

図2-6-2 地域への愛着—性・年代別、居住区別—



属性別

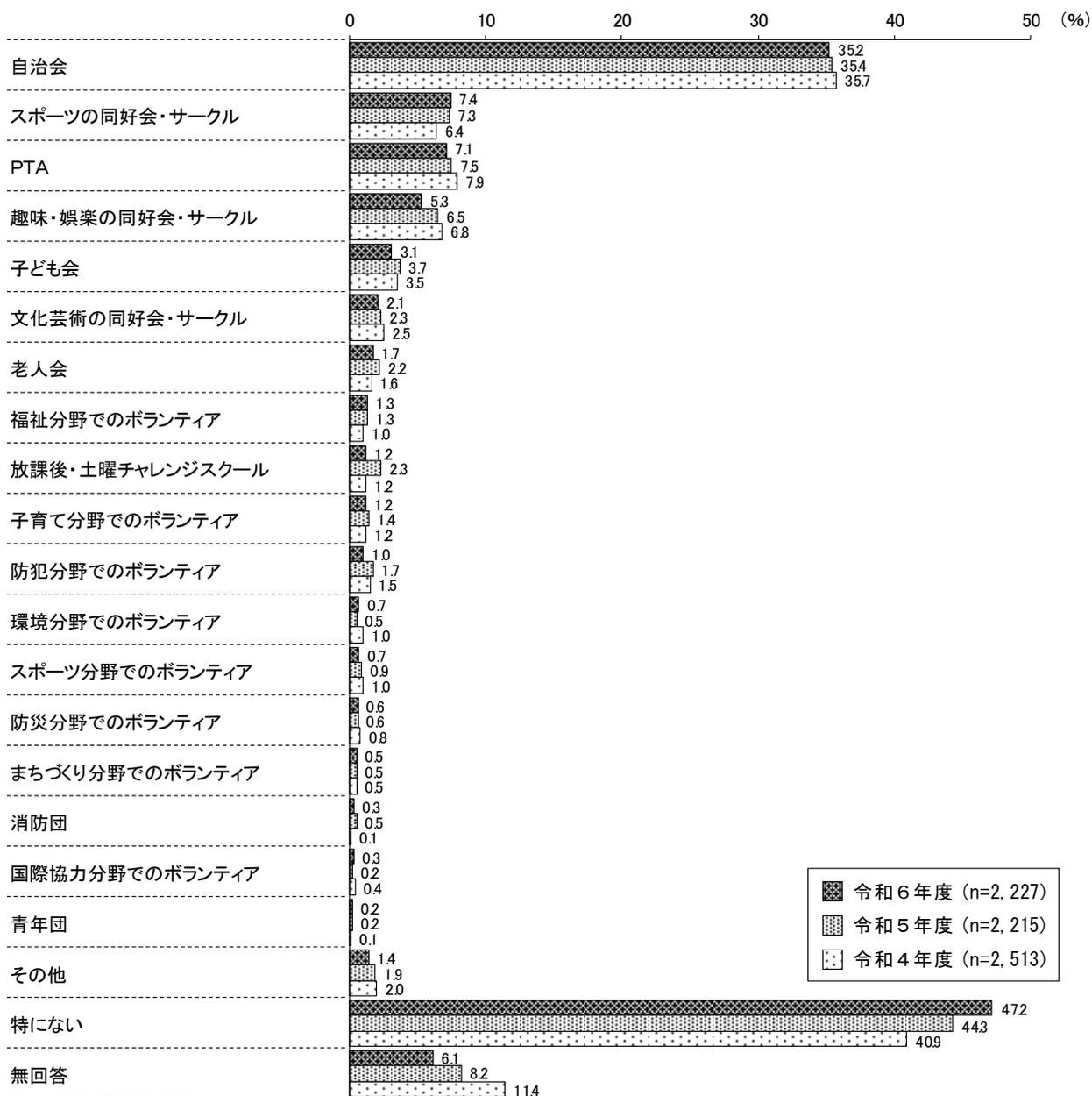
性・年代別でみると、『愛着を感じている (計)』は、男女とも70歳以上が8割半ばで最も高かった。居住区別でみると、『愛着を感じている (計)』は、大宮区と中央区がともに86.1%で最も高く、10区中6区で8割台であった。(図2-6-2)

(7) 現在参加している地域活動

問5 あなたは、どんな活動に参加していますか。

(1) 現在、参加しているすべての活動に○をつけてください。(○はいくつでも)

図2-7-1 現在参加している地域活動



全体結果

「自治会」(35.2%)が3割半ばで、それ以外の活動はいずれも1割未満であった。一方、「特にない」(47.2%)は、5割近くであった。

過去2年間の調査結果と比較すると、「特にない」が増加傾向にある。(図2-7-1)

表 2-7-1 現在参加している地域活動－性・年代別、居住区別－（上位 10 項目）

												(%)
	n	自治会	スポーツの同好会・サークル	P T A	趣味・娯楽の同好会・サークル	子ども会	文化芸術の同好会・サークル	老人会	福祉分野でのボランティア	放課後・土曜チャレ	子育て分野でのボランティア	
全 体	2,227	35.2	7.4	7.1	5.3	3.1	2.1	1.7	1.3	1.2	1.2	
<性・年代別>												
男 性	948	33.0	7.6	4.6	3.6	2.2	1.1	2.1	0.6	0.6	1.1	
18～29歳	87	6.9	4.6	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	
30 代	126	17.5	4.8	4.0	0.8	5.6	0.8	-	-	-	0.8	
40 代	177	31.1	4.5	15.3	1.1	5.6	0.6	-	-	1.7	1.1	
50 代	186	35.5	7.0	5.9	2.2	1.1	-	-	-	-	1.6	
60 代	183	40.4	9.3	-	6.6	0.5	1.6	2.2	1.1	0.5	1.1	
70歳以上	189	47.6	12.7	-	7.4	0.5	2.6	8.5	2.1	1.1	1.1	
女 性	1,205	36.8	6.9	9.0	6.6	3.9	2.7	1.4	2.0	1.7	1.2	
18～29歳	130	6.2	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
30 代	171	21.1	3.5	17.0	-	6.4	0.6	-	-	5.8	0.6	
40 代	207	40.1	5.3	33.8	3.4	16.4	1.0	-	1.0	3.4	2.4	
50 代	254	42.9	5.1	3.9	2.8	0.4	2.0	-	1.6	0.8	0.8	
60 代	213	43.7	10.3	-	10.3	-	4.2	0.9	3.8	-	2.3	
70歳以上	228	50.0	12.7	-	19.3	0.4	7.0	6.6	4.4	0.4	0.9	
<居住区別>												
西 区	152	47.4	6.6	5.3	9.2	3.3	5.3	4.6	1.3	1.3	2.0	
北 区	243	34.6	5.3	6.6	5.3	2.5	2.5	2.5	1.6	0.4	0.8	
大 宮 区	194	36.1	8.8	7.7	6.2	2.1	2.1	1.5	1.0	-	1.0	
見 沼 区	264	40.2	9.1	6.1	4.9	1.5	2.3	1.9	0.8	1.5	0.4	
中 央 区	173	25.4	8.1	5.8	1.7	3.5	2.9	0.6	1.7	1.7	3.5	
桜 区	136	36.0	11.8	5.9	5.9	1.5	2.2	0.7	1.5	0.7	0.7	
浦 和 区	274	27.7	6.2	6.6	4.7	5.5	1.1	1.1	1.5	1.1	-	
南 区	342	32.2	5.6	8.5	6.1	4.4	1.2	0.9	0.9	1.2	2.0	
緑 区	207	39.1	5.8	10.1	3.9	5.8	1.9	1.4	1.4	2.9	1.0	
岩 槻 区	187	38.0	7.5	8.0	5.3	0.5	1.1	2.7	2.7	1.1	0.5	

属 性 別

性・年代別でみると、「自治会」は、男女とも年代が上がるにつれ高くなり、男性 60 代以上、女性 40 代以上で 4 割以上、女性 70 歳以上は 5 割であった。一方、男女とも 18～29 歳は 1 割未満であった。また、「P T A」は、女性 40 代（33.8%）で 3 割を超え、「趣味・娯楽の同好会・サークル」は、女性 70 歳以上（19.3%）でほぼ 2 割であった。

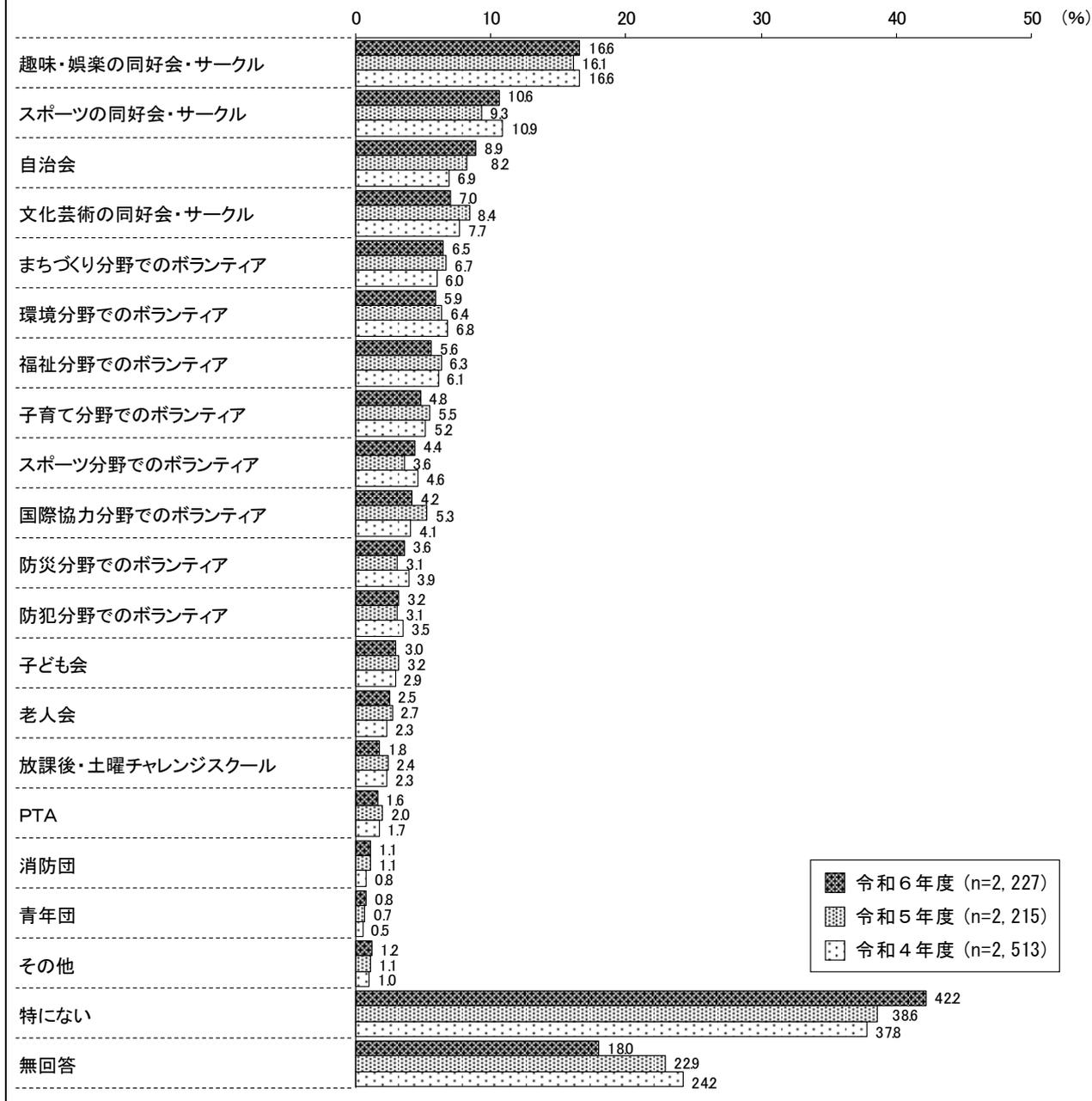
居住区別でみると、「自治会」は、西区が 47.4%で最も高く、見沼区（40.2%）も 4 割であった。一方、中央区（25.4%）、浦和区（27.7%）は 2 割台であった。（表 2-7-1）

(8) 今後参加したい地域活動

問5 あなたは、どんな活動に参加していますか。

(2) 今後、参加したいと思うすべての活動に○をつけてください。引き続き参加したい活動も含みます。(○はいくつでも)

図2-8-1 今後参加したい地域活動



全体結果

「趣味・娯楽の同好会・サークル」(16.6%)、「スポーツの同好会・サークル」(10.6%)が1割台で、それ以外の活動はいずれも1割未満であった。一方、「特にない」(42.2%)は、4割を超えた。過去2年間の調査結果と比較すると、「特にない」が増加傾向にある。(図2-8-1)

表 2-8-1 今後参加したい地域活動－性・年代別、居住区別－（上位 10 項目）

		(%)												
	n	会 趣 味 ・ サ ー ク ル の 同 好	サ ー ク ル の 同 好 会 ・	自 治 会	サ ー ク ル の 同 好 会 ・	ボ ラ ン テ ィ ア 分 野 の	ま ち づ く り 分 野 の	テ ィ ア 分 野 の	環 境 分 野 の	福 祉 分 野 の	子 育 て 分 野 の	ラ ン テ ィ ア 分 野 の	ラ ン テ ィ ア 分 野 の	国 際 協 力 分 野 の
全 体	2,227	16.6	10.6	8.9	7.0	6.5	5.9	5.6	4.8	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2
<性・年代別>														
男 性	948	15.1	11.3	8.8	5.4	8.0	6.5	3.9	3.8	6.0	4.5	4.5	4.5	4.5
18～29歳	87	10.3	18.4	3.4	3.4	4.6	4.6	1.1	3.4	12.6	2.3	2.3	2.3	2.3
30 代	126	8.7	11.1	8.7	4.0	5.6	3.2	2.4	4.8	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
40 代	177	8.5	9.6	7.9	2.3	6.2	4.0	1.7	4.0	4.5	5.1	5.1	5.1	5.1
50 代	186	16.7	9.1	10.8	5.4	10.2	10.8	6.5	4.8	7.0	5.4	5.4	5.4	5.4
60 代	183	24.0	10.9	8.7	8.7	13.1	8.7	5.5	5.5	7.1	5.5	5.5	5.5	5.5
70歳以上	189	17.5	12.2	10.1	6.9	5.8	5.8	4.2	0.5	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
女 性	1,205	17.9	10.2	9.2	8.4	5.6	5.4	7.1	5.8	3.2	4.0	4.0	4.0	4.0
18～29歳	130	5.4	11.5	2.3	2.3	3.1	3.1	2.3	1.5	3.8	6.9	6.9	6.9	6.9
30 代	171	12.3	13.5	7.6	8.2	3.5	2.3	3.5	7.6	2.3	4.7	4.7	4.7	4.7
40 代	207	15.5	6.3	11.1	7.7	5.3	5.8	8.2	10.6	3.4	5.3	5.3	5.3	5.3
50 代	254	20.9	14.6	9.1	10.6	5.9	6.3	7.9	6.7	7.1	4.7	4.7	4.7	4.7
60 代	213	26.8	8.9	13.1	10.8	8.9	8.5	9.9	6.6	-	2.8	2.8	2.8	2.8
70歳以上	228	20.2	7.0	9.2	7.9	5.3	4.8	8.3	0.9	1.8	0.9	0.9	0.9	0.9
<居住区別>														
西 区	152	13.8	11.8	9.2	5.3	5.9	7.2	6.6	2.0	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0
北 区	243	18.1	12.8	10.3	7.0	4.5	7.4	7.0	2.9	6.6	4.5	4.5	4.5	4.5
大 宮 区	194	22.2	11.9	9.3	10.8	8.8	6.2	5.2	4.6	4.6	5.2	5.2	5.2	5.2
見 沼 区	264	15.5	12.5	9.5	5.7	4.9	6.8	4.2	4.9	3.4	2.7	2.7	2.7	2.7
中 央 区	173	15.6	11.6	8.1	8.1	5.8	4.6	5.8	5.8	3.5	1.7	1.7	1.7	1.7
桜 区	136	18.4	8.1	7.4	8.1	6.6	7.4	5.9	2.9	2.9	3.7	3.7	3.7	3.7
浦 和 区	274	15.7	10.6	10.2	7.3	9.1	4.7	5.5	4.4	4.4	6.9	6.9	6.9	6.9
南 区	342	16.1	9.1	8.2	6.4	5.8	4.4	5.3	7.6	4.1	5.3	5.3	5.3	5.3
緑 区	207	18.4	11.6	8.2	7.7	9.2	8.2	7.7	7.7	7.7	6.3	6.3	6.3	6.3
岩 槻 区	187	12.8	7.0	8.6	5.3	5.3	3.2	4.3	3.2	3.2	1.6	1.6	1.6	1.6

属 性 別

性・年代別でみると、「趣味・娯楽の同好会・サークル」は、男性 60 代（24.0%）、女性 50 代以上で 2 割台であった。また、「スポーツの同好会・サークル」は、男性 18～29 歳（18.4%）で 2 割近くであった。

居住区別でみると、「趣味・娯楽の同好会・サークル」は、大宮区（22.2%）で 2 割を超えた。

（表 2-8-1）

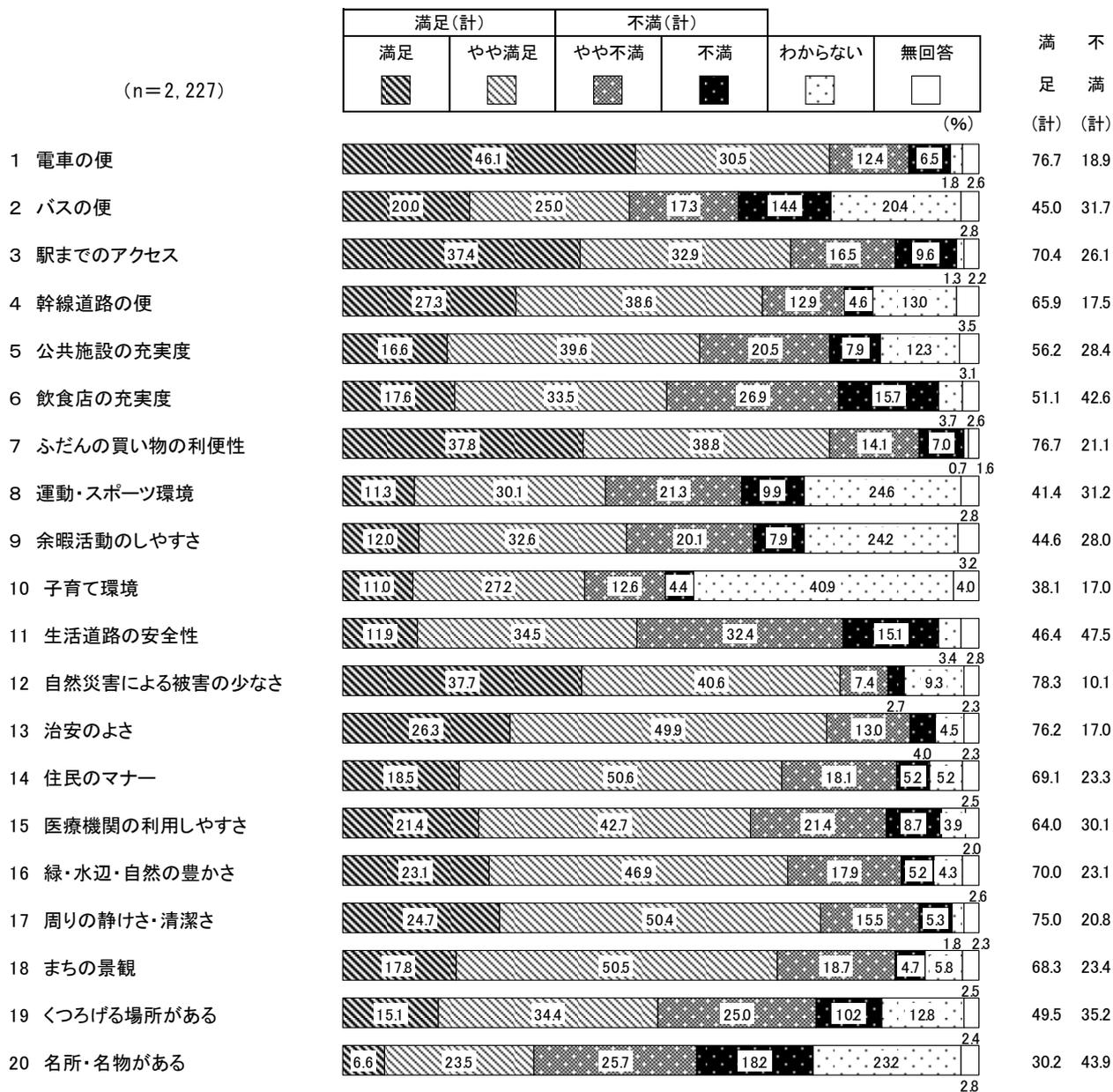
(9) 居住地域の満足度と今後の発展の方向性

問6 あなたの現在お住まいの「地域」について質問します。

(1) あなたは、お住まいの「地域」について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

図2-9-1 居住地域の満足度



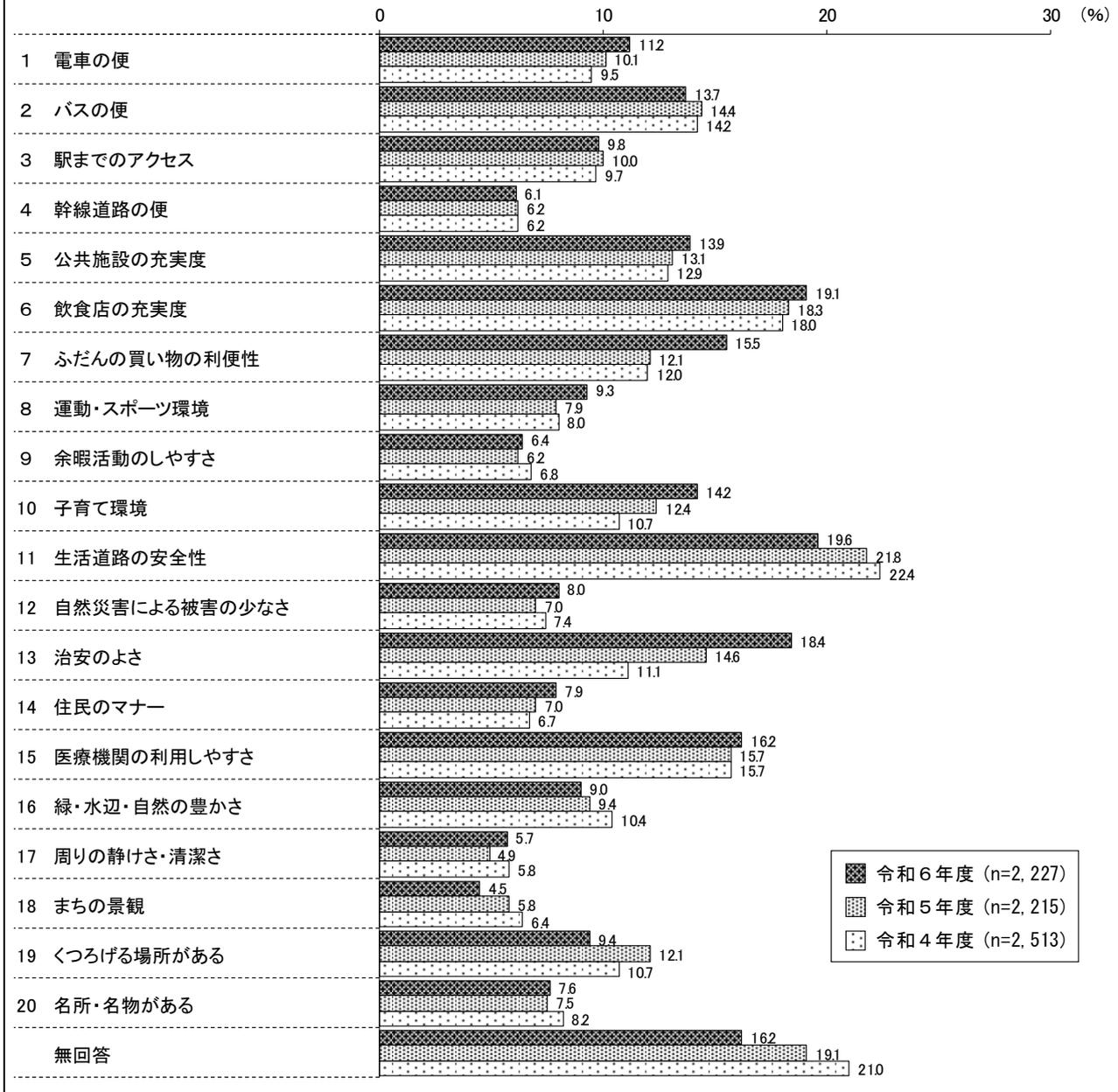
全体結果

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は、「自然災害による被害の少なさ」が78.3%で最も高く、「電車の便」、「ふだんの買い物の利便性」(ともに76.7%)、「治安のよさ」(76.2%)が続き、20項目中13項目で5割を超えた。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満(計)』は、「生活道路の安全性」が47.5%で最も高く、「名所・名物がある」(43.9%)、「飲食店の充実度」(42.6%)が続いた。(図2-9-1)

問6 あなたの現在お住まいの「地域」について質問します。

(2) あなたは、お住まいの「地域」が、今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。
(○は3つまで)

図2-9-2 居住地域の今後の発展の方向性



全体結果

「生活道路の安全性」が19.6%で最も高く、「飲食店の充実度」(19.1%)、「治安のよさ」(18.4%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、「治安のよさ」(18.4%)、「ふだんの買い物の利便性」(15.5%)、「子育て環境」(14.2%)などが増加傾向にある。(図2-9-2)

20項目に分けて質問した「居住地域の満足度」にあてはまる割合（「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の4段階）を得点化し、スコアを算出して比較を行った。

満足	+ 2
やや満足	+ 1
わからない	0
やや不満	- 1
不満	- 2

居住地域の満足度と今後の発展の方向性は、表2-9-1に示した4分野・20項目を設定している。

表2-9-1 居住地域の満足度と今後の発展の方向性（質問項目）

分野	質問項目
交通利便	1 電車の便
	2 バスの便
	3 駅までのアクセス
	4 幹線道路の便
生活利便	5 公共施設の充実度
	6 飲食店の充実度
	7 ふだんの買い物の利便性
	8 運動・スポーツ環境
	9 余暇活動のしやすさ
	10 子育て環境
安心・安全	11 生活道路の安全性
	12 自然災害による被害の少なさ
	13 治安のよさ
	14 住民のマナー
	15 医療機関の利用しやすさ
快適さ・親しみ	16 緑・水辺・自然の豊かさ
	17 周りの静けさ・清潔さ
	18 まちの景観
	19 くつろげる場所がある
	20 名所・名物がある

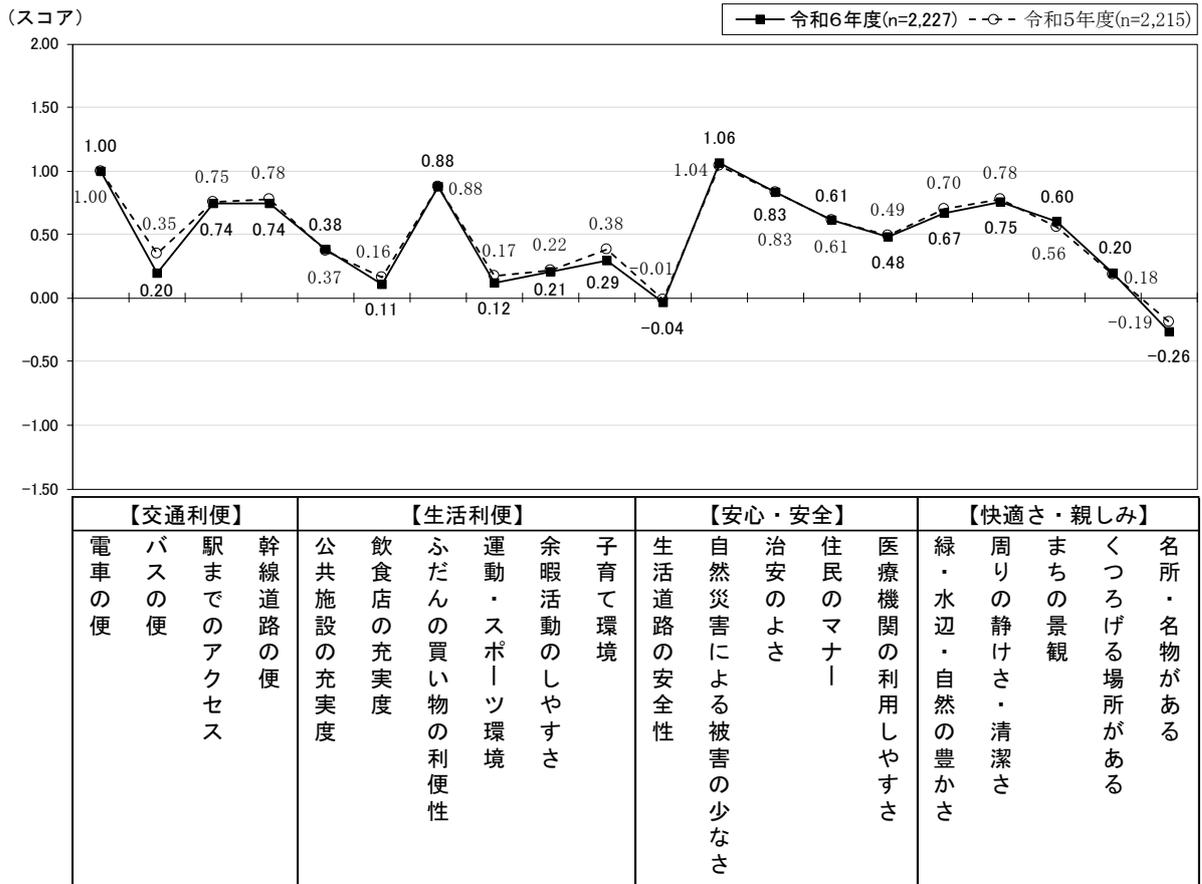
「居住地域の満足度」のスコアを算出した結果は表 2-9-2 のとおりである。「居住地域の今後の発展の方向性」の回答比率と合わせて示した。

表 2-9-2 居住地域の満足度と今後の発展の方向性（全体結果）

分野	質問項目	(1) 居住地域の満足度	(2) 今後の発展の方向性 (%)
交通利便	1 電車の便	1.00	11.2
	2 バスの便	0.20	13.7
	3 駅までのアクセス	0.74	9.8
	4 幹線道路の便	0.74	6.1
生活利便	5 公共施設の充実度	0.38	13.9
	6 飲食店の充実度	0.11	19.1
	7 ふだんの買い物の利便性	0.88	15.5
	8 運動・スポーツ環境	0.12	9.3
	9 余暇活動のしやすさ	0.21	6.4
	10 子育て環境	0.29	14.2
安心・安全	11 生活道路の安全性	-0.04	19.6
	12 自然災害による被害の少なさ	1.06	8.0
	13 治安のよさ	0.83	18.4
	14 住民のマナー	0.61	7.9
	15 医療機関の利用しやすさ	0.48	16.2
快適さ・ 親しみ	16 緑・水辺・自然の豊かさ	0.67	9.0
	17 周りの静けさ・清潔さ	0.75	5.7
	18 まちの景観	0.60	4.5
	19 くつろげる場所がある	0.20	9.4
	20 名所・名物がある	-0.26	7.6

図 2-9-3～図 2-9-24 は、「居住地域の満足度」のスコアと、「居住地域の今後の発展の方向性」の回答比率を、全体結果および居住区別に算出したものである。

図 2-9-3 居住地域の満足度（全体結果）



令和6年度

満足(計)(%)	76.7	45.0	70.4	65.9	56.2	51.1	76.7	41.4	44.6	38.1	46.4	78.3	76.2	69.1	64.0	70.0	75.0	68.3	49.5	30.2
不満(計)(%)	18.9	31.7	26.1	17.5	28.4	42.6	21.1	31.2	28.0	17.0	47.5	10.1	17.0	23.3	30.1	23.1	20.8	23.4	35.2	43.9

令和5年度

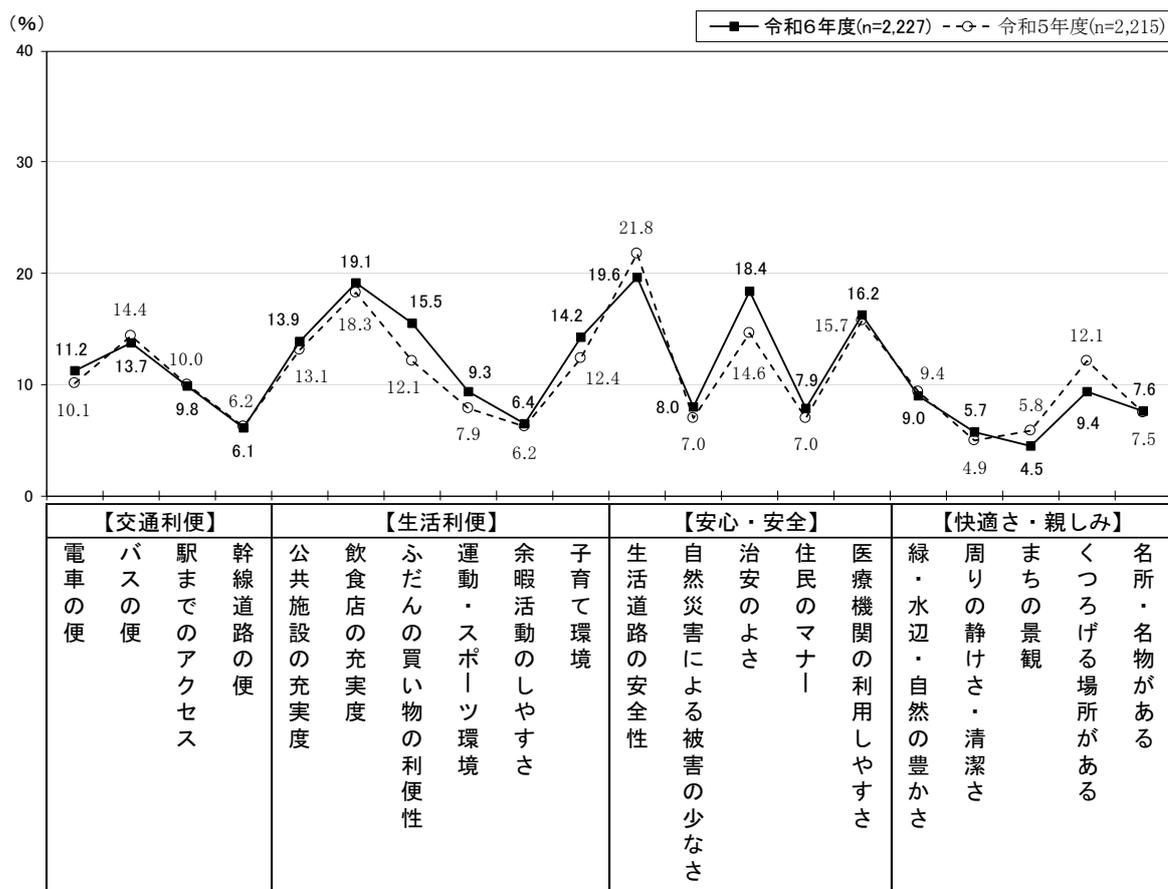
満足(計)(%)	76.5	52.8	72.5	68.8	57.6	54.5	79.1	46.5	47.1	46.0	48.9	80.4	76.9	70.5	66.0	73.3	78.0	68.2	51.3	34.2
不満(計)(%)	19.2	27.9	25.1	16.8	29.3	40.1	19.3	30.2	27.5	16.4	45.3	10.9	16.5	22.7	28.2	21.2	18.7	23.8	35.9	42.6

全体結果

居住地域の満足度をスコアで見ると、「自然災害による被害の少なさ」が 1.06 で最も高く、「電車の便」(1.00)、「ふだんの買い物の利便性」(0.88)が続いた。「名所・名物がある」(-0.26)、「生活道路の安全性」(-0.04)はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。(図 2-9-3)

図2-9-4 居住地域の今後の発展の方向性（全体結果）

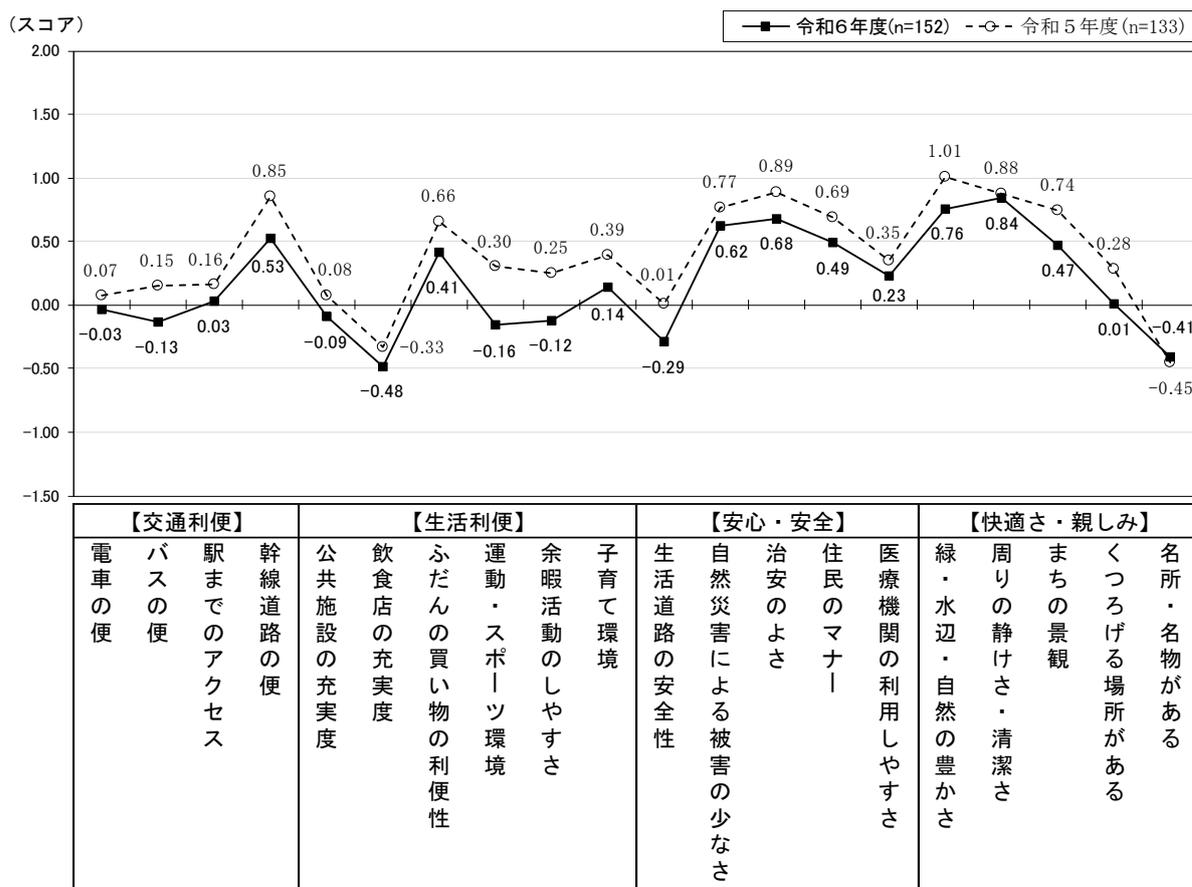


全体結果

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「生活道路の安全性」が19.6%で最も高く、「飲食店の充実度」(19.1%)、「治安のよさ」(18.4%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「治安のよさ」は3.8ポイント増加した。(図2-9-4)

図 2-9-5 居住地域の満足度（西区）



令和6年度

満足(計)(%)	44.7	42.1	49.3	59.2	42.1	30.9	59.9	34.9	34.2	30.9	36.2	67.1	70.4	60.5	55.3	72.4	78.3	57.9	38.2	23.0
不満(計)(%)	47.4	47.4	45.4	25.7	44.7	64.5	36.8	42.8	40.8	22.4	53.3	23.0	20.4	25.0	36.8	19.1	15.8	27.0	40.1	46.7

令和5年度

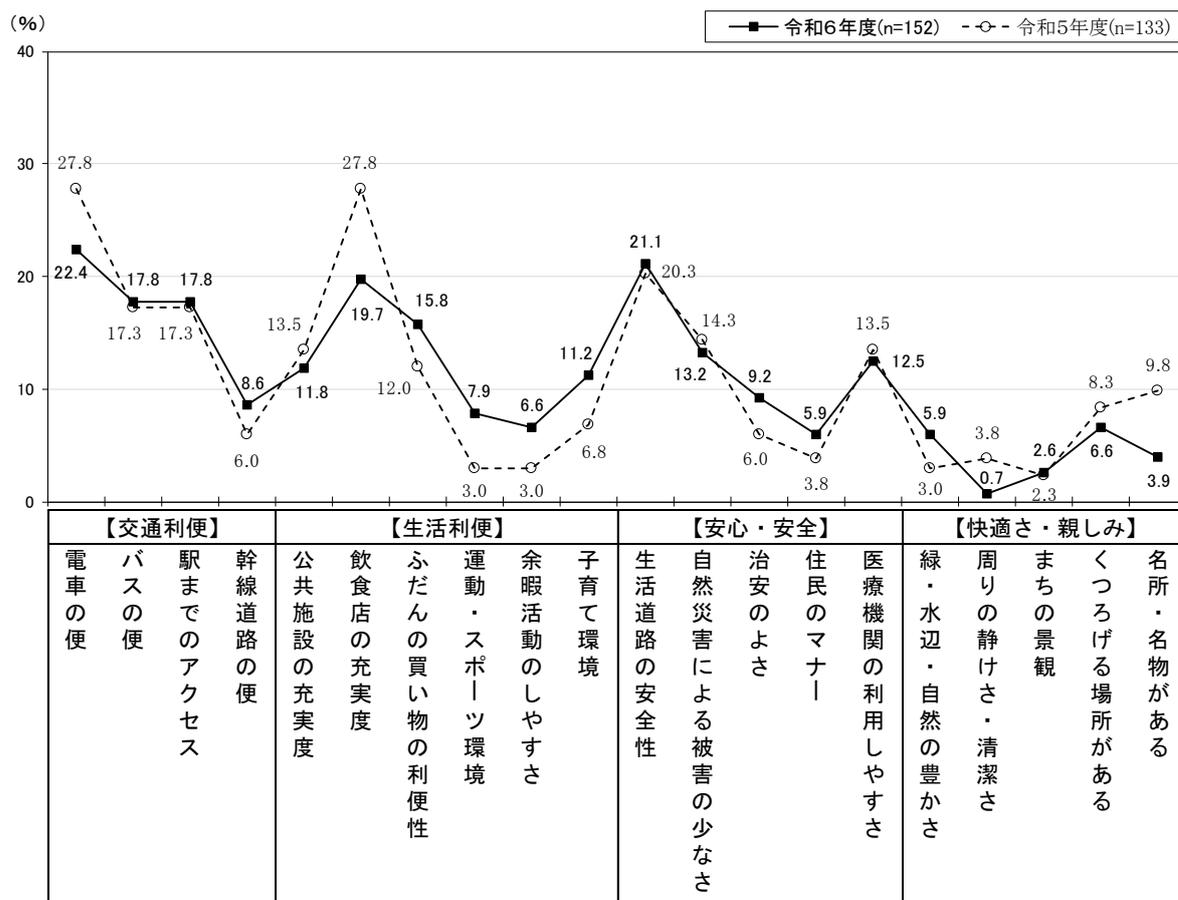
満足(計)(%)	48.9	51.1	55.6	74.4	50.4	37.6	74.4	52.6	48.9	48.9	52.6	72.9	81.2	72.2	58.6	84.2	80.5	74.4	51.9	24.8
不満(計)(%)	43.6	36.1	42.9	12.8	37.6	57.9	23.3	25.6	25.6	12.8	40.6	15.8	13.5	20.3	31.6	10.5	15.0	14.3	29.3	52.6

西 区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「周りの静けさ・清潔さ」が0.84で最も高く、「緑・水辺・自然の豊かさ」(0.76)が続いた。「飲食店の充実度」(-0.48)、「名所・名物がある」(-0.41)、「生活道路の安全性」(-0.29)など8項目がマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と比較すると、「名所・名物がある」を除く項目が令和5年度を下回り、「運動・スポーツ環境」(-0.16)は0.46ポイント、「余暇活動のしやすさ」(-0.12)は0.37ポイント、「幹線道路の便」(0.53)は0.32ポイント減少した。(図2-9-5)

図2-9-6 居住地域の今後の発展の方向性（西区）

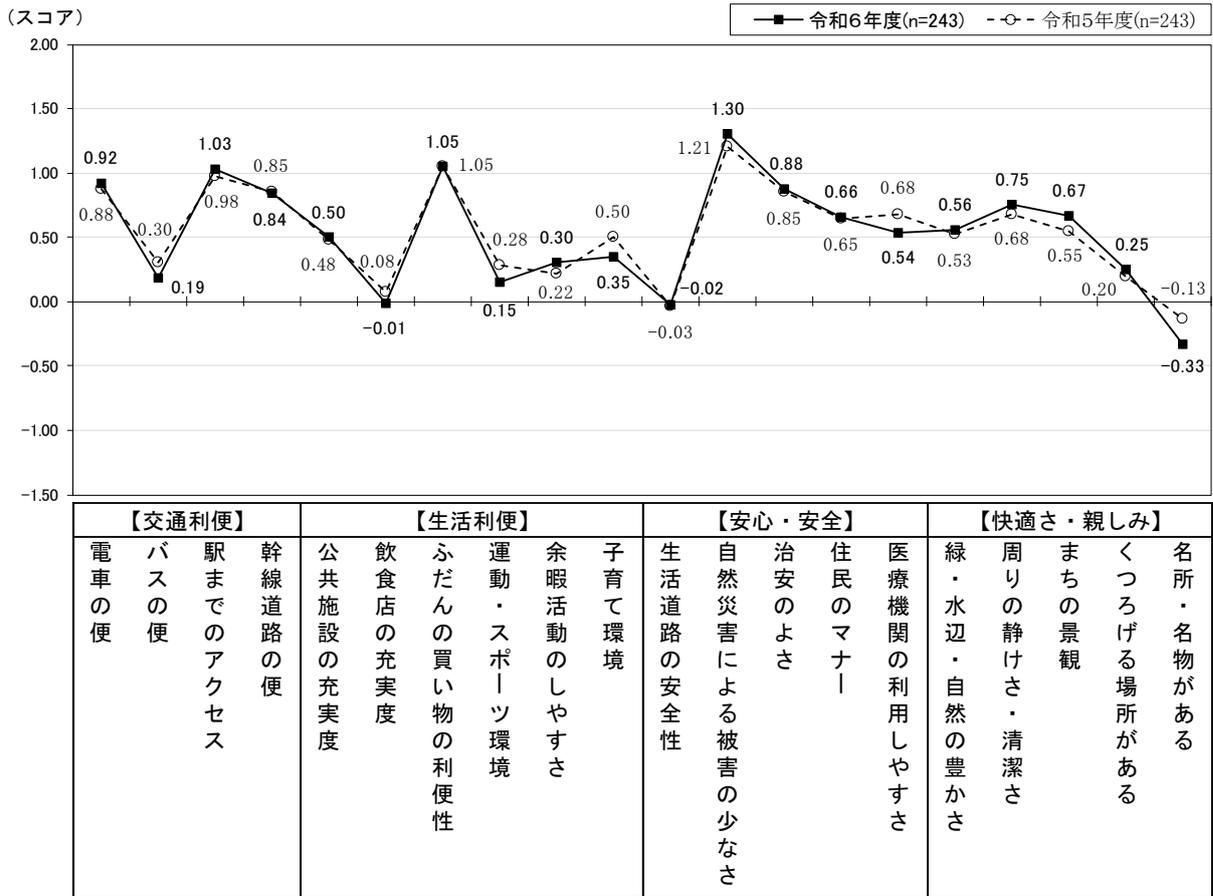


西 区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「電車の便」が 22.4%で最も高く、「生活道路の安全性」(21.1%)、「飲食店の充実度」(19.7%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「運動・スポーツ環境」(7.9%)は4.9ポイント、「子育て環境」(11.2%)は4.4ポイント、「ふだんの買い物の利便性」(15.8%)は3.8ポイント、「余暇活動のしやすさ」(6.6%)は3.6ポイント増加した。一方、「飲食店の充実度」は8.1ポイント、「名所・名物がある」(3.9%)は5.9ポイント、「電車の便」は5.4ポイント減少した。(図2-9-6)

図 2-9-7 居住地域の満足度（北区）



令和6年度

満足(計)(%)	76.5	47.3	81.5	70.8	64.6	49.0	82.7	43.6	47.3	42.0	48.6	88.5	79.8	73.7	68.3	68.7	77.8	74.1	53.5	27.6
不満(計)(%)	20.6	32.1	16.5	13.2	25.1	47.3	16.0	31.3	25.5	16.0	48.1	3.7	15.6	21.4	27.2	26.7	20.6	20.6	32.5	46.1

令和5年度

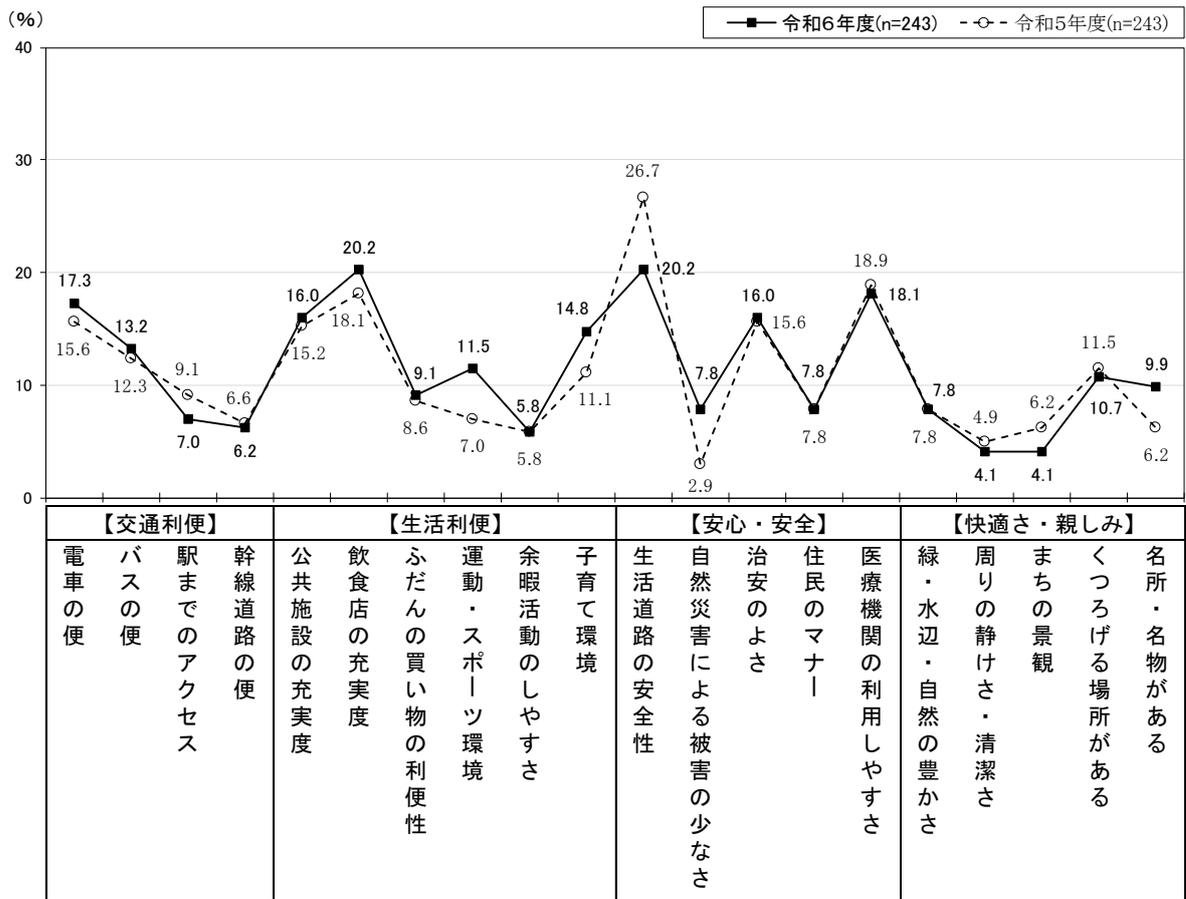
満足(計)(%)	74.1	49.8	78.6	71.6	60.9	51.9	84.8	47.3	46.5	50.2	46.1	83.1	77.4	71.2	73.3	67.1	74.1	67.5	51.9	36.6
不満(計)(%)	23.0	25.9	18.5	15.2	27.2	42.0	13.6	25.1	25.9	11.9	46.9	7.4	15.2	21.0	20.2	25.9	22.2	24.3	34.2	40.3

北 区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「自然災害による被害の少なさ」が1.30で最も高く、「ふだんの買い物の利便性」(1.05)、「駅までのアクセス」(1.03)が続いた。「名所・名物がある」(-0.33)、「生活道路の安全性」(-0.02)、「飲食店の充実度」(-0.01)はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-9-7)

図2-9-8 居住地域の今後の発展の方向性（北区）

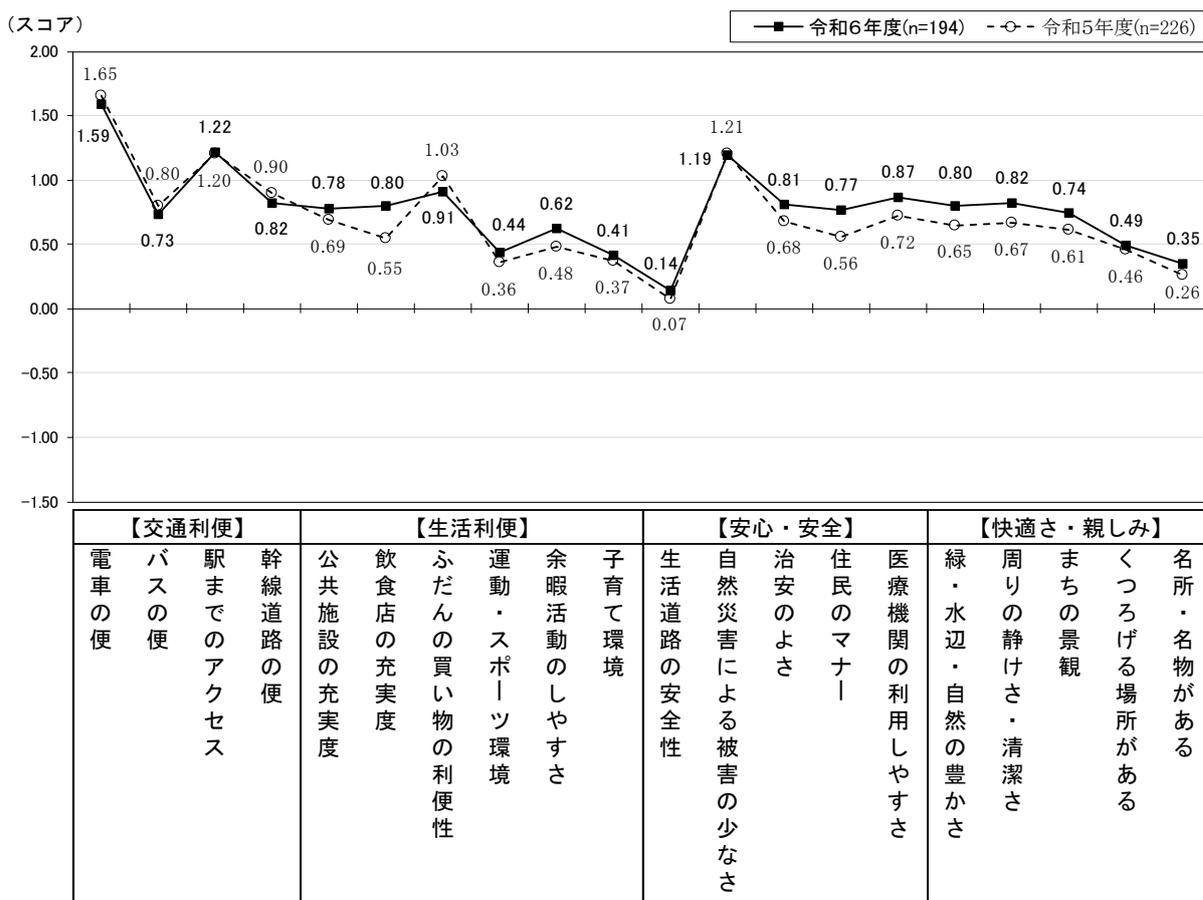


北 区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「飲食店の充実度」、「生活道路の安全性」がともに 20.2% で最も高く、「医療機関の利用しやすさ」(18.1%)、「電車の便」(17.3%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「自然災害による被害の少なさ」(7.8%)は4.9ポイント、「運動・スポーツ環境」(11.5%)は4.5ポイント、「子育て環境」(14.8%)、「名所・名物がある」(9.9%)はともに3.7ポイント増加した。一方、「生活道路の安全性」は6.5ポイント減少した。(図2-9-8)

図2-9-9 居住地域の満足度（大宮区）



令和6年度

満足(計)(%)	91.8	59.8	83.0	69.1	69.1	73.2	77.8	55.2	61.9	42.3	53.6	80.4	74.2	74.2	77.3	72.7	76.3	76.3	62.4	57.2
不満(計)(%)	5.7	18.6	13.9	18.6	20.6	24.2	20.6	22.7	18.6	14.9	43.3	8.8	21.6	20.1	19.6	21.1	22.2	21.1	30.9	30.4

令和5年度

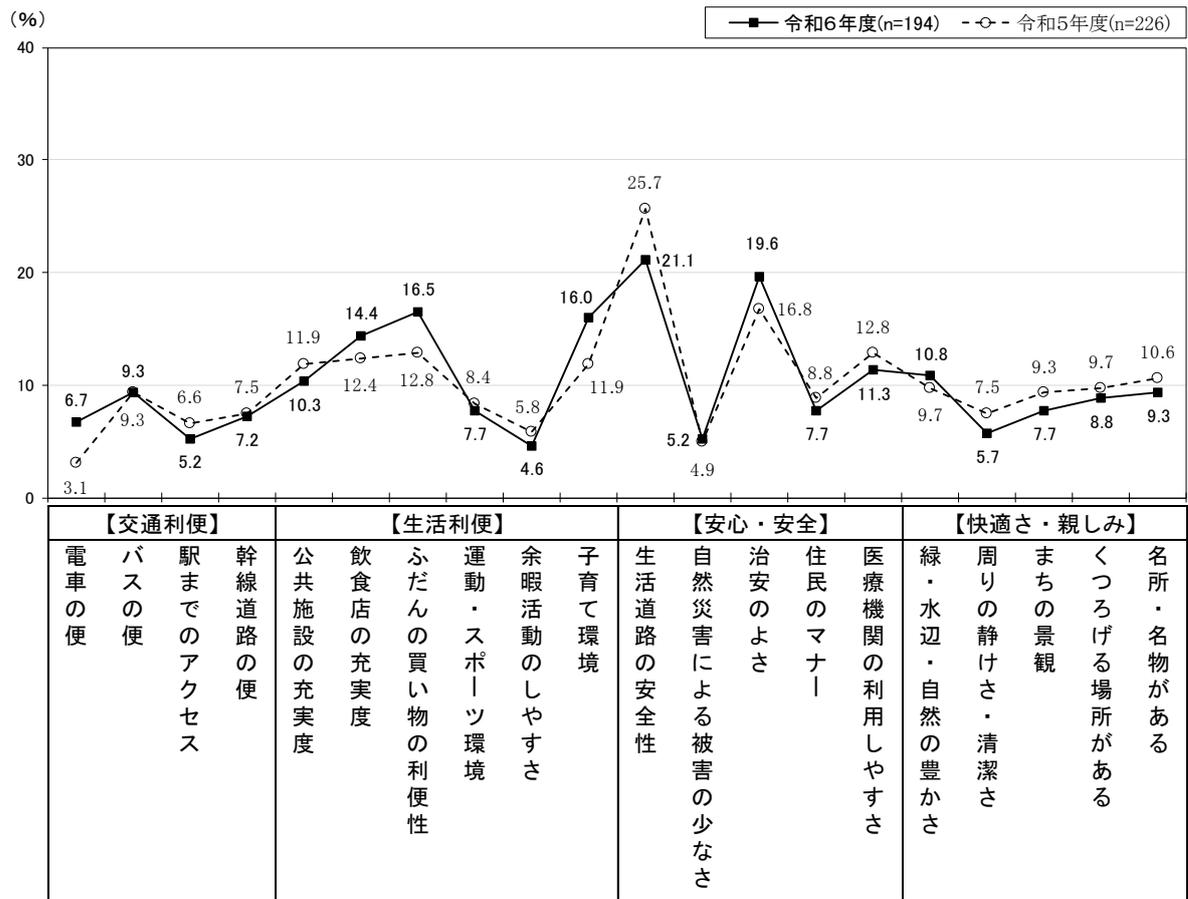
満足(計)(%)	89.8	64.2	83.6	70.8	68.6	66.4	82.3	53.5	58.8	42.9	50.0	87.2	71.7	69.0	73.0	70.4	73.5	71.2	63.3	52.2
不満(計)(%)	6.2	19.0	14.6	13.7	18.1	29.2	16.8	24.8	20.4	15.9	42.9	6.2	22.1	25.2	21.2	23.0	23.9	22.6	26.5	33.6

大宮区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「電車の便」が1.59で最も高く、「駅までのアクセス」(1.22)、「自然災害による被害の少なさ」(1.19)が続いた。マイナスとなった項目はなく、【交通利便】分野が特に高かった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-9-9)

図 2-9-10 居住地域の今後の発展の方向性（大宮区）

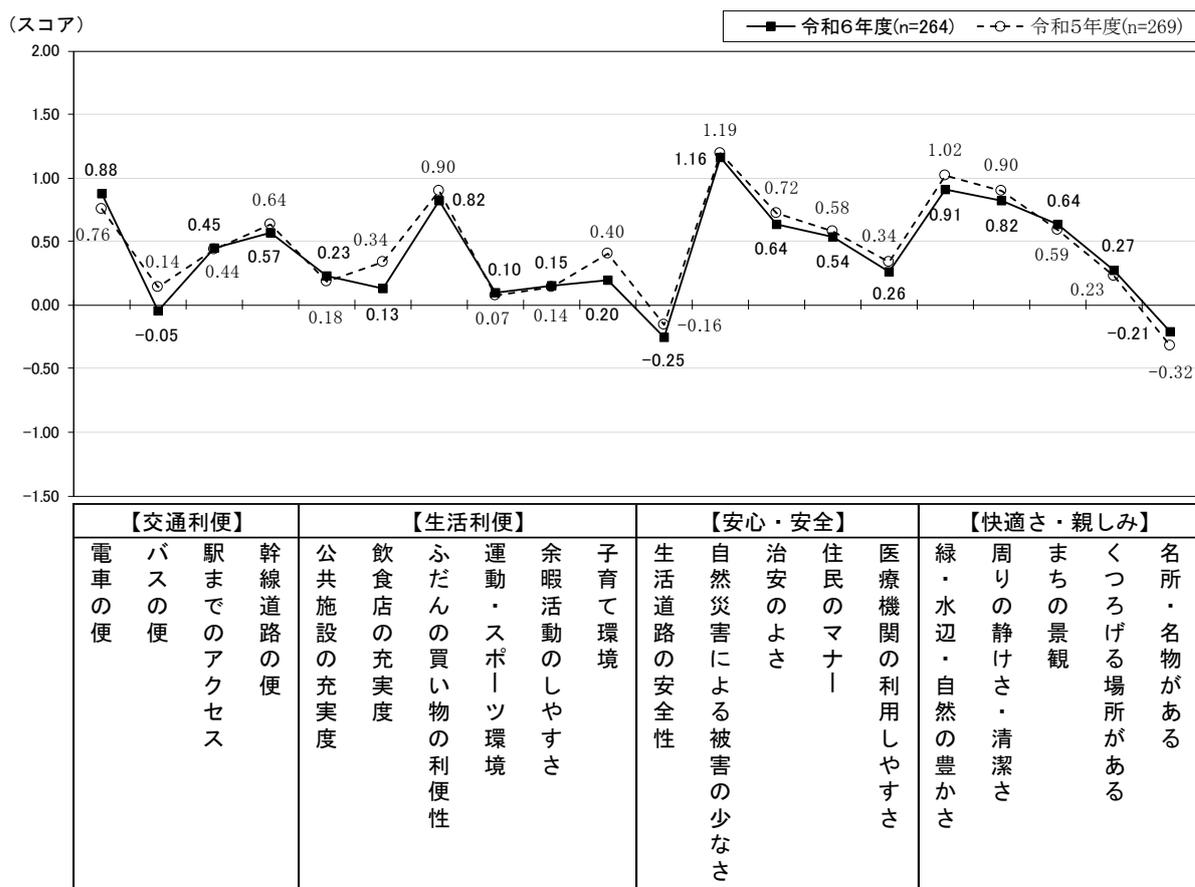


大宮区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「生活道路の安全性」が 21.1%で最も高く、「治安のよさ」(19.6%)、「ふだんの買い物の利便性」(16.5%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「子育て環境」(16.0%)は4.1ポイント、「ふだんの買い物の利便性」は3.7ポイント、「電車の便」(6.7%)は3.6ポイント増加した。一方、「生活道路の安全性」は4.6ポイント減少した。(図2-9-10)

図 2-9-11 居住地域の満足度（見沼区）



令和6年度

満足(計)(%)	75.0	37.9	63.3	62.5	50.0	53.4	76.1	40.2	43.2	34.8	39.4	79.9	70.1	65.5	54.2	78.8	76.9	68.6	48.5	26.9
不満(計)(%)	18.2	38.3	31.8	22.3	30.7	40.5	21.2	30.3	27.3	17.0	53.4	7.6	20.1	22.3	38.3	15.2	17.4	18.9	30.3	39.0

令和5年度

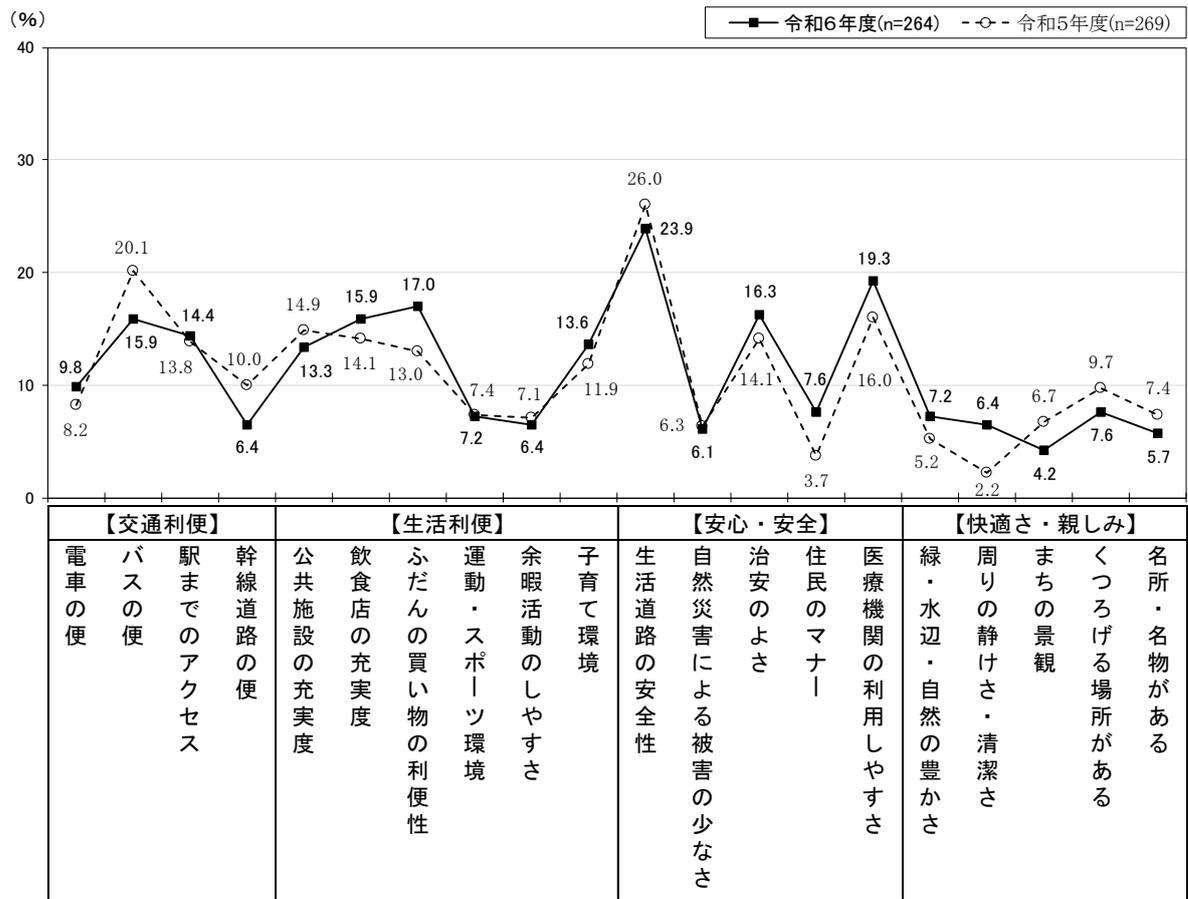
満足(計)(%)	70.6	45.4	63.2	63.9	48.7	58.0	80.3	43.1	44.6	46.5	43.5	86.2	72.9	68.4	62.1	84.4	82.2	69.5	52.0	28.6
不満(計)(%)	23.8	34.2	33.8	21.6	35.7	34.9	18.6	34.9	29.0	16.7	50.2	7.1	18.6	21.9	34.2	10.8	15.2	23.0	34.6	45.0

見沼区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「自然災害による被害の少なさ」が 1.16 で最も高く、「緑・水辺・自然の豊かさ」(0.91)、「電車の便」(0.88)が続いた。「生活道路の安全性」(-0.25)、「名所・名物がある」(-0.21)、「バスの便」(-0.05)はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。(図 2-9-11)

図2-9-12 居住地域の今後の発展の方向性（見沼区）

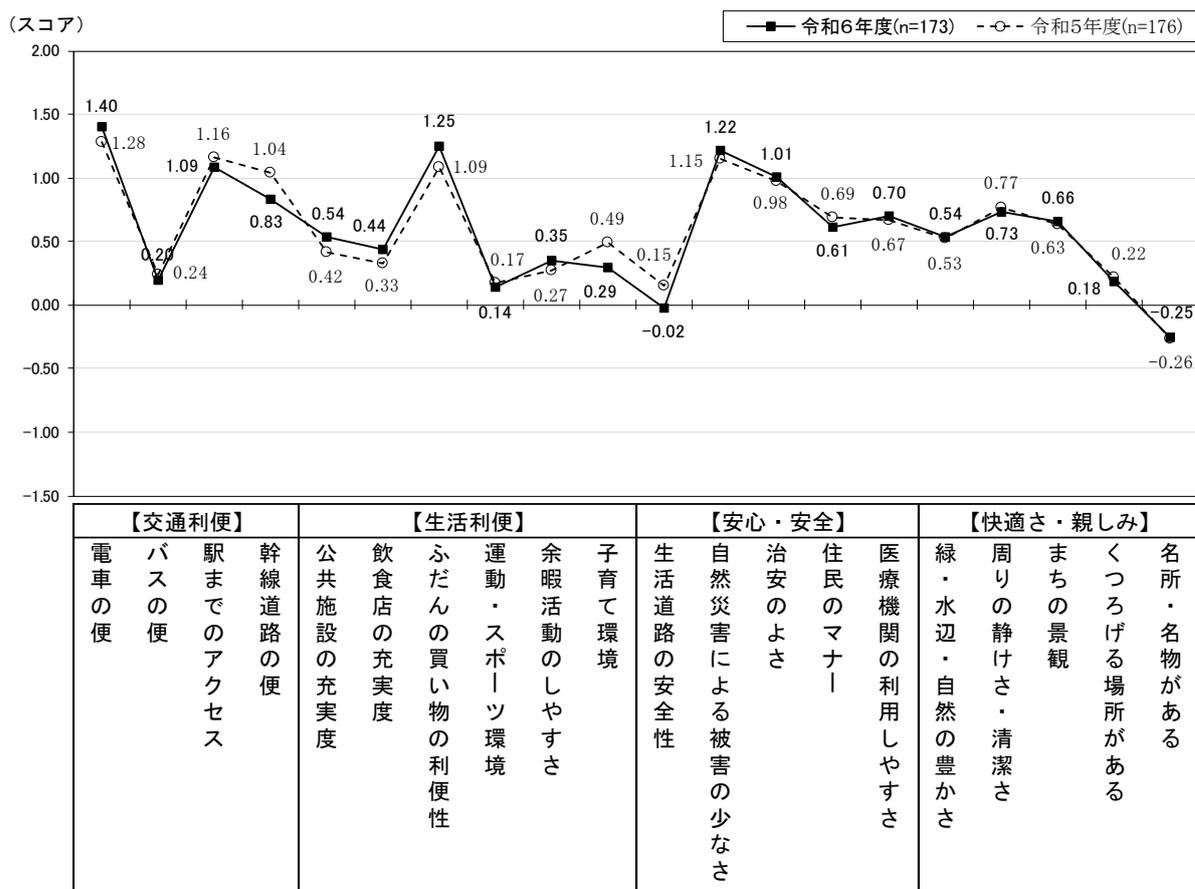


見沼区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「生活道路の安全性」が23.9%で最も高く、「医療機関の利用しやすさ」(19.3%)、「ふだんの買い物の利便性」(17.0%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「周りの静けさ・清潔さ」(6.4%)は4.2ポイント、「ふだんの買い物の利便性」は4.0ポイント、「住民のマナー」(7.6%)は3.9ポイント増加した。一方、「バスの便」(15.9%)は4.2ポイント、「幹線道路の便」(6.4%)は3.6ポイント減少した。(図2-9-12)

図 2-9-13 居住地域の満足度（中央区）



令和6年度

満足(計)(%)	87.3	39.3	80.3	65.9	59.5	58.4	86.7	39.9	49.1	40.5	46.8	82.1	82.7	71.1	72.3	64.7	73.4	70.5	48.6	32.9
不満(計)(%)	9.8	23.1	17.3	15.0	23.1	34.1	11.6	30.6	28.3	17.9	47.4	7.5	12.1	22.5	22.5	27.2	21.4	20.2	36.4	43.9

令和5年度

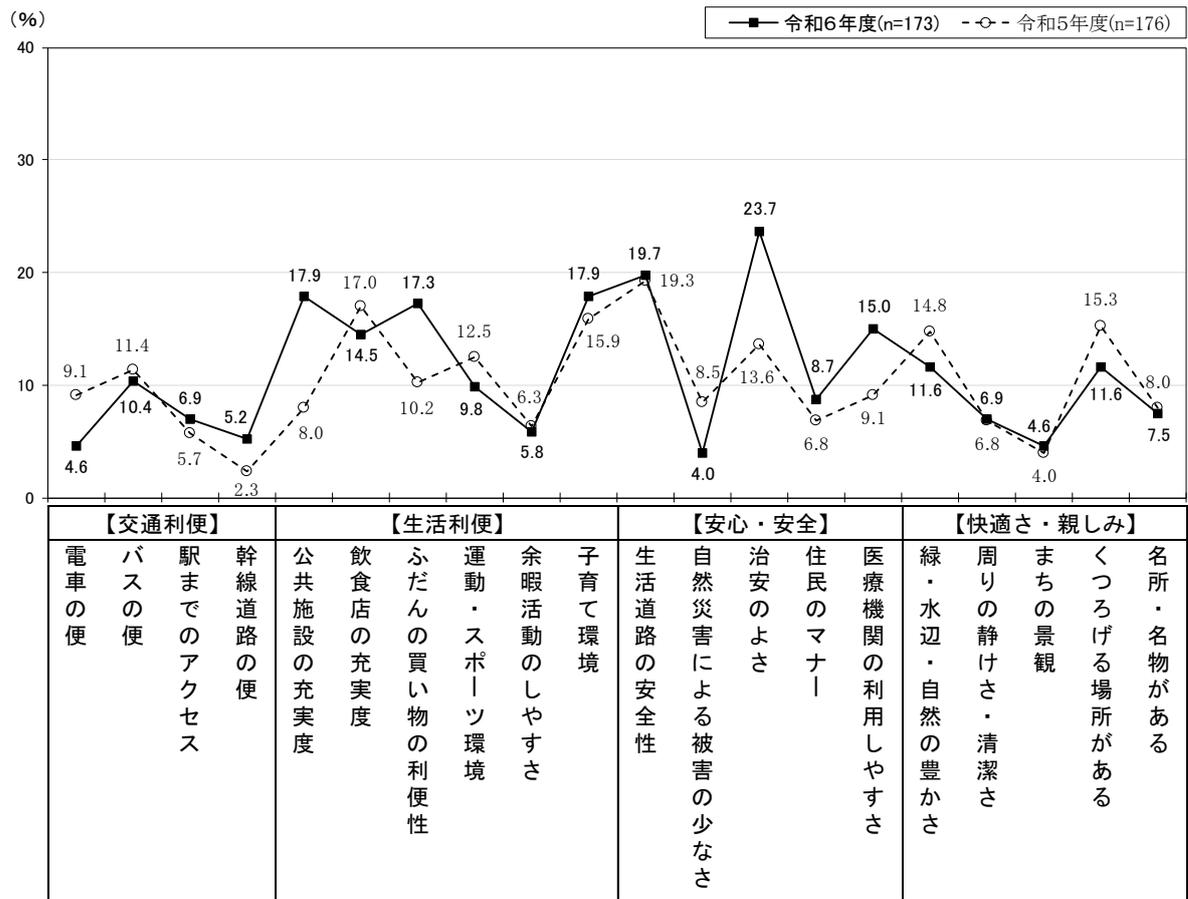
満足(計)(%)	85.8	43.2	83.0	78.4	59.1	61.4	85.2	43.2	50.0	52.8	52.3	82.4	83.0	75.0	71.6	68.8	80.1	72.2	54.5	32.4
不満(計)(%)	11.9	24.4	15.3	12.5	27.8	36.4	13.1	29.5	25.6	13.6	42.0	9.1	13.1	21.0	23.3	28.4	18.8	21.6	35.8	48.9

中央区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「電車の便」が 1.40 で最も高く、「ふだんの買い物の利便性」(1.25)、「自然災害による被害の少なさ」(1.22)が続いた。「名所・名物がある」(-0.25)、「生活道路の安全性」(-0.02)はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。(図 2-9-13)

図 2-9-14 居住地域の今後の発展の方向性（中央区）

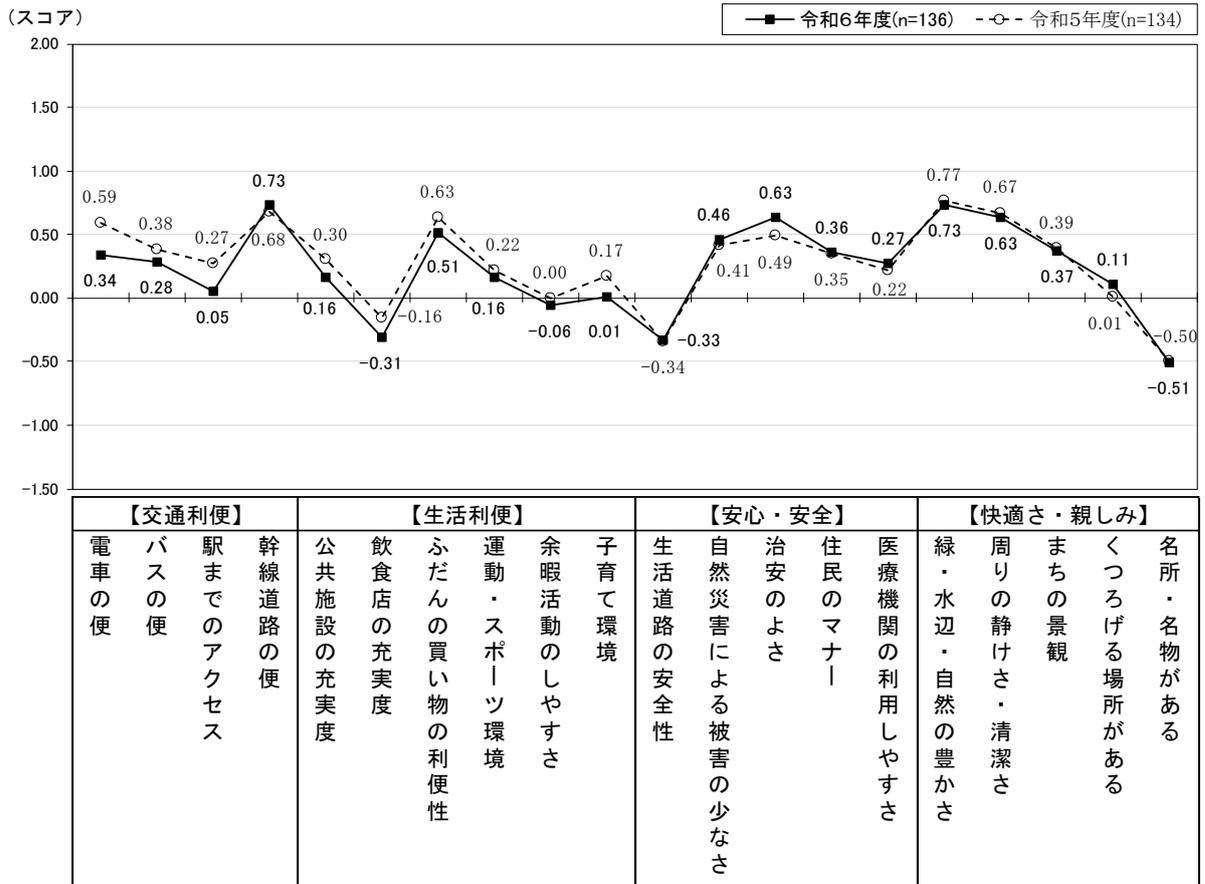


中央区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「治安のよさ」が 23.7%で最も高く、「生活道路の安全性」(19.7%)、「公共施設の充実度」、「子育て環境」(ともに 17.9%)、「ふだんの買い物の利便性」(17.3%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「治安のよさ」は 10.1 ポイント、「公共施設の充実度」は 9.9 ポイント、「ふだんの買い物の利便性」は 7.1 ポイント、「医療機関の利用しやすさ」(15.0%) は 5.9 ポイント増加した。一方、「電車の便」(4.6%)、「自然災害による被害の少なさ」(4.0%) はともに 4.5 ポイント、「くつろげる場所がある」(11.6%) は 3.7 ポイント減少した。(図 2-9-14)

図 2-9-15 居住地域の満足度（桜区）



令和6年度

満足(計)(%)	58.1	52.9	48.5	66.2	47.1	36.8	66.9	40.4	29.4	25.7	37.5	58.8	68.4	56.6	56.6	72.1	69.9	56.6	44.9	18.4
不満(計)(%)	33.1	31.6	47.1	16.9	32.4	52.2	31.6	27.2	33.1	23.5	55.1	25.0	20.6	32.4	36.0	19.9	25.7	30.1	40.4	52.2

令和5年度

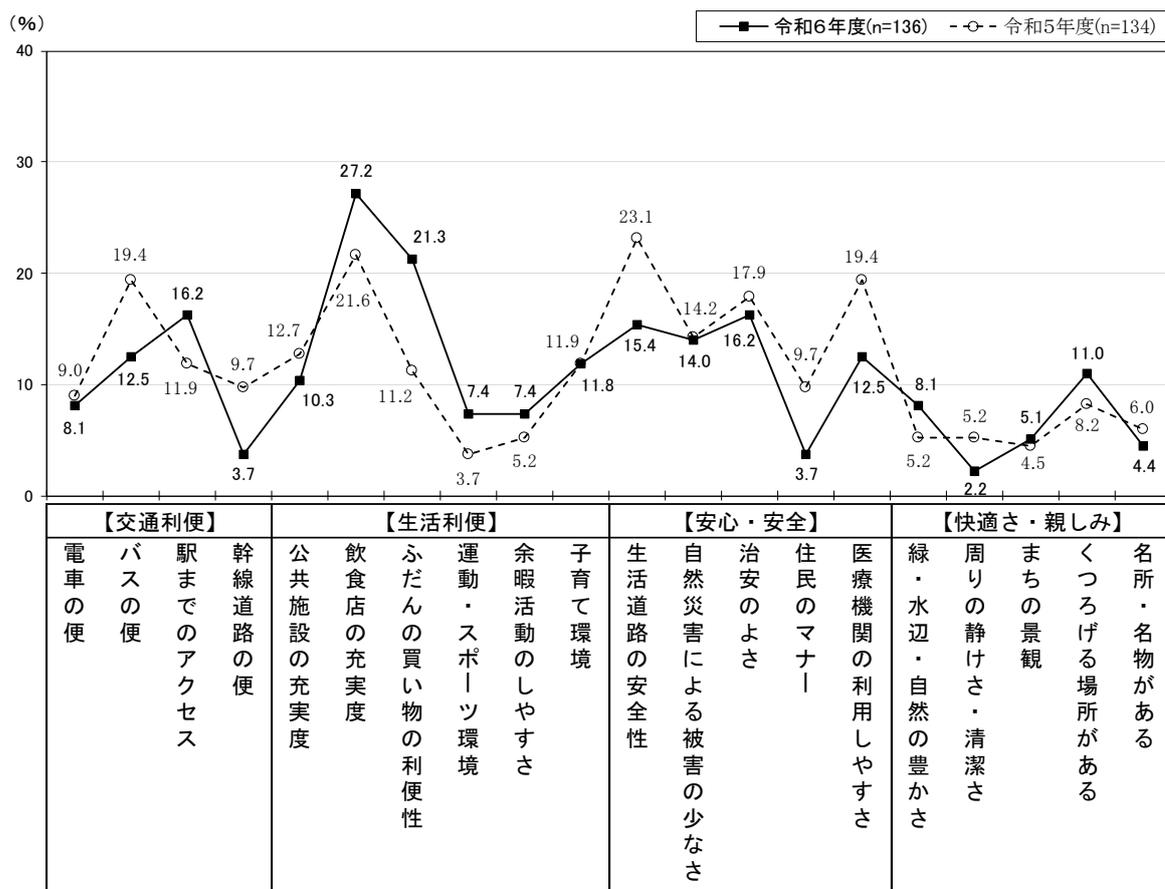
満足(計)(%)	67.2	59.0	57.5	65.7	56.7	44.8	70.9	44.8	33.6	35.1	37.3	62.7	67.9	61.9	55.2	74.6	73.1	58.2	40.3	18.7
不満(計)(%)	26.9	34.3	41.0	20.1	31.3	50.7	26.9	25.4	32.8	17.9	58.2	29.9	24.6	28.4	36.6	20.9	20.9	29.9	39.6	46.3

桜区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「幹線道路の便」、「緑・水辺・自然の豊かさ」がともに0.73で最も高く、「治安のよさ」、「周りの静けさ・清潔さ」（ともに0.63）が続いた。「名所・名物がある」（-0.51）、「生活道路の安全性」（-0.33）、「飲食店の充実度」（-0.31）、「余暇活動のしやすさ」（-0.06）はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。（図2-9-15）

図2-9-16 居住地域の今後の発展の方向性（桜区）

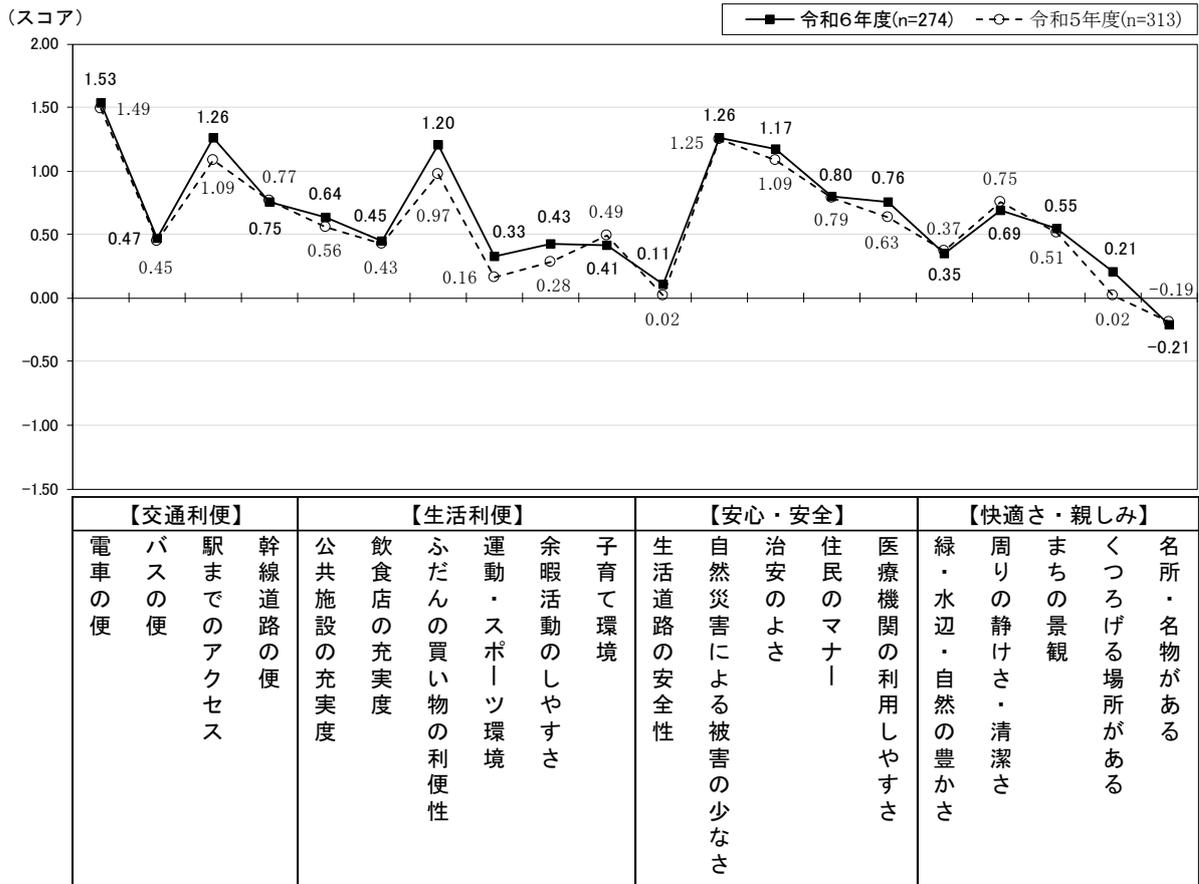


桜区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「飲食店の充実度」が27.2%で最も高く、「ふだんの買い物の利便性」(21.3%)、「駅までのアクセス」、「治安のよさ」(ともに16.2%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「ふだんの買い物の利便性」は10.1ポイント、「飲食店の充実度」は5.6ポイント、「駅までのアクセス」は4.3ポイント、「運動・スポーツ環境」(7.4%)は3.7ポイント増加した。一方、「生活道路の安全性」(15.4%)は7.7ポイント、「バスの便」、「医療機関の利用しやすさ」(ともに12.5%)はそれぞれ6.9ポイント、「幹線道路の便」、「住民のマナー」(ともに3.7%)はそれぞれ6.0ポイント減少した。(図2-9-16)

図 2-9-17 居住地域の満足度（浦和区）



令和6年度

満足(計)(%)	91.6	47.8	84.7	64.6	64.6	62.4	86.9	50.0	51.8	43.1	52.2	83.6	87.2	75.5	73.7	60.6	75.2	69.7	51.5	33.6
不満(計)(%)	6.2	17.5	12.0	12.8	19.0	31.0	11.3	24.8	20.8	15.3	43.4	6.2	8.8	19.0	23.0	31.4	22.3	26.3	34.7	43.8

令和5年度

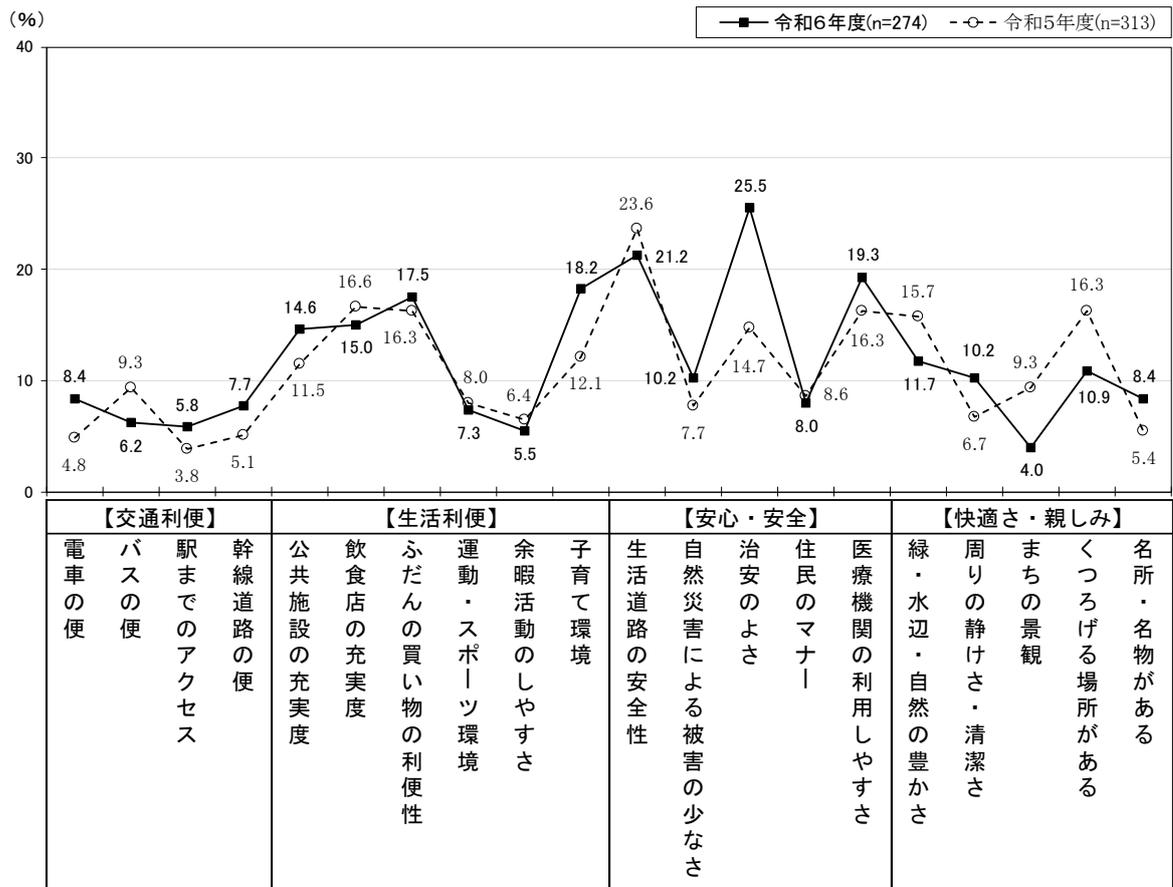
満足(計)(%)	91.7	54.0	82.7	68.1	64.9	64.5	79.9	45.4	48.6	50.8	50.2	85.6	85.0	77.6	70.6	61.3	77.3	66.8	44.7	34.2
不満(計)(%)	5.8	23.6	15.7	14.7	24.3	31.3	18.8	29.7	25.9	13.1	45.7	5.8	9.6	18.8	23.0	31.3	19.8	26.2	43.5	42.8

浦和区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「電車の便」が1.53で最も高く、「駅までのアクセス」、「自然災害による被害の少なさ」（ともに1.26）、「ふだんの買い物の利便性」（1.20）、「治安のよさ」（1.17）が続いた。「名所・名物がある」（-0.21）はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。（図2-9-17）

図2-9-18 居住地域の今後の発展の方向性（浦和区）

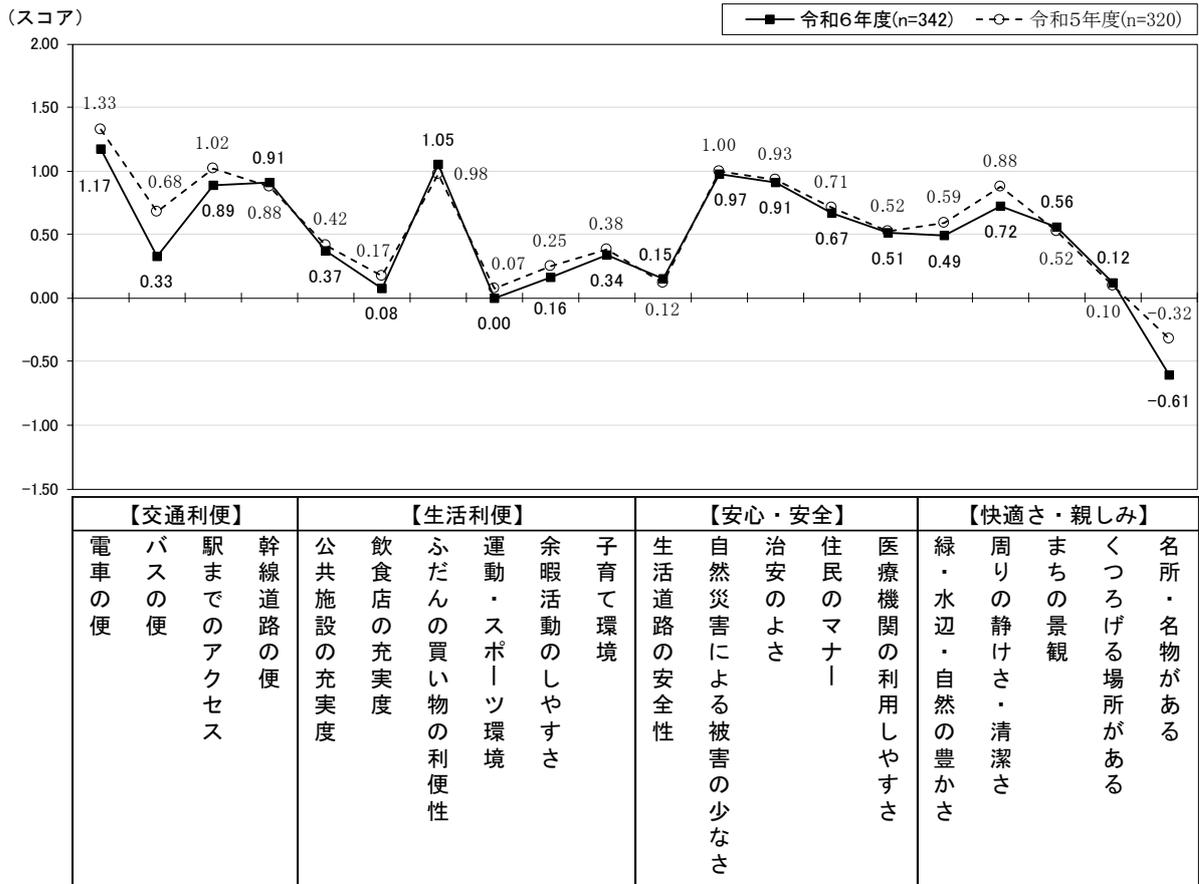


浦和区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「治安のよさ」が 25.5%で最も高く、「生活道路の安全性」(21.2%)、「医療機関の利用しやすさ」(19.3%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「治安のよさ」は10.8ポイント、「子育て環境」(18.2%)は6.1ポイント、「電車の便」(8.4%)は3.6ポイント、「周りの静けさ・清潔さ」(10.2%)は3.5ポイント増加した。一方、「くつろげる場所がある」(10.9%)は5.4ポイント、「まちなみの景観」(4.0%)は5.3ポイント、「緑・水辺・自然の豊かさ」(11.7%)は4.0ポイント減少した。(図2-9-18)

図 2-9-19 居住地域の満足度（南区）



令和6年度

満足(計)(%)	82.2	49.1	74.6	73.7	55.8	52.0	81.9	38.6	44.4	40.6	53.2	76.9	79.8	74.3	65.5	65.2	74.9	69.0	49.7	16.7
不満(計)(%)	16.7	26.3	24.0	12.9	29.8	43.3	17.0	36.5	31.6	15.2	40.6	11.1	14.3	22.2	28.1	29.2	22.8	24.3	37.1	53.5

令和5年度

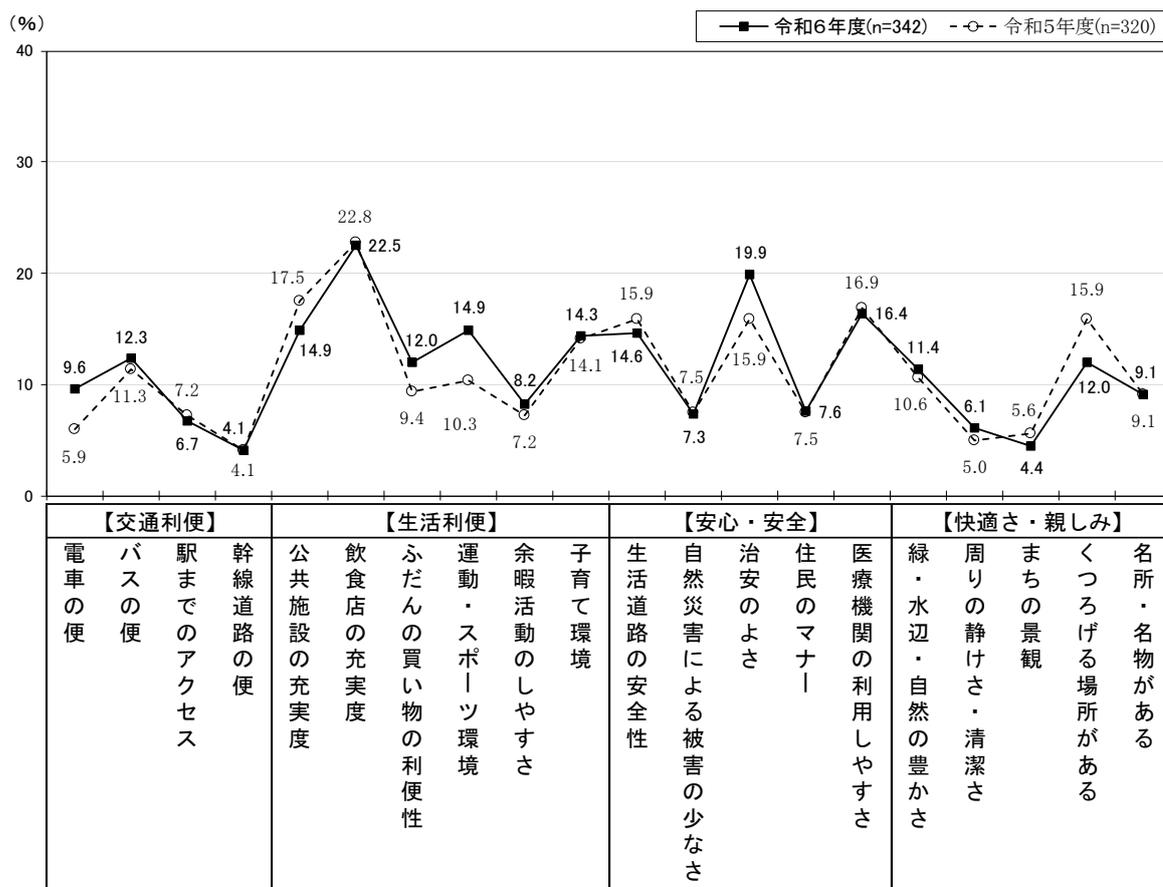
満足(計)(%)	86.9	63.4	82.2	68.8	58.4	54.1	82.5	45.6	50.0	46.6	53.8	79.4	80.9	75.9	67.2	71.9	81.3	68.4	48.8	27.5
不満(計)(%)	10.3	19.1	15.9	13.1	29.4	39.7	16.3	32.8	26.6	17.2	41.9	11.9	15.0	19.1	28.1	24.1	15.9	24.4	37.5	44.7

南 区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「電車の便」が 1.17 で最も高く、「ふだんの買い物の利便性」(1.05)、「自然災害による被害の少なさ」(0.97)が続いた。「名所・名物がある」(-0.61)のみマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と比較すると、「バスの便」(0.33)は0.35ポイント減少した。(図2-9-19)

図2-9-20 居住地域の今後の発展の方向性（南区）

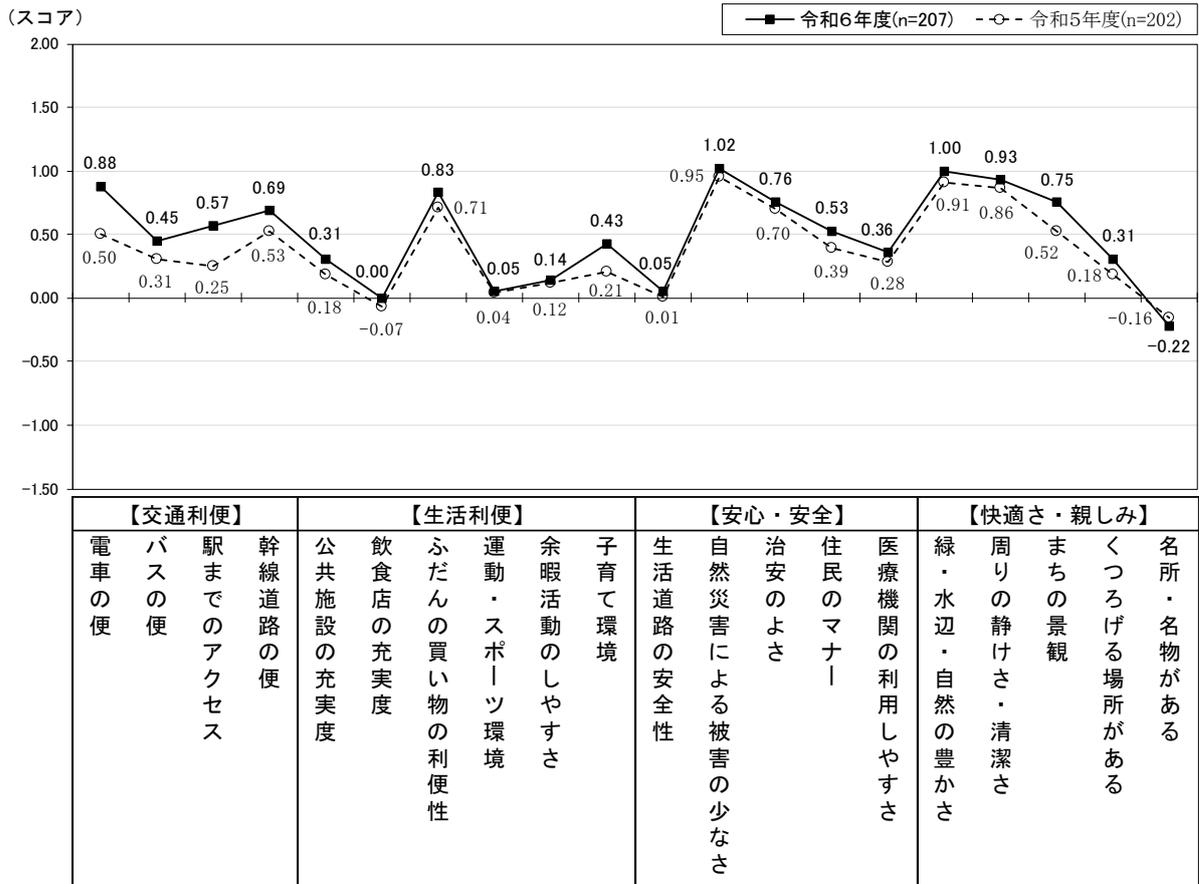


南区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「飲食店の充実度」が22.5%で最も高く、「治安のよさ」(19.9%)、「医療機関の利用しやすさ」(16.4%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「運動・スポーツ環境」(14.9%)は4.6ポイント、「治安のよさ」は4.0ポイント、「電車の便」(9.6%)は3.7ポイント増加した。一方、「くつろげる場所がある」(12.0%)は3.9ポイント減少した。(図2-9-20)

図 2-9-21 居住地域の満足度（緑区）



令和6年度

満足(計)(%)	73.9	57.0	67.6	62.3	58.5	48.3	74.4	38.2	43.5	45.9	49.8	77.3	73.4	67.1	62.3	78.7	78.3	72.5	53.6	31.9
不満(計)(%)	22.2	33.8	29.5	21.7	31.9	46.4	22.7	31.9	28.0	16.4	44.9	8.2	22.2	28.0	32.9	15.0	16.9	20.8	32.9	43.0

令和5年度

満足(計)(%)	62.9	57.9	59.4	65.3	53.0	48.5	75.7	45.0	45.0	40.6	51.5	77.2	72.8	62.9	60.4	81.2	80.7	66.3	52.0	37.6
不満(計)(%)	33.7	34.7	40.1	25.2	33.2	47.5	22.8	38.1	36.1	26.2	44.1	13.4	19.8	31.7	36.1	15.8	17.3	26.7	38.6	42.1

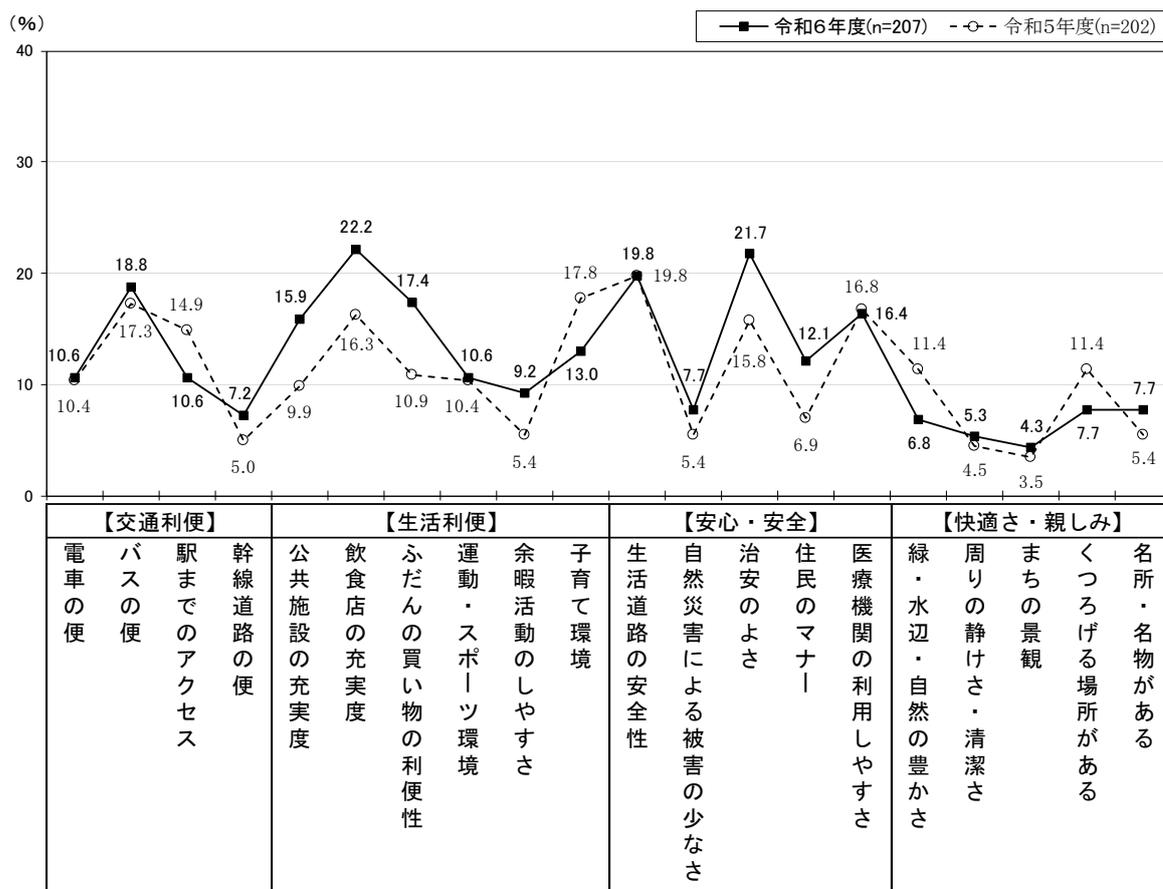
緑 区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「自然災害による被害の少なさ」が 1.02 で最も高く、「緑・水辺・自然の豊かさ」(1.00)、「周りの静けさ・清潔さ」(0.93)が続いた。「名所・名物がある」(-0.22)のみマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と比較すると、「名所・名物がある」を除く項目が令和5年度を上回り、「電車の便」(0.88)は0.38ポイント、「駅までのアクセス」(0.57)は0.32ポイント増加した。

(図 2-9-21)

図2-9-22 居住地域の今後の発展の方向性（緑区）

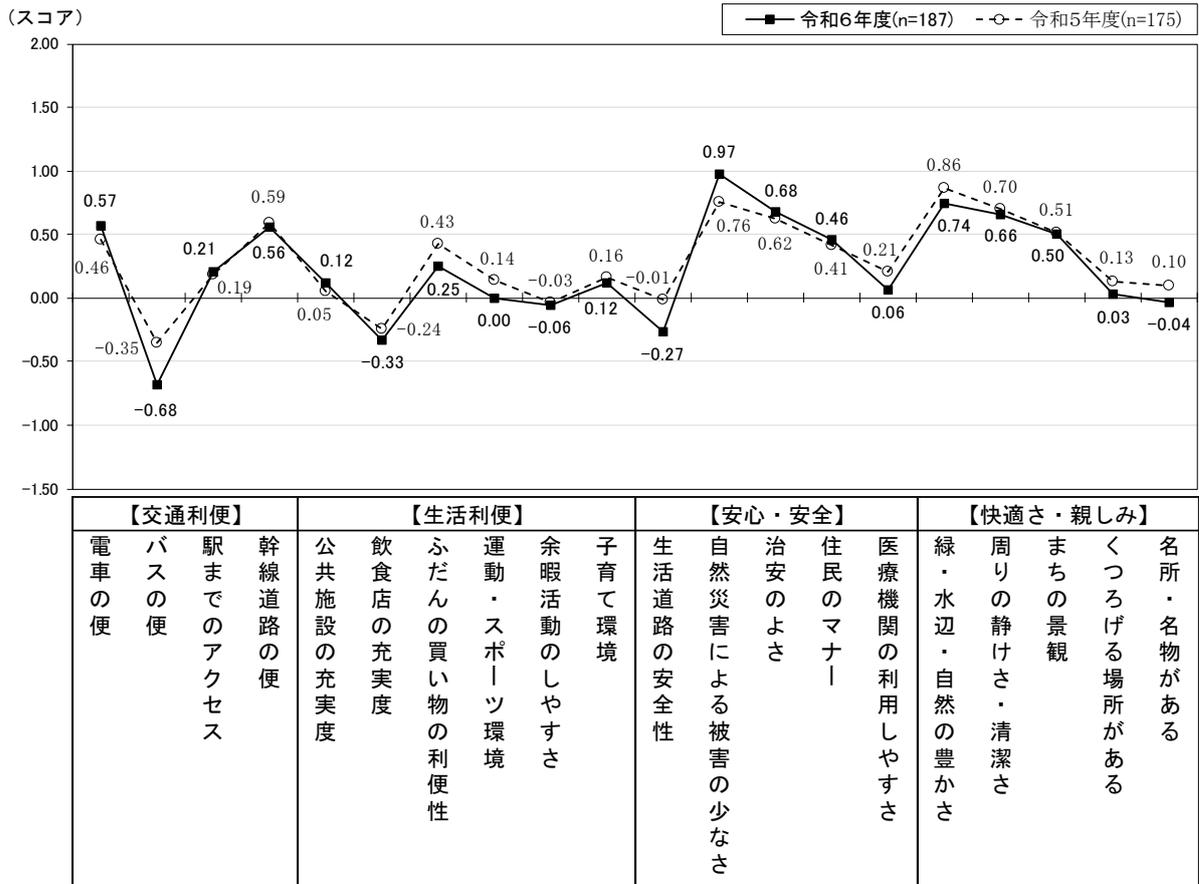


緑区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「飲食店の充実度」が22.2%で最も高く、「治安のよさ」(21.7%)、「生活道路の安全性」(19.8%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「ふだんの買い物の利便性」(17.4%)は6.5ポイント、「公共施設の充実度」(15.9%)は6.0ポイント、「飲食店の充実度」、「治安のよさ」はともに5.9ポイント、「住民のマナー」(12.1%)は5.2ポイント、「余暇活動のしやすさ」(9.2%)は3.8ポイント増加した。一方、「子育て環境」(13.0%)は4.8ポイント、「緑・水辺・自然の豊かさ」(6.8%)は4.6ポイント、「駅までのアクセス」(10.6%)は4.3ポイント、「くつろげる場所がある」(7.7%)は3.7ポイント減少した。(図2-9-22)

図 2-9-23 居住地域の満足度（岩槻区）



令和6年度

満足(計)(%)	65.8	17.1	55.6	60.4	46.0	35.8	58.8	34.2	31.6	28.9	36.9	77.5	71.1	63.6	50.3	73.8	71.7	63.6	42.8	40.1
不満(計)(%)	27.3	57.8	39.6	20.9	33.7	53.5	38.0	32.1	32.6	17.6	54.0	10.7	18.7	24.6	42.8	19.3	20.9	25.7	39.0	37.4

令和5年度

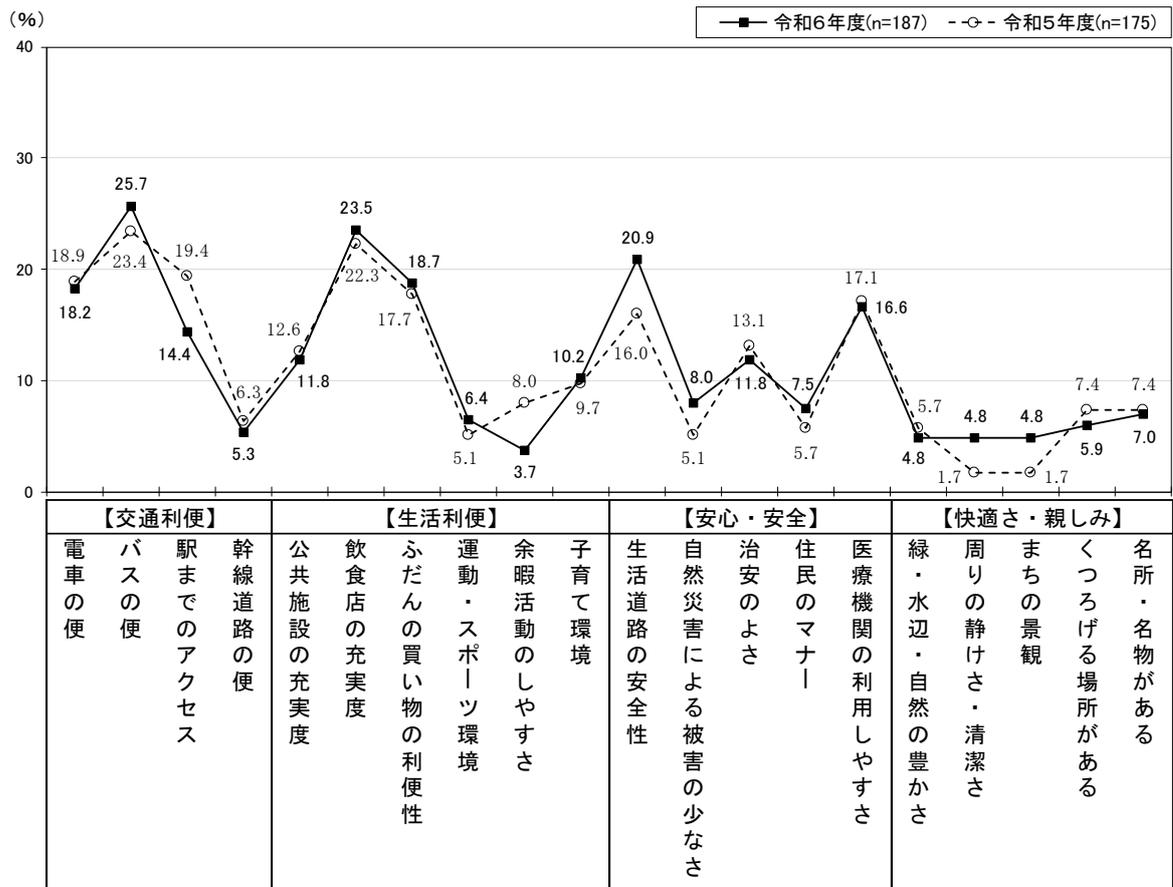
満足(計)(%)	61.7	32.6	60.0	65.7	47.4	42.9	67.4	48.6	37.7	39.4	50.3	73.7	69.7	62.3	58.3	78.9	76.6	66.3	54.3	45.7
不満(計)(%)	29.7	41.7	34.9	20.6	34.9	49.7	29.7	30.9	32.0	21.1	42.9	16.0	20.0	27.4	34.9	14.3	18.3	23.4	36.0	32.6

岩槻区

居住地域の満足度をスコアで見ると、「自然災害による被害の少なさ」が 0.97 で最も高く、「緑・水辺・自然の豊かさ」(0.74)、「治安のよさ」(0.68)、「周りの静けさ・清潔さ」(0.66)が続いた。「バスの便」(-0.68)、「飲食店の充実度」(-0.33)、「生活道路の安全性」(-0.27)、「余暇活動のしやすさ」(-0.06)、「名所・名物がある」(-0.04) はマイナスとなった。

令和5年度の調査結果と比較すると、「バスの便」は 0.33 ポイント減少した。(図 2-9-23)

図2-9-24 居住地域の今後の発展の方向性（岩槻区）



岩槻区

居住地域の今後の発展の方向性をみると、「バスの便」が25.7%で最も高く、「飲食店の充実度」(23.5%)、「生活道路の安全性」(20.9%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「生活道路の安全性」は4.9ポイント増加した。一方、「駅までのアクセス」(14.4%)は5.0ポイント、「余暇活動のしやすさ」(3.7%)は4.3ポイント減少した。

(図2-9-24)

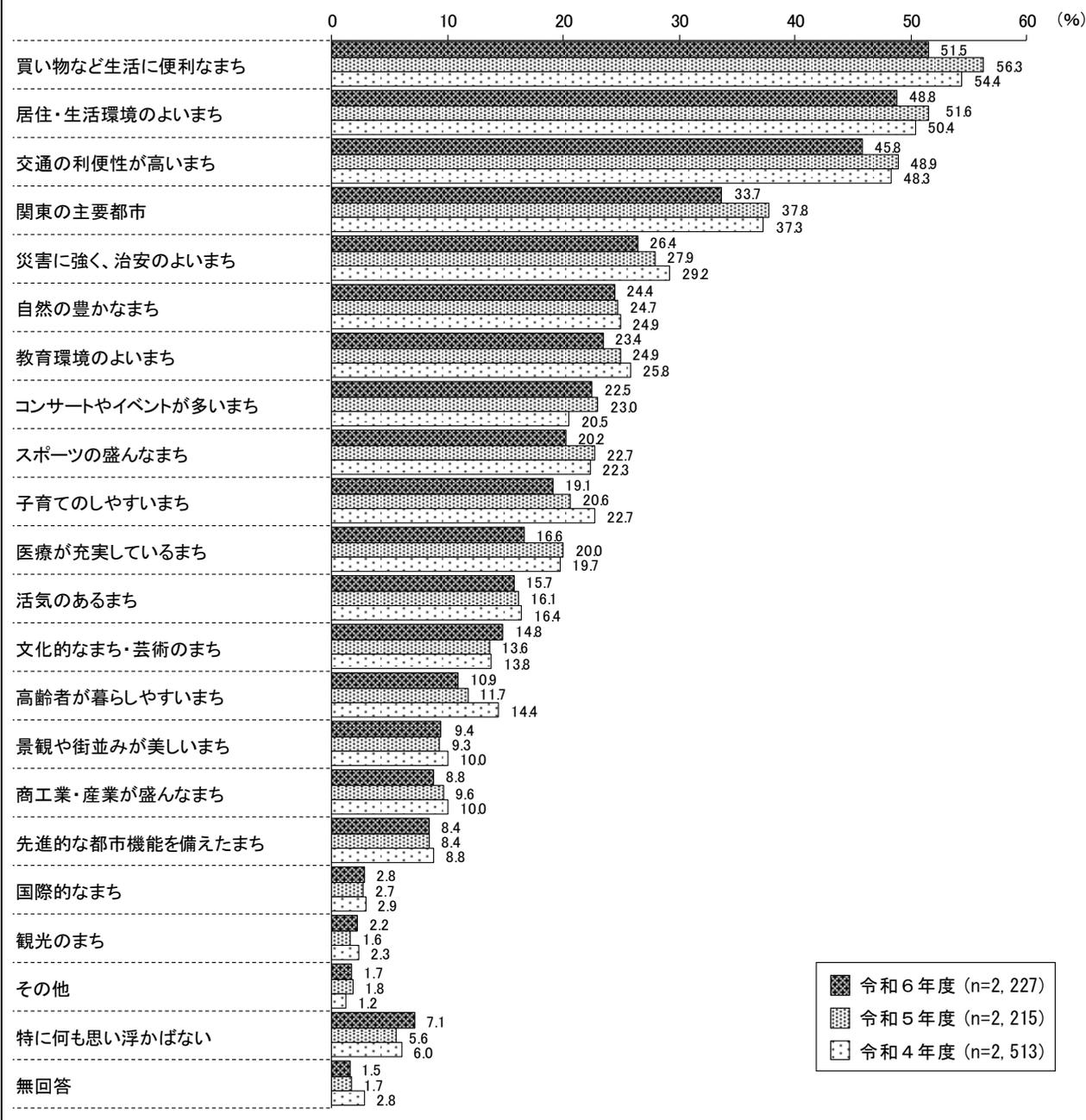
3. さいたま市のイメージ

(1) さいたま市のイメージ

問7 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

図3-1-1 さいたま市のイメージ



全体結果

「買い物など生活に便利なまち」が51.5%で最も高く、「居住・生活環境のよいまち」(48.8%)、「交通の利便性が高いまち」(45.8%)が続いた。

過去2年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図3-1-1)

表3-1-1 さいたま市のイメージ性・年代別、居住区別ー（上位10項目）

(%)											
	n	買い物など生活に便利なまち	居住・生活環境のよいまち	交通の利便性が高いまち	関東の主要都市	災害に強く、治安のよいまち	自然の豊かなまち	教育環境のよいまち	コンサートやイベントが多いまち	スポーツの盛んなまち	子育てのしやすいまち
全 体	2,227	51.5	48.8	45.8	33.7	26.4	24.4	23.4	22.5	20.2	19.1
<性・年代別>											
男 性	948	48.5	49.3	46.4	38.7	26.4	24.8	23.4	19.1	22.3	19.9
18～29歳	87	42.5	46.0	47.1	41.4	20.7	18.4	21.8	19.5	20.7	17.2
30 代	126	49.2	55.6	31.7	27.8	23.8	17.5	20.6	23.0	19.0	26.2
40 代	177	53.7	50.3	45.2	36.7	19.8	20.9	33.3	25.4	28.2	32.2
50 代	186	45.2	50.0	41.9	36.0	21.5	22.6	24.2	18.8	23.1	18.8
60 代	183	51.4	47.5	58.5	42.6	30.1	27.3	19.7	16.4	21.3	15.8
70歳以上	189	46.6	46.6	49.7	45.5	38.1	36.0	19.6	13.2	19.6	10.6
女 性	1,205	54.6	49.0	45.8	30.1	26.5	24.2	23.8	24.8	18.5	18.8
18～29歳	130	59.2	56.9	46.9	26.9	23.8	13.1	15.4	19.2	10.0	17.7
30 代	171	53.2	52.0	46.2	25.1	16.4	15.8	24.6	32.7	23.4	24.0
40 代	207	54.6	46.4	43.5	28.5	23.7	17.4	30.4	32.9	25.1	25.1
50 代	254	52.0	53.9	44.1	30.7	27.2	28.7	31.9	29.5	20.1	25.2
60 代	213	54.0	46.5	49.3	35.2	25.4	27.7	19.2	17.8	16.4	12.7
70歳以上	228	56.6	41.7	45.6	32.0	38.6	35.1	17.5	15.8	14.0	8.8
<居住区別>											
西 区	152	47.4	37.5	37.5	38.8	17.1	29.6	12.5	23.7	18.4	8.6
北 区	243	61.3	49.4	51.9	40.7	30.0	22.2	16.5	18.1	14.4	17.3
大 宮 区	194	62.9	56.7	71.6	48.5	29.4	24.2	18.0	34.0	18.6	19.1
見 沼 区	264	48.5	42.4	47.0	37.5	28.8	34.8	11.0	20.8	18.6	16.7
中 央 区	173	60.7	47.4	49.7	30.1	20.8	16.8	21.4	34.7	15.0	19.7
桜 区	136	46.3	39.7	32.4	27.2	16.9	25.0	27.9	22.8	21.3	16.9
浦 和 区	274	56.6	60.6	47.1	30.3	37.2	11.3	47.8	20.8	23.7	26.6
南 区	342	50.3	54.4	48.5	30.1	22.5	15.2	32.5	17.5	22.5	22.8
緑 区	207	44.0	53.6	31.4	24.6	30.0	41.5	25.6	20.8	27.1	23.2
岩 槻 区	187	36.4	33.7	33.7	30.5	19.8	30.5	11.2	17.1	20.3	13.4

属 性 別

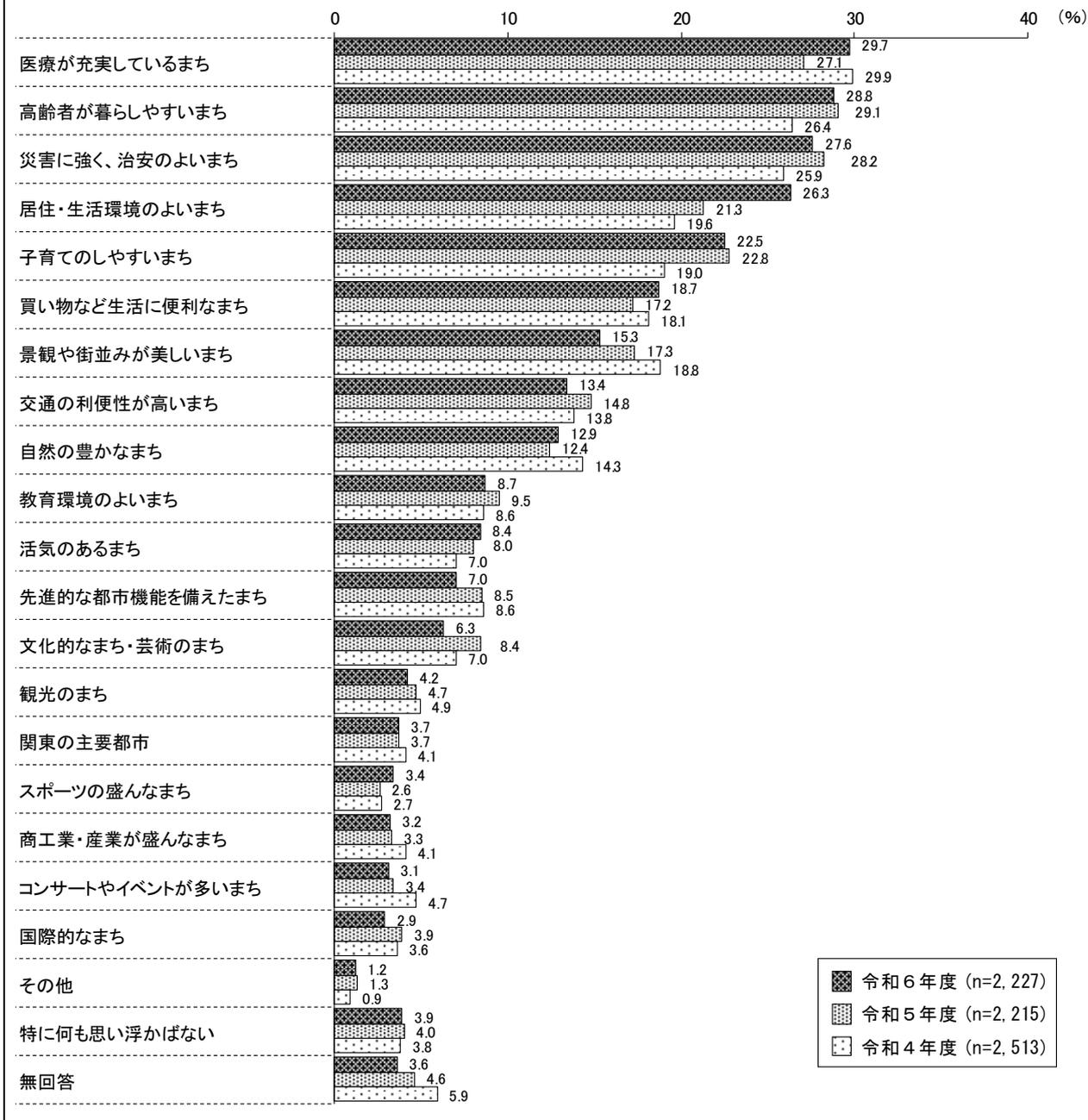
性・年代別でみると、「関東の主要都市」は、男性（38.7%）が女性（30.1%）より8.6ポイント高かった。一方、「買い物など生活に便利なまち」、「コンサートやイベントが多いまち」は、女性が男性より5ポイント以上高かった。「買い物など生活に便利なまち」は、男性40代（53.7%）、60代（51.4%）、女性全年代で5割台であった。

居住区別でみると、「居住・生活環境のよいまち」は、浦和区（60.6%）でほぼ6割であった。また、「交通の利便性が高いまち」は、大宮区（71.6%）、「教育環境のよいまち」は、浦和区（47.8%）が特に高く、区による差が大きかった。（表3-1-1）

(2) さいたま市の発展の方向性

問7 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。
 (2) あなたは、「さいたま市」が、今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。
 (〇は3つまで)

図3-2-1 さいたま市の発展の方向性



全体結果

「医療が充実しているまち」が29.7%で最も高く、「高齢者が暮らしやすいまち」(28.8%)、「災害に強く、治安のよいまち」(27.6%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、「居住・生活環境のよいまち」(26.3%)は増加傾向にあり、令和5年度と比べ5.0ポイント増加した。(図3-2-1)

表3-2-1 さいたま市の発展の方向性－性・年代別、居住区別－（上位10項目）

(%)											
	n	医療が充実しているまち	高齢者が暮らしやすいまち	災害に強く、治安のよいまち	居住・生活環境のよいまち	子育てのしやすいまち	買い物など生活に便利なまち	景観や街並みが美しいまち	交通の利便性が高いまち	自然の豊かなまち	教育環境のよいまち
全 体	2,227	29.7	28.8	27.6	26.3	22.5	18.7	15.3	13.4	12.9	8.7
<性・年代別>											
男 性	948	26.9	27.6	25.1	29.6	23.4	18.6	14.9	14.1	13.4	8.9
18～29歳	87	21.8	2.3	20.7	20.7	27.6	19.5	5.7	19.5	11.5	9.2
30 代	126	15.9	6.3	19.8	35.7	49.2	20.6	7.9	19.8	11.1	16.7
40 代	177	20.3	20.9	23.2	36.7	36.2	16.4	15.8	9.0	11.3	14.7
50 代	186	31.7	29.0	31.7	26.3	14.0	12.9	18.8	18.8	15.6	8.6
60 代	183	29.0	41.0	28.4	29.5	16.4	16.9	20.8	9.3	18.0	4.4
70歳以上	189	36.0	45.5	22.8	26.5	8.5	25.9	13.2	12.7	11.1	2.6
女 性	1,205	31.8	29.5	29.6	24.0	22.6	19.5	15.6	13.2	12.5	8.5
18～29歳	130	23.8	6.9	26.2	23.8	24.6	21.5	10.0	13.8	13.1	8.5
30 代	171	25.7	9.4	31.0	28.1	50.3	19.9	14.0	15.2	11.7	14.0
40 代	207	28.5	21.3	28.5	26.1	30.9	20.3	21.7	12.6	13.0	16.9
50 代	254	33.1	29.9	35.8	20.9	12.6	20.5	15.0	14.6	10.6	5.1
60 代	213	37.6	48.4	31.9	24.4	18.8	12.7	19.2	10.8	15.5	5.2
70歳以上	228	37.3	47.4	22.8	22.4	7.9	22.8	11.4	12.7	11.8	3.9
<居住区別>											
西 区	152	28.9	27.6	29.6	26.3	19.1	22.4	15.8	20.4	9.9	6.6
北 区	243	29.2	30.5	26.7	29.2	21.0	15.6	13.6	16.5	11.1	12.3
大 宮 区	194	21.1	28.4	23.2	23.2	26.8	18.0	22.2	6.7	20.6	6.2
見 沼 区	264	28.8	32.2	26.9	23.1	23.5	20.8	14.0	12.9	11.0	9.1
中 央 区	173	30.1	23.7	26.0	33.5	20.8	18.5	16.8	9.8	12.7	5.8
桜 区	136	27.9	28.7	30.9	27.2	19.9	20.6	13.2	18.4	11.8	3.7
浦 和 区	274	30.3	28.5	25.9	29.9	26.6	17.9	15.3	10.6	12.0	11.7
南 区	342	30.1	26.9	30.7	27.5	24.3	15.2	16.7	9.4	14.3	7.6
緑 区	207	35.7	30.0	28.0	19.8	21.7	23.7	12.6	12.1	13.0	12.1
岩 槻 区	187	34.2	29.4	27.8	24.6	20.9	21.9	12.3	26.7	12.8	8.0

属 性 別

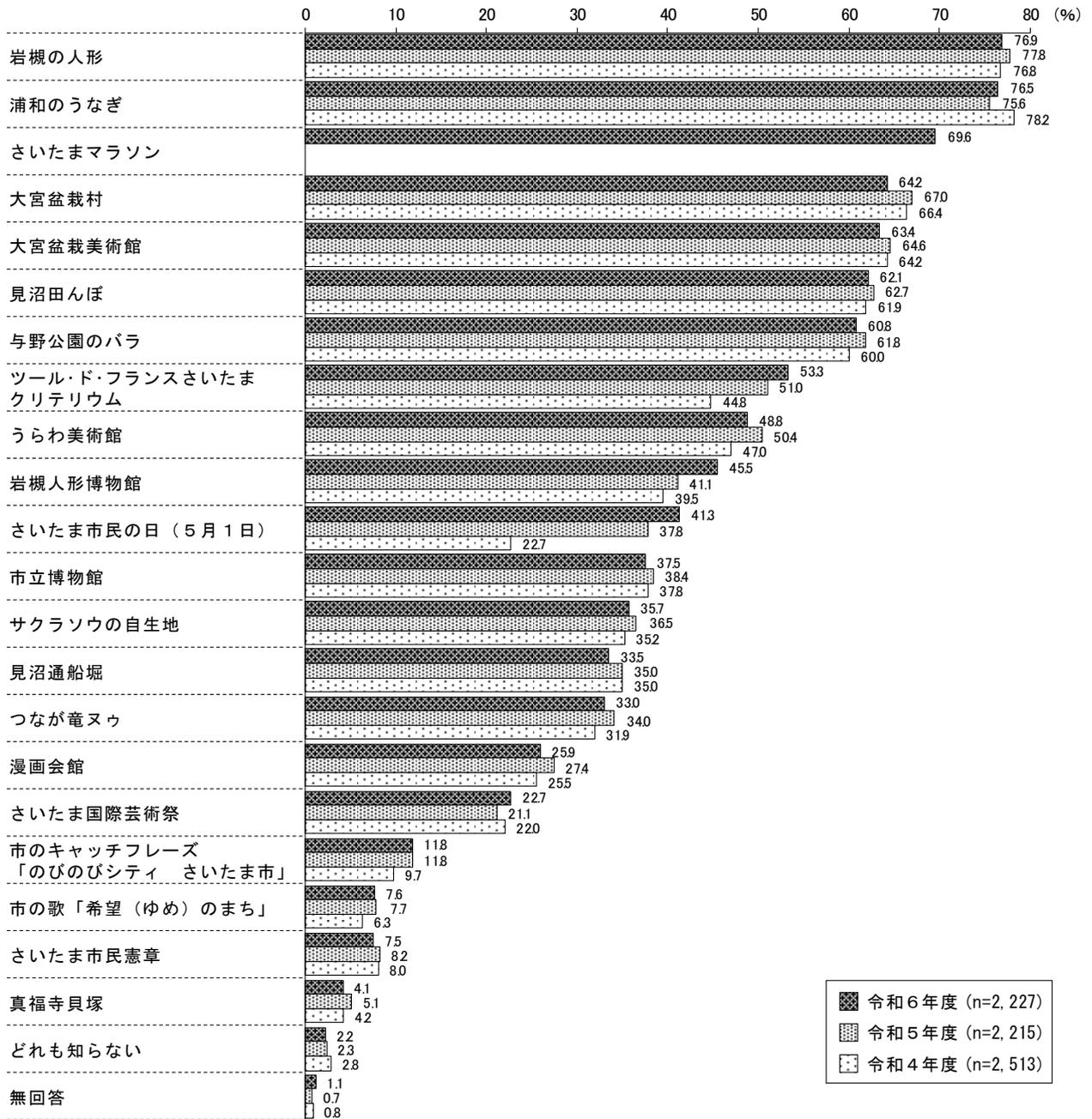
性・年代別でみると、「居住・生活環境のよいまち」は、男性（29.6%）が女性（24.0%）より5.6ポイント高かった。「高齢者が暮らしやすいまち」は、男女とも60代以上で4割台であった。一方、「子育てのしやすいまち」は、男女とも30代が最も高く、5割前後であった。

居住区別でみると、「医療が充実しているまち」は、緑区（35.7%）、岩槻区（34.2%）、浦和区（30.3%）、中央区、南区（ともに30.1%）、「高齢者が暮らしやすいまち」は、見沼区（32.2%）、北区（30.5%）、「災害に強く、治安のよいまち」は、桜区（30.9%）、南区（30.7%）、「居住・生活環境のよいまち」は、中央区（33.5%）で3割台であった。（表3-2-1）

(3) さいたま市について知っているもの

問8 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図3-3-1 さいたま市について知っているもの



(注記)「さいたまマラソン」は、令和6年度調査から選択肢に加えた。

全体結果

「岩槻の人形」が76.9%で最も高く、「浦和のうなぎ」(76.5%)、「さいたまマラソン」(69.6%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」(53.3%)、「岩槻人形博物館」(45.5%)、「さいたま市民の日(5月1日)」(41.3%)は増加傾向にある。

(図3-3-1)

表3-3-1 さいたま市について知っているもの一性・年代別、居住区別一（上位10項目）

		岩槻 の人形	浦和 のうなぎ	さいたま マラソン	大宮 盆栽村	大宮 盆栽美術館	見沼 田んぼ	与野 公園のバラ	いた たまクリ テリウム スサ	うら わ美術館	岩槻 人形博 物館
		(%)									
全 体	2,227	76.9	76.5	69.6	64.2	63.4	62.1	60.8	53.3	48.8	45.5
<性・年代別>											
男 性	948	75.1	76.3	67.3	63.4	61.8	64.2	54.7	54.9	41.0	43.6
18~29歳	87	62.1	51.7	65.5	34.5	50.6	46.0	28.7	35.6	37.9	36.8
30代	126	55.6	61.1	61.9	40.5	49.2	44.4	34.1	46.0	29.4	33.3
40代	177	72.9	80.2	70.1	63.8	65.0	63.3	50.3	58.8	45.8	44.1
50代	186	81.2	82.8	75.3	73.1	65.1	71.0	59.1	63.4	46.2	53.2
60代	183	80.3	85.2	67.2	71.6	62.3	73.8	65.6	60.1	42.6	37.7
70歳以上	189	85.2	78.8	61.4	74.1	68.8	70.9	69.8	52.4	39.2	49.2
女 性	1,205	78.6	76.8	71.9	64.8	64.9	60.7	65.8	52.0	55.4	46.6
18~29歳	130	59.2	57.7	54.6	34.6	48.5	40.0	30.0	30.0	43.8	32.3
30代	171	62.6	69.0	73.1	40.9	61.4	44.4	53.2	41.5	45.0	38.0
40代	207	79.7	74.4	73.9	58.5	68.1	55.6	61.4	55.1	57.5	51.7
50代	254	82.3	85.8	78.7	74.0	68.5	64.6	71.7	66.1	65.0	50.4
60代	213	89.2	82.2	72.8	82.2	69.5	72.8	81.7	63.4	62.0	49.3
70歳以上	228	86.8	80.3	70.6	79.4	65.8	73.7	78.5	43.0	50.9	50.0
<居住区別>											
西 区	152	73.7	62.5	62.5	71.7	71.1	45.4	68.4	48.7	27.6	40.1
北 区	243	77.8	64.2	66.7	78.6	77.4	59.3	56.0	56.4	32.9	42.8
大宮区	194	76.8	70.6	70.1	76.3	75.8	64.4	64.4	65.5	40.2	42.3
見沼区	264	84.8	65.2	67.4	74.6	74.2	76.1	49.2	50.4	34.8	59.1
中央区	173	74.6	85.0	83.2	66.5	65.9	57.2	94.8	70.5	54.3	43.4
桜 区	136	64.7	80.1	64.0	46.3	53.7	44.1	82.4	47.8	55.9	27.2
浦和区	274	77.0	93.8	80.7	59.9	57.7	71.2	70.4	62.8	80.3	32.5
南 区	342	66.1	88.0	64.0	50.0	52.0	54.4	59.4	47.7	57.3	33.3
緑 区	207	79.7	85.0	78.7	54.6	54.1	80.7	43.0	43.5	58.9	44.9
岩 槻 区	187	97.3	60.4	60.4	65.8	56.7	57.2	35.3	40.6	35.3	93.0

属 性 別

性・年代別でみると、「うらわ美術館」、「与野公園のバラ」は、女性が男性より10ポイント以上高かった。「与野公園のバラ」は、男性では年代が上がるにつれ高くなった。

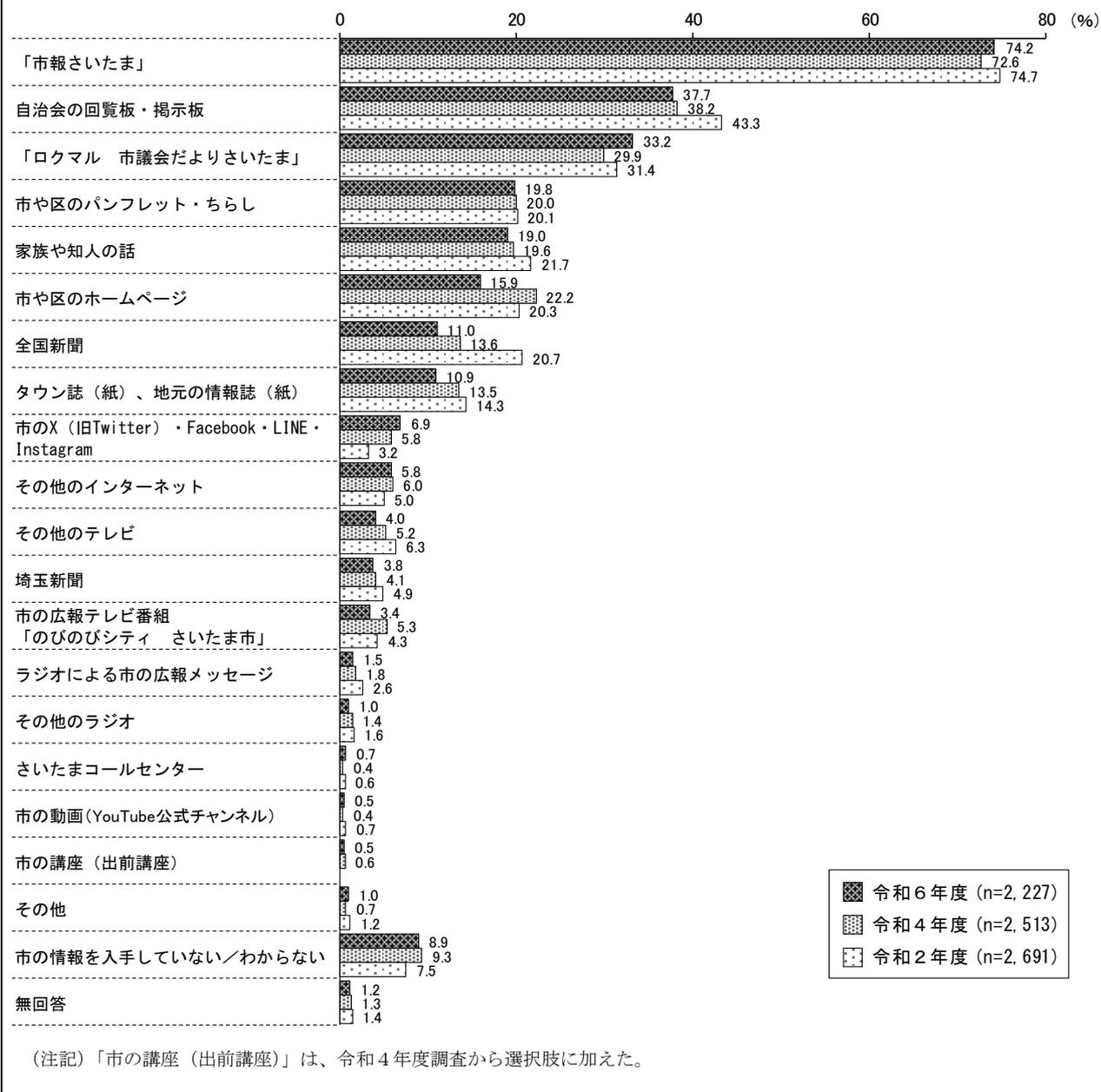
居住区別でみると、「岩槻の人形」は岩槻区（97.3%）、「与野公園のバラ」は中央区（94.8%）、「浦和のうなぎ」は浦和区（93.8%）、「さいたまマラソン」は中央区（83.2%）と浦和区（80.7%）など、施設、名所等の所在地及びその周辺で高かった。（表3-3-1）

4. 市政との関わり

(1) 市が発信する情報の入手方法

問9 あなたは、さいたま市役所が発信する情報をどのような方法で入手していますか。
(〇はいくつでも)

図4-1-1 市が発信する情報の入手方法



全体結果

「市報さいたま」が74.2%で最も高く、「自治会の回覧板・掲示板」(37.7%)、「ロクマル 市議会だよりさいたま」(33.2%)が続いた。

過去2回の調査結果と比較すると、「自治会の回覧板・掲示板」、「全国新聞」は減少傾向にある。また、「市や区のホームページ」(15.9%)は、令和4年度と比べ、6.3ポイント減少した。(図4-1-1)

表 4-1-1 市が発信する情報の入手方法－性・年代別、居住区別－（上位 10 項目）

	n	「市報さいたま」	自治会の回覧板・掲示板	「ロクマル 市議会だよりさいたま」	市や区のパンフレット・ちらし	家族や知人の話	市や区のホームページ	全国新聞	タウン誌（紙）、地元の情報誌（紙）	市の X (旧 Townsite) ・ Instagram ・ LINE ・	その他のインターネット
全 体	2,227	74.2	37.7	33.2	19.8	19.0	15.9	11.0	10.9	6.9	5.8
<性・年代別>											
男 性	948	71.1	32.5	27.4	21.0	16.8	18.1	13.0	9.5	5.4	7.8
18～29歳	87	33.3	9.2	5.7	10.3	17.2	9.2	2.3	2.3	9.2	5.7
30 代	126	54.0	13.5	16.7	16.7	13.5	12.7	4.8	5.6	13.5	13.5
40 代	177	71.8	20.9	26.0	18.1	20.3	20.9	7.9	9.0	5.6	9.6
50 代	186	74.7	33.9	32.3	17.7	14.0	18.8	10.8	8.1	4.8	10.2
60 代	183	83.6	39.9	29.5	21.9	13.7	20.8	15.8	14.2	1.1	4.9
70歳以上	189	83.6	58.2	39.2	33.9	21.2	20.1	27.5	12.7	2.6	3.7
女 性	1,205	77.1	41.9	37.8	18.9	21.0	14.3	9.3	11.9	8.0	4.5
18～29歳	130	34.6	13.8	6.9	12.3	26.2	6.9	2.3	3.8	6.9	6.9
30 代	171	55.0	22.8	17.5	11.7	21.1	14.6	2.3	9.4	13.5	7.6
40 代	207	79.2	35.3	31.9	17.4	15.9	19.8	1.4	9.7	13.0	5.8
50 代	254	87.4	39.0	43.3	15.7	22.4	21.3	8.3	17.3	9.4	5.1
60 代	213	92.0	54.5	50.2	21.1	17.8	12.2	15.0	12.2	4.2	1.4
70歳以上	228	90.8	69.7	58.3	31.1	24.1	7.5	21.5	14.0	1.8	1.8
<居住区別>											
西 区	152	75.7	45.4	32.2	29.6	23.7	19.7	10.5	4.6	7.2	4.6
北 区	243	76.1	36.6	35.0	18.1	18.9	16.0	11.1	11.9	4.9	4.5
大宮区	194	74.7	44.3	30.4	19.1	18.6	13.9	10.3	9.8	4.6	8.2
見沼区	264	76.1	40.5	36.7	16.3	15.9	15.2	11.0	11.0	6.8	5.3
中央区	173	72.8	28.9	32.4	19.7	17.3	16.2	9.2	13.3	7.5	5.8
桜 区	136	68.4	41.2	34.6	22.8	20.6	10.3	14.7	11.8	6.6	2.9
浦和区	274	82.1	33.6	38.7	16.8	20.8	22.6	10.2	10.6	6.6	5.8
南 区	342	70.8	31.3	32.7	19.9	18.4	15.8	12.0	11.1	7.9	5.8
緑 区	207	76.8	39.6	25.1	19.3	15.9	16.4	9.2	10.6	8.7	8.2
岩槻区	187	66.3	41.7	32.1	21.4	22.5	11.2	11.8	12.3	7.5	7.0

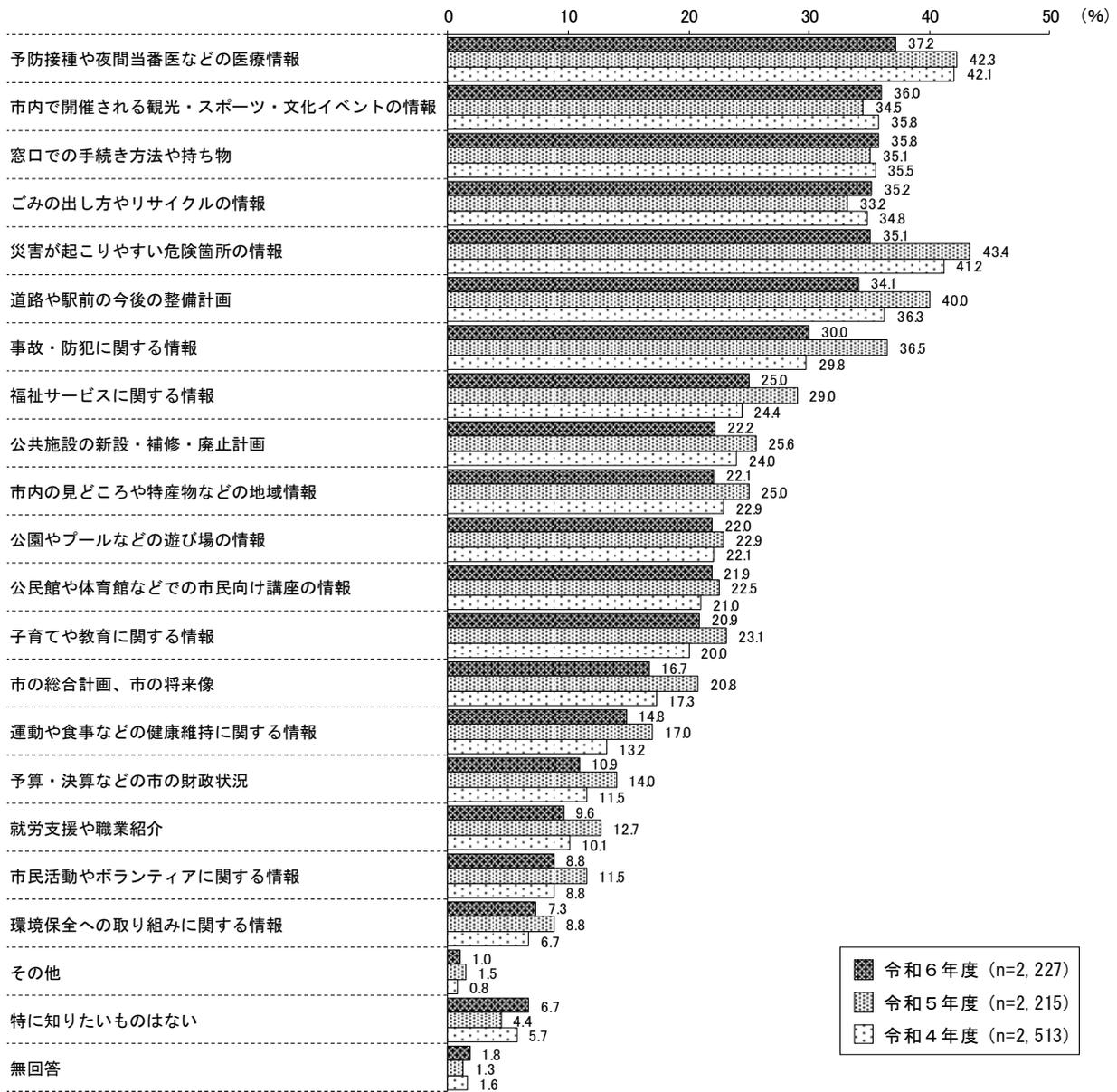
属 性 別

性・年代別でみると、上位 3 項目はいずれも女性が男性より 6 ポイント以上高かった。「市報さいたま」は、女性 60 代以上が 9 割台であった。「自治会の回覧板・掲示板」は、男女とも年代が上がるにつれ高くなった。（表 4-1-1）

(2) 市が発信する情報で特に知りたいもの

問 10 さいたま市役所からの情報で、あなたが特に知りたいのはどのような情報ですか。
(〇はいくつでも)

図 4-2-1 市が発信する情報で特に知りたいもの



全体結果

「予防接種や夜間当番医などの医療情報」が37.2%で最も高く、「市内で開催される観光・スポーツ・文化イベントの情報」(36.0%)、「窓口での手続き方法や持ち物」(35.8%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「災害が起こりやすい危険箇所の情報」(35.1%)は8.3ポイント、「事故・防犯に関する情報」(30.0%)は6.5ポイント、「道路や駅前の今後の整備計画」(34.1%)は5.9ポイント、「予防接種や夜間当番医などの医療情報」は5.1ポイント、「市の総合計画、市の将来像」は4.1ポイント、「福祉サービスに関する情報」は4.0ポイント減少した。

(図4-2-1)

表4-2-1 市が発信する情報で特に知りたいもの一性・年代別、居住区別一（上位10項目）

(%)											
	n	医療情報 予防接種や夜間 当番医などの	市内で開催される 観光・イベントの 情報	窓口での手続き方法 や持ち物	ごみの出し方やリ サイクルの情報	災害が起こりやすい 危険箇所の情報	道路や駅前の今後の 整備計画	事故・防犯に関する 情報	福祉サービスに関する 情報	公共施設の新設・補 修・廃止計画	市内の見どころや特 産物などの地域情報
全体	2,227	37.2	36.0	35.8	35.2	35.1	34.1	30.0	25.0	22.2	22.1
＜性・年代別＞											
男性	948	33.1	34.4	32.5	31.6	31.1	38.8	28.3	22.4	23.5	19.6
18～29歳	87	23.0	29.9	34.5	20.7	18.4	28.7	17.2	8.0	21.8	3.4
30代	126	27.0	37.3	31.0	34.1	30.2	38.9	27.0	15.1	30.2	23.8
40代	177	28.8	33.3	35.0	33.3	27.1	39.0	32.2	14.1	22.0	20.9
50代	186	28.5	34.4	31.2	32.8	29.6	43.5	30.1	25.8	24.2	19.9
60代	183	40.4	40.4	32.2	32.2	39.3	42.1	29.5	28.4	21.3	19.7
70歳以上	189	43.4	29.6	31.7	31.7	34.9	35.4	27.5	32.3	22.8	22.8
女性	1,205	40.5	38.0	38.4	38.6	38.5	31.3	31.7	27.1	21.3	24.4
18～29歳	130	30.8	29.2	34.6	33.1	34.6	23.8	30.0	12.3	18.5	14.6
30代	171	41.5	41.5	35.7	36.3	29.8	35.7	27.5	10.5	26.9	15.2
40代	207	41.1	38.6	41.1	41.1	36.2	29.5	32.4	20.8	25.1	18.8
50代	254	39.4	41.3	42.9	39.8	42.1	31.5	34.3	30.3	22.8	32.3
60代	213	46.5	41.8	41.8	46.5	43.7	32.4	35.7	42.3	16.0	28.6
70歳以上	228	40.8	32.5	32.0	32.9	40.4	32.9	28.9	36.0	18.9	28.9
＜居住区別＞											
西 区	152	35.5	34.9	28.9	35.5	38.2	28.9	30.9	29.6	20.4	24.3
北 区	243	40.3	34.2	35.8	37.4	37.9	37.0	29.6	26.7	25.5	25.1
大宮区	194	32.0	41.2	34.5	39.2	33.5	47.4	30.9	28.9	23.2	25.3
見沼区	264	36.4	33.7	37.5	28.0	31.8	38.3	31.8	22.7	20.1	20.1
中央区	173	37.0	37.6	34.1	34.1	33.5	26.6	26.0	23.1	24.9	20.2
桜 区	136	36.8	33.1	33.1	36.0	35.3	31.6	29.4	29.4	19.9	26.5
浦和区	274	39.8	40.9	39.1	43.1	37.6	36.5	32.8	20.4	22.3	20.8
南 区	342	37.1	36.0	38.6	31.9	34.5	29.5	31.6	20.5	22.5	19.6
緑 区	207	40.1	39.1	41.1	39.1	33.8	37.7	30.4	27.5	26.1	24.2
岩槻区	187	34.2	30.5	29.9	31.0	35.3	28.3	24.1	28.3	16.6	19.8

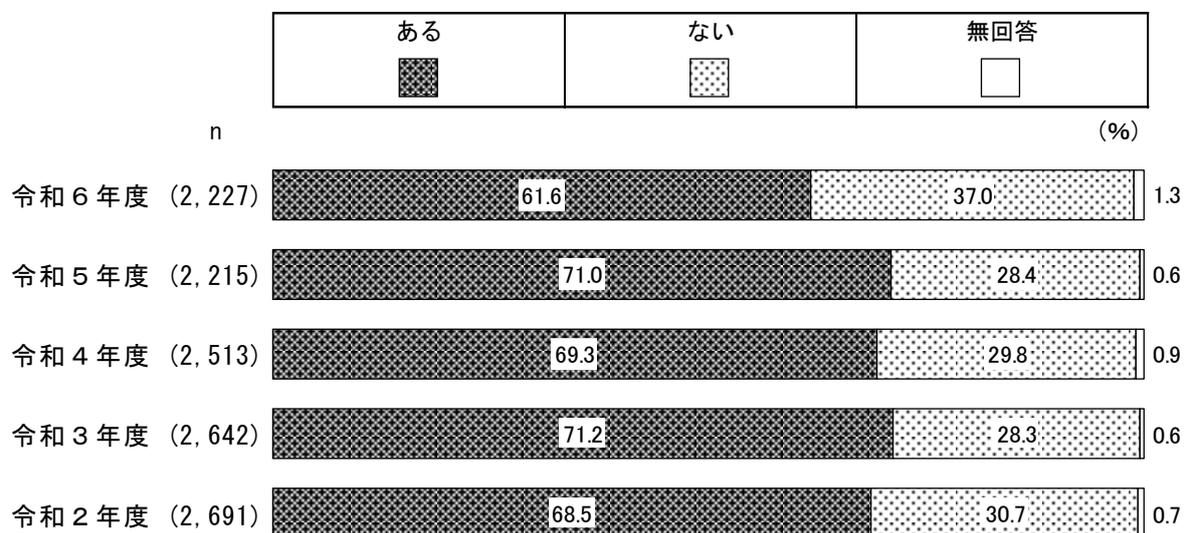
属性別

性・年代別でみると、「道路や駅前の今後の整備計画」は、男性（38.8%）が女性（31.3%）より7.5ポイント高かった。また、「災害が起こりやすい危険箇所の情報」は、女性（38.5%）が男性（31.1%）より7.4ポイント高かった。（表4-2-1）

(3) 市役所の利用実態

問11 あなたは、この1年以内で、市・区役所を利用したり、電話で問い合わせをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

図4-3-1 市役所の利用実態

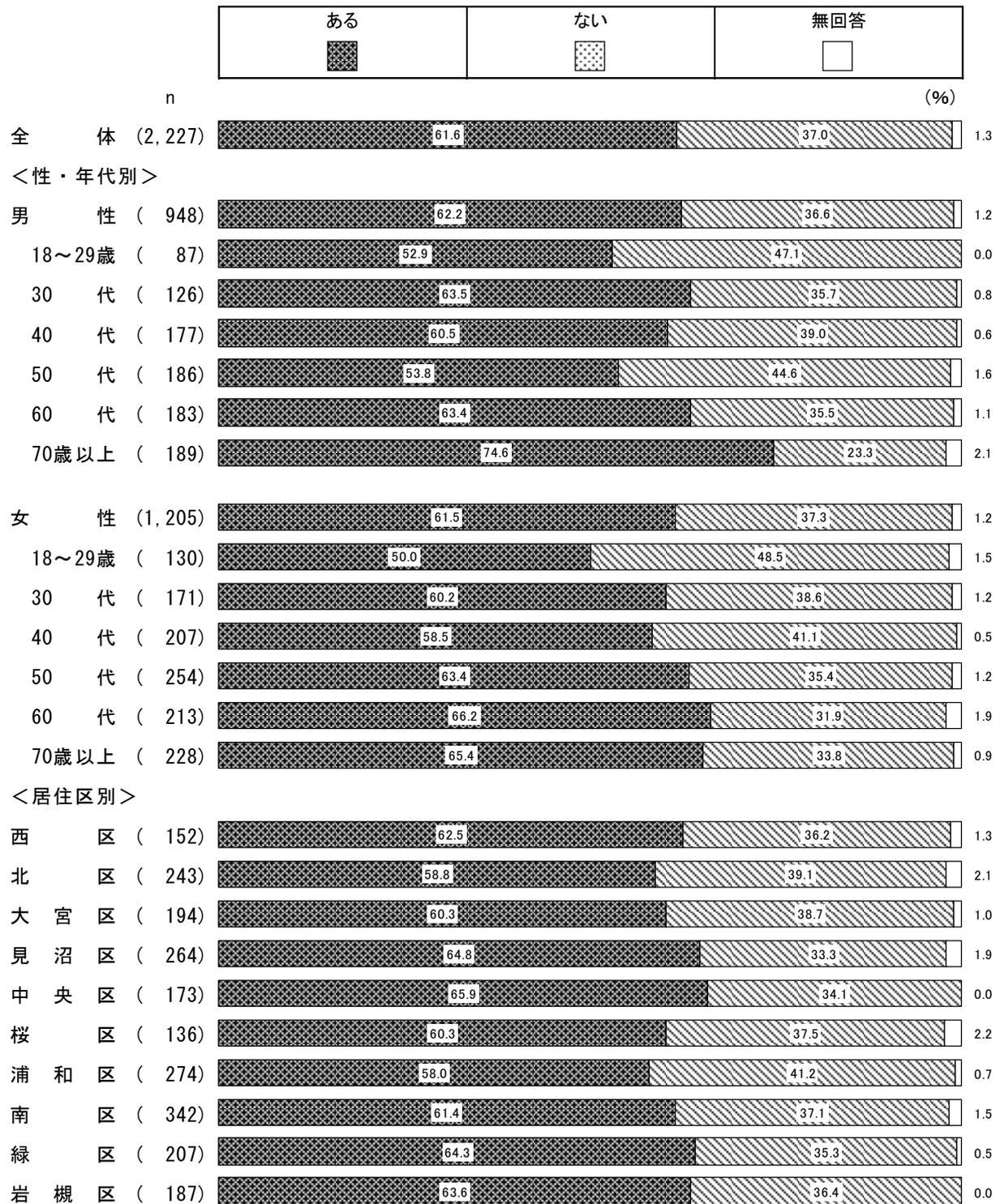


全体結果

1年以内に利用・問合せ経験が「ある」は61.6%であった。

過去4年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「ある」は9.4ポイント減少し、令和2年度以降最も低くなった。(図4-3-1)

図 4-3-2 市役所の利用実態—性・年代別、居住区別—



属性別

性・年代別でみると、「ある」は、すべての年代で5割を超え、男性70歳以上で7割半ばであった。居住区別でみると、「ある」は、すべての区で5割以上であり、中央区が6割半ばで最も高かった。

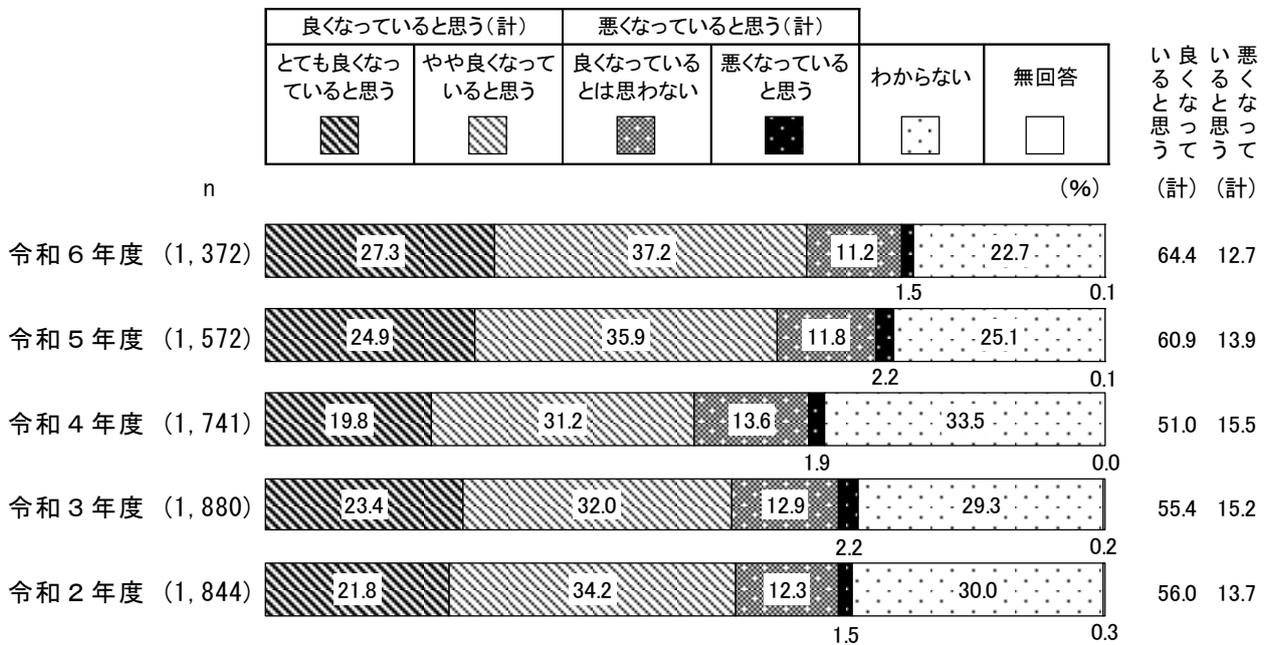
(図4-3-2)

(4) 市職員のイメージ

(問11で「ある」と答えた方に)

問11-1 あなたは、最近の市職員のイメージをどう思いますか。(○は1つ)

図4-4-1 市職員のイメージ



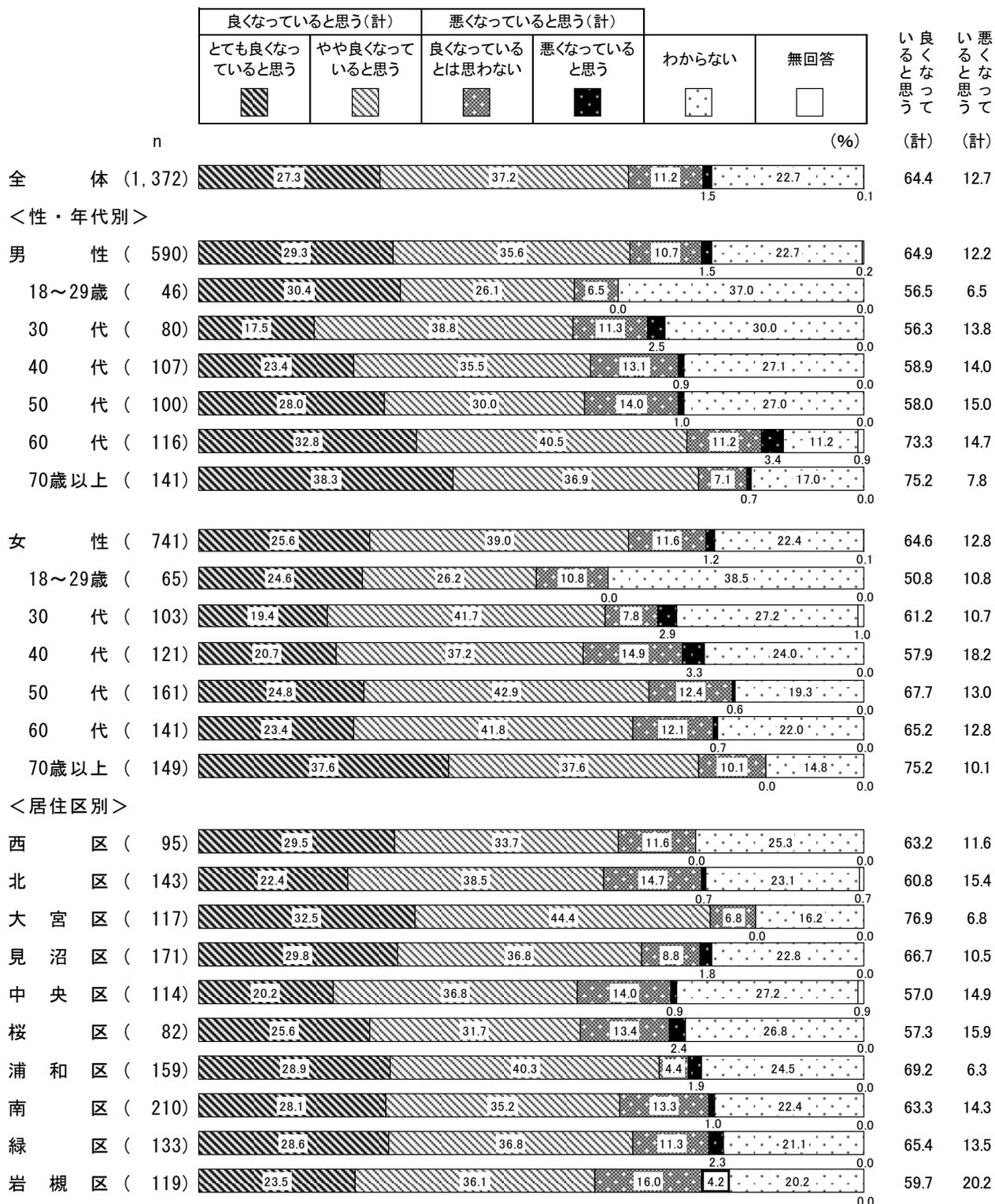
(注記) 令和4年度以前は、この1年以内に市役所を利用したことがある人を対象に再集計した結果を示している。

全体結果

「とても良くなっていると思う」(27.3%)と「やや良くなっていると思う」(37.2%)を合わせた『良くなっていると思う(計)』(64.4%)は、6割半ばであった。一方、「良くなっているとは思わない」(11.2%)と「悪くなっていると思う」(1.5%)を合わせた『悪くなっていると思う(計)』(12.7%)は、1割を超えた。

過去4年間の調査結果と比較すると、『良くなっていると思う(計)』は、令和4年度以降増加傾向にあり、令和5年度と比べ、3.5ポイント増加した。(図4-4-1)

図4-4-2 市職員のイメージ性・年代別、居住区別



属性別

性・年代別でみると、『良くなっていると思う(計)』は、すべての年代で5割以上であり、男性60代以上、女性70歳以上(75.2%)は7割台であった。

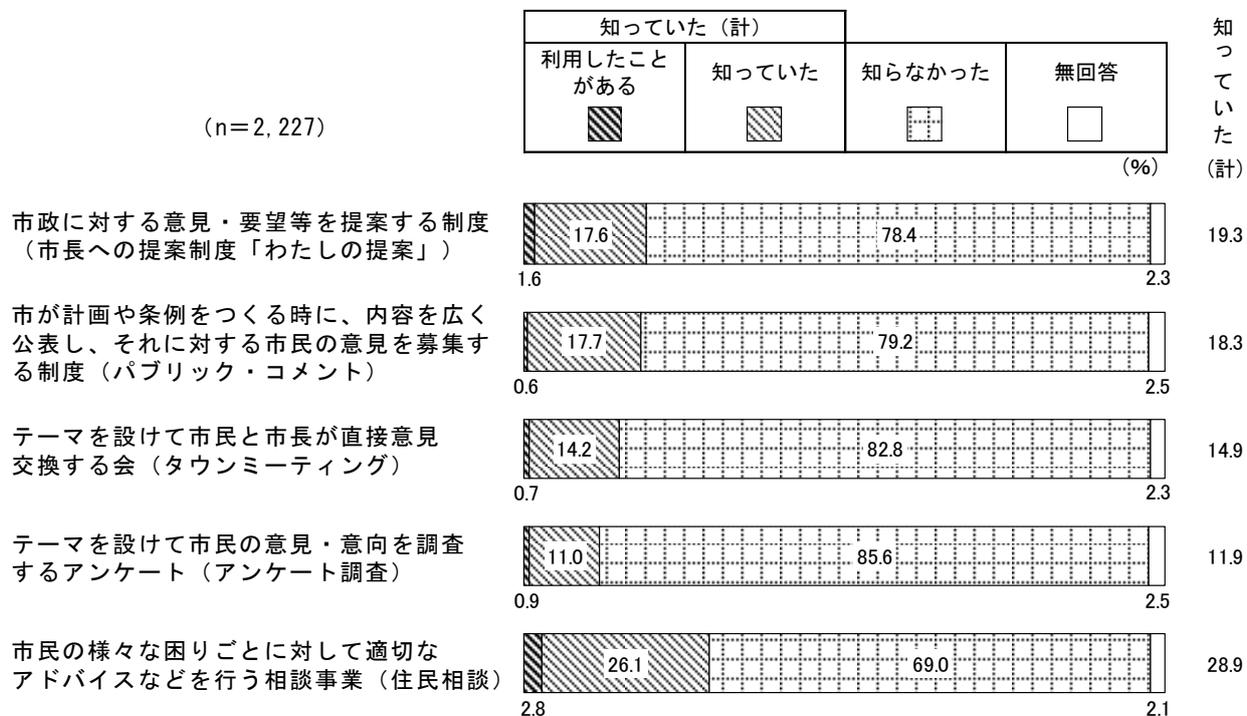
居住区別でみると、『良くなっていると思う(計)』は、すべての区で5割以上であり、大宮区(76.9%)が8割近くであった。(図4-4-2)

(5) 市民の声を聴く事業の認知度

問12 さいたま市では、広く市民の声を聴く事業を行っています。

(1) 以下の1～5の事業について、どの程度知っていましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

図4-5-1 市民の声を聴く事業の認知度



全体結果

「利用したことがある」と「知っていた」を合わせた『知っていた(計)』は、「住民相談」が28.9%、「わたしの提案」が19.3%、「パブリック・コメント」が18.3%、「タウンミーティング」が14.9%、「アンケート調査」が11.9%であった。(図4-5-1)

表4-5-1 市民の声を聴く事業の認知度－性・年代別、居住区別－（その1）

		わたしの提案					パブリック・コメント					タウンミーティング				
	n	利用 した こと が あ る	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答	知 っ て い た （ 計 ）	利 用 し た こ と が あ る	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答	知 っ て い た （ 計 ）	利 用 し た こ と が あ る	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答	知 っ て い た （ 計 ）
全 体	2,227	1.6	17.6	78.4	2.3	19.3	0.6	17.7	79.2	2.5	18.3	0.7	14.2	82.8	2.3	14.9
<性・年代別>																
男 性	948	1.6	16.7	80.1	1.7	18.2	0.9	21.3	75.9	1.8	22.3	0.8	15.1	82.5	1.6	15.9
18～29歳	87	-	6.9	93.1	-	6.9	2.3	6.9	90.8	-	9.2	1.1	8.0	90.8	-	9.2
30代	126	-	9.5	90.5	-	9.5	0.8	24.6	74.6	-	25.4	-	11.9	88.1	-	11.9
40代	177	1.7	12.4	84.7	1.1	14.1	0.6	20.3	77.4	1.7	20.9	-	14.7	84.2	1.1	14.7
50代	186	1.1	14.0	83.3	1.6	15.1	0.5	23.7	75.3	0.5	24.2	0.5	19.4	79.6	0.5	19.9
60代	183	2.2	17.5	78.7	1.6	19.7	1.1	23.5	74.3	1.1	24.6	2.2	11.5	85.2	1.1	13.7
70歳以上	189	3.2	31.7	60.8	4.2	34.9	1.1	22.2	70.9	5.8	23.3	1.1	20.1	73.5	5.3	21.2
女 性	1,205	1.7	18.5	77.5	2.3	20.2	0.4	15.2	82.0	2.4	15.6	0.5	13.9	83.3	2.2	14.4
18～29歳	130	0.8	4.6	93.1	1.5	5.4	-	8.5	90.8	0.8	8.5	-	3.8	95.4	0.8	3.8
30代	171	2.9	6.4	89.5	1.2	9.4	-	12.3	86.5	1.2	12.3	-	6.4	92.4	1.2	6.4
40代	207	2.4	16.4	80.2	1.0	18.8	1.0	15.0	83.1	1.0	15.9	-	11.1	87.9	1.0	11.1
50代	254	2.0	25.6	72.4	-	27.6	1.2	20.5	78.0	0.4	21.7	0.8	18.9	79.9	0.4	19.7
60代	213	0.9	25.8	71.4	1.9	26.8	-	16.4	81.2	2.3	16.4	0.9	16.4	80.3	2.3	17.4
70歳以上	228	0.9	22.8	68.9	7.5	23.7	-	14.5	78.1	7.5	14.5	0.9	20.2	72.4	6.6	21.1
<居住区別>																
西 区	152	-	9.9	86.8	3.3	9.9	-	11.2	86.2	2.6	11.2	-	9.2	88.2	2.6	9.2
北 区	243	2.1	18.9	77.4	1.6	21.0	1.2	16.0	81.5	1.2	17.3	1.2	14.4	83.1	1.2	15.6
大宮区	194	0.5	19.6	79.4	0.5	20.1	1.5	21.1	77.3	-	22.7	-	16.5	83.5	-	16.5
見沼区	264	1.1	20.1	76.5	2.3	21.2	1.1	17.4	78.8	2.7	18.6	1.1	16.3	80.3	2.3	17.4
中央区	173	2.3	13.3	83.2	1.2	15.6	0.6	17.9	79.2	2.3	18.5	0.6	11.0	86.7	1.7	11.6
桜区	136	3.7	11.8	82.4	2.2	15.4	-	11.8	84.6	3.7	11.8	-	13.2	83.8	2.9	13.2
浦和区	274	2.6	22.3	73.7	1.5	24.8	0.4	25.9	72.3	1.5	26.3	0.7	19.0	78.8	1.5	19.7
南区	342	2.0	17.8	78.1	2.0	19.9	0.6	18.4	79.5	1.5	19.0	0.6	13.5	84.5	1.5	14.0
緑区	207	0.5	20.3	77.8	1.4	20.8	0.5	18.4	78.7	2.4	18.8	1.0	14.5	82.1	2.4	15.5
岩槻区	187	1.1	14.4	80.7	3.7	15.5	-	13.4	82.9	3.7	13.4	0.5	11.8	84.5	3.2	12.3

属 性 別

「わたしの提案」について、性・年代別でみると、『知っていた（計）』は、男性70歳以上（34.9%）で3割半ばであった。

「パブリック・コメント」について、性・年代別でみると、『知っていた（計）』は、男性（22.3%）が女性（15.6%）より6.7ポイント高く、男性30代以上、女性50代（21.7%）で2割台であった。

「タウンミーティング」について、性・年代別でみると、『知っていた（計）』は、男女とも70歳以上で2割を超えた。（表4-5-1）

表4-5-1 市民の声を聴く事業の認知度－性・年代別、居住区別－（その2）

	n	アンケート調査					住民相談				
		利用 した こと が あ る	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答	知 っ て い た （ 計 ）	利 用 し た こ と が あ る	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答	知 っ て い た （ 計 ）
全 体	2,227	0.9	11.0	85.6	2.5	11.9	2.8	26.1	69.0	2.1	28.9
<性・年代別>											
男 性	948	1.6	12.7	84.1	1.7	14.2	3.6	23.3	71.8	1.3	26.9
18～29歳	87	1.1	14.9	83.9	-	16.1	3.4	10.3	86.2	-	13.8
30代	126	1.6	14.3	84.1	-	15.9	-	11.1	88.9	-	11.1
40代	177	1.7	10.7	86.4	1.1	12.4	3.4	18.1	78.0	0.6	21.5
50代	186	-	12.4	86.6	1.1	12.4	3.2	19.9	75.8	1.1	23.1
60代	183	2.7	10.9	85.2	1.1	13.7	4.9	27.9	66.7	0.5	32.8
70歳以上	189	2.1	14.3	78.3	5.3	16.4	5.3	41.3	49.2	4.2	46.6
女 性	1,205	0.4	9.7	87.5	2.4	10.1	2.0	28.4	67.4	2.2	30.4
18～29歳	130	-	3.8	95.4	0.8	3.8	-	14.6	84.6	0.8	14.6
30代	171	-	9.4	89.5	1.2	9.4	1.2	14.6	82.5	1.8	15.8
40代	207	1.4	6.8	90.8	1.0	8.2	1.4	18.8	78.7	1.0	20.3
50代	254	-	11.4	88.2	0.4	11.4	1.2	29.9	68.5	0.4	31.1
60代	213	0.5	11.7	85.4	2.3	12.2	4.7	39.0	54.5	1.9	43.7
70歳以上	228	0.4	12.3	79.8	7.5	12.7	2.6	43.9	46.9	6.6	46.5
<居住区別>											
西 区	152	-	11.8	84.9	3.3	11.8	2.0	27.0	69.1	2.0	28.9
北 区	243	0.8	11.1	86.4	1.6	11.9	2.1	25.5	70.8	1.6	27.6
大 宮 区	194	1.5	11.3	87.1	-	12.9	3.6	24.2	72.2	-	27.8
見 沼 区	264	1.5	12.1	84.1	2.3	13.6	3.4	28.8	65.9	1.9	32.2
中 央 区	173	-	11.0	87.3	1.7	11.0	2.3	28.9	67.1	1.7	31.2
桜 区	136	1.5	8.8	86.8	2.9	10.3	0.7	22.8	74.3	2.2	23.5
浦 和 区	274	0.7	13.1	84.7	1.5	13.9	2.6	27.4	68.6	1.5	29.9
南 区	342	0.9	8.8	88.6	1.8	9.6	2.6	23.7	72.2	1.5	26.3
緑 区	207	1.0	9.7	87.4	1.9	10.6	4.3	26.6	67.6	1.4	30.9
岩 槻 区	187	1.1	11.8	83.4	3.7	12.8	2.7	24.6	69.0	3.7	27.3

属 性 別

「アンケート調査」について、性・年代別でみると、『知っていた（計）』は、女性40代以下で1割未満、それ以外は1割台であった。

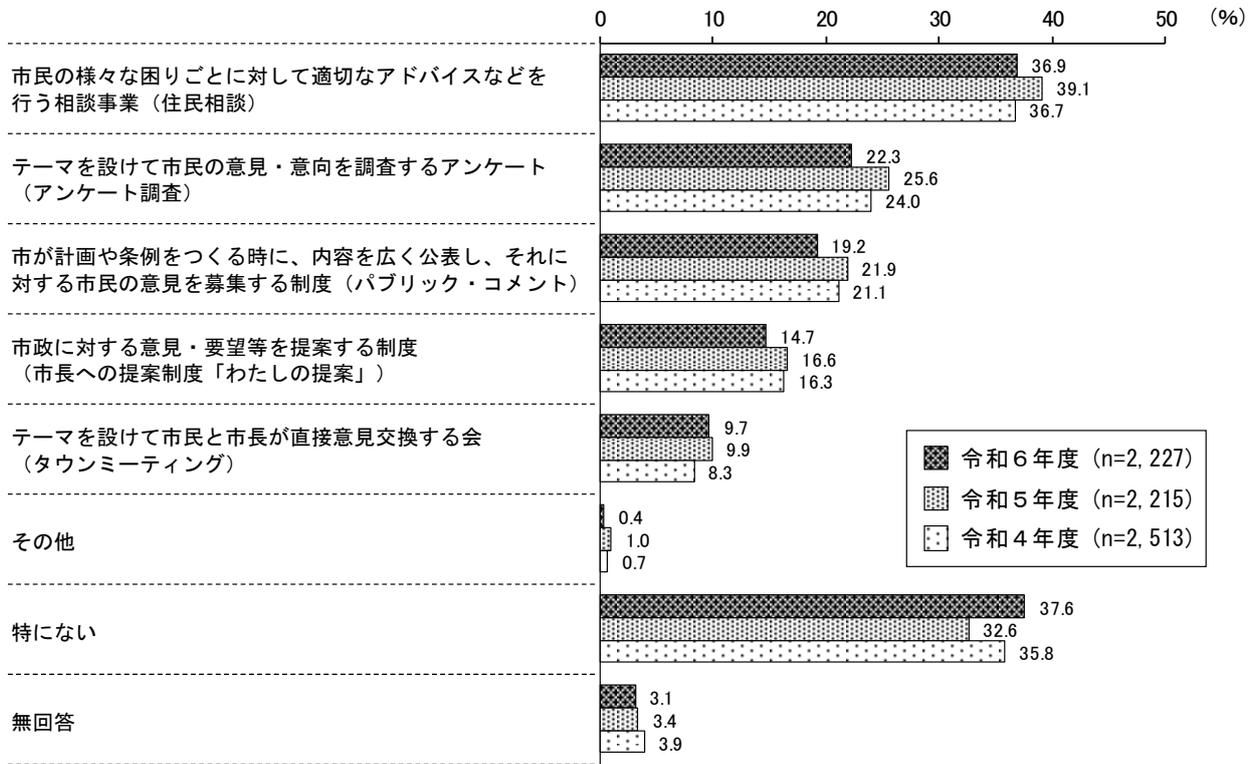
「住民相談」について、性・年代別でみると、『知っていた（計）』は、女性では年代が上がるにつれ高くなり、70歳以上で46.5%であった。（表4-5-1）

(6) 今後利用してみたい事業

問 12 さいたま市では、広く市民の声を聴く事業を行っています。

(2) 前問と同じ1～5の項目で、あなたが今後利用してみたい、あるいは、機会があれば協力してみたい事業に○をつけてください。(○はいくつでも)

図4-6-1 今後利用してみたい事業



全体結果

「住民相談」が36.9%で最も高く、「アンケート調査」(22.3%)、「パブリック・コメント」(19.2%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、すべての項目が令和5年度を下回り、「特にない」は、5.0ポイント増加した。(図4-6-1)

表 4-6-1 今後利用してみたい事業—性・年代別、居住区別—

		(%)								
	n	市民の様々な困りごとに対して適切なアドバイスなどを行う相談事業（住民相談）	テーマを設けて市民の意見・意向を調査するアンケート（アンケート調査）	市が計画や条例をつくる時に、内容を広く公表し、それに対する市民の意見を募集する制度（パブリック・コメント）	市が計画や条例をつくる時に、市内の意見を公表し、それに対する市民の意見を募集する制度（パブリック・コメント）	市政に対する意見・要望等を提案する制度（市長への提案制度「わたしの提案」）	テーマを設けて市民と市長が直接意見交換する会（タウンミーティング）	その他	特にない	無回答
全 体	2,227	36.9	22.3	19.2	14.7	9.7	0.4	37.6	3.1	
<性・年代別>										
男 性	948	34.9	24.6	21.8	18.0	11.8	0.4	36.7	2.5	
18～29歳	87	14.9	9.2	19.5	17.2	6.9	-	56.3	-	
30代	126	31.0	16.7	23.8	19.0	9.5	-	37.3	1.6	
40代	177	31.6	24.3	23.2	19.8	12.4	0.6	39.5	2.3	
50代	186	36.0	29.0	21.5	18.3	16.7	1.1	33.9	2.2	
60代	183	39.9	29.5	20.2	16.4	12.0	0.5	31.7	3.8	
70歳以上	189	43.9	28.0	22.2	17.5	10.1	-	32.3	3.7	
女 性	1,205	38.8	21.0	17.3	12.3	8.2	0.3	38.5	2.8	
18～29歳	130	20.0	16.2	13.8	10.8	5.4	-	58.5	2.3	
30代	171	22.8	22.8	19.9	15.8	8.2	0.6	46.8	2.3	
40代	207	32.4	26.1	18.8	13.5	9.2	0.5	37.2	2.4	
50代	254	44.5	16.5	14.2	12.6	8.3	0.4	38.6	2.0	
60代	213	54.0	25.4	16.9	9.9	5.6	0.5	26.3	1.9	
70歳以上	228	47.4	18.4	19.7	11.4	11.4	-	33.3	5.7	
<居住区別>										
西 区	152	42.8	21.1	19.7	13.8	12.5	-	35.5	5.3	
北 区	243	32.9	25.1	19.3	14.8	11.5	0.4	41.2	2.9	
大 宮 区	194	31.4	22.7	22.7	17.5	10.8	0.5	39.2	2.1	
見 沼 区	264	40.5	20.5	20.8	16.3	9.5	-	37.5	3.0	
中 央 区	173	38.7	23.7	20.8	15.6	10.4	-	38.2	1.7	
桜 区	136	34.6	22.8	21.3	17.6	8.1	0.7	36.8	3.7	
浦 和 区	274	35.0	27.0	22.3	12.4	9.1	0.4	34.7	1.5	
南 区	342	36.0	20.2	18.1	12.9	9.1	0.6	36.3	1.8	
緑 区	207	40.1	20.8	15.5	16.9	8.2	0.5	35.7	3.9	
岩 槻 区	187	40.6	21.4	11.8	13.4	8.6	0.5	43.9	3.7	

属 性 別

性・年代別でみると、「わたしの提案」は、男性が女性より 5.7 ポイント高かった。また、「住民相談」は、女性 60 代（54.0%）で 5 割半ばであった。一方、「特にない」は男女とも 18～29 歳で 5 割台であった。（表 4-6-1）

5. 市政への満足度・重視度

(1) 図、表中の項目表示簡略化対照表

図、表中の項目表示簡略化対照表を示す。(表5-1-1)

表5-1-1 図、表中の項目表示簡略化対照表

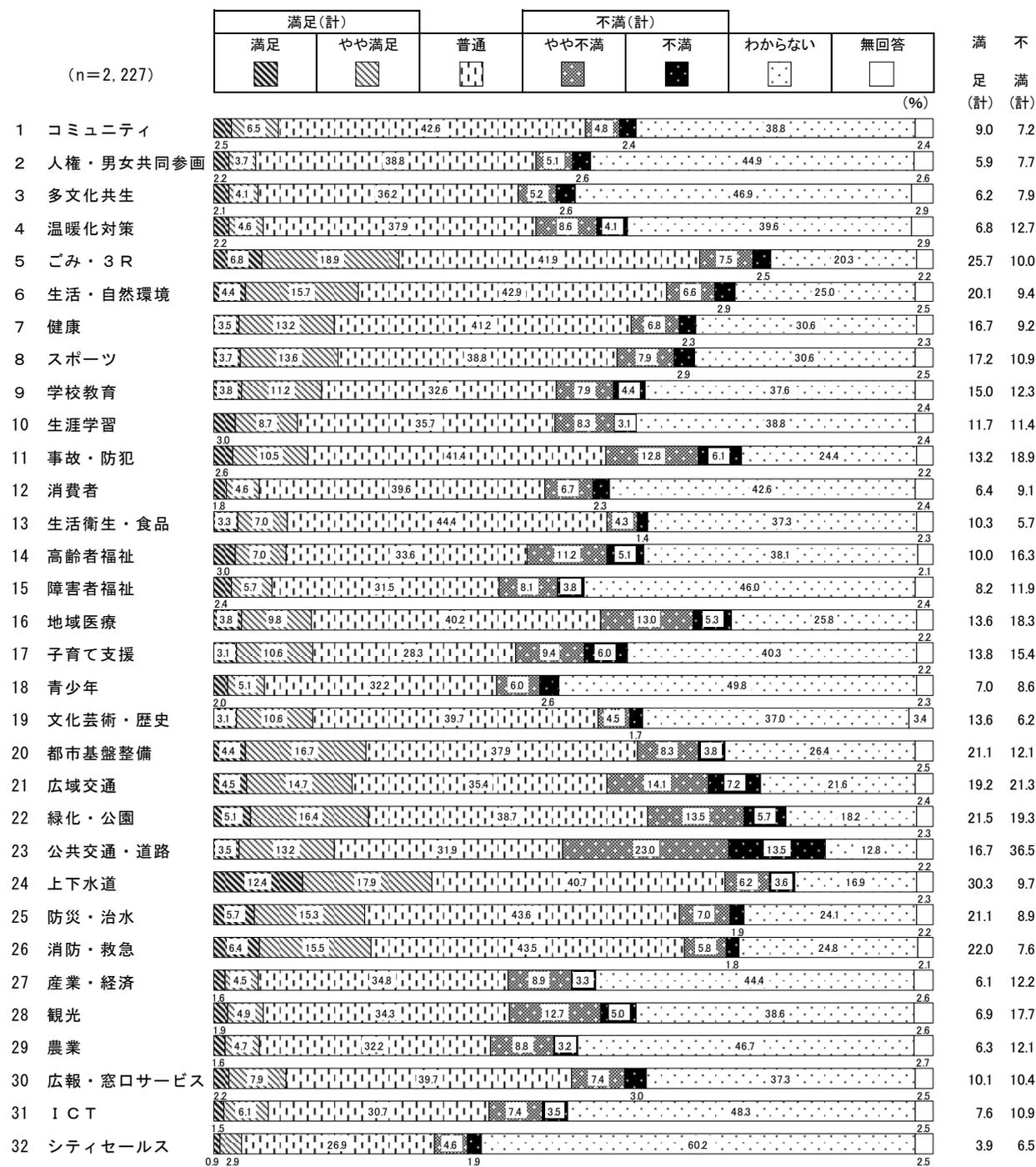
調査票内表示		報告書内表示
コミュニティ ・人権 ・多文化共生	1 地域住民等の交流や自主的活動の促進	コミュニティ
	2 人権尊重社会の実現／男女共同参画社会の実現	人権・男女共同参画
	3 国際交流・多文化共生社会の推進／恒久平和への貢献	多文化共生
環 境	4 地球温暖化対策の推進	温暖化対策
	5 ごみの適正な処理／3R（減量・再使用・再生）の推進	ごみ・3R
	6 良好な生活環境と自然環境の保全・創造	生活・自然環境
健康 ・スポーツ	7 スポーツなどを通じた健康づくりの推進	健康
	8 スポーツの振興／スポーツ環境の充実	スポーツ
教 育	9 魅力ある学校教育の推進	学校教育
	10 生涯学習の振興／学習環境の充実	生涯学習
生活安全	11 交通事故防止／防犯対策の推進	事故・防犯
	12 消費者トラブル防止	消費者
	13 生活衛生と食品の安全	生活衛生・食品
福祉・医療	14 高齢者福祉の充実	高齢者福祉
	15 障害者福祉の充実	障害者福祉
	16 地域医療体制・感染症対策の充実	地域医療
子ども ・子育て	17 子育て支援の充実	子育て支援
	18 青少年の健全育成	青少年
文 化	19 文化芸術の振興／歴史文化資源の保存・継承・活用	文化芸術・歴史
都市 インフラ	20 都心・副都心の都市基盤整備	都市基盤整備
	21 広域交通網の整備	広域交通
	22 緑化の推進・公園整備／良好な住環境の形成	緑化・公園
	23 身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備	公共交通・道路
	24 安全・安定的な水の供給／下水道の整備	上下水道
防災・消防	25 防災・治水対策	防災・治水
	26 消防・救急体制の強化	消防・救急
経済・産業	27 新たな産業の創出／地域経済支援／就労支援	産業・経済
	28 観光の振興	観光
	29 都市農業の振興	農業
質の高い 都市経営	30 広報・広聴機能の充実／効率的な窓口サービス	広報・窓口サービス
	31 ICTやデータを活用した行政サービス	ICT
	32 シティセールスの推進	シティセールス

(2) 施策や事業の満足度

問 13 あなたは、以下の 1～32 の施策や事業について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つつ)

図 5-2-1 施策や事業の満足度

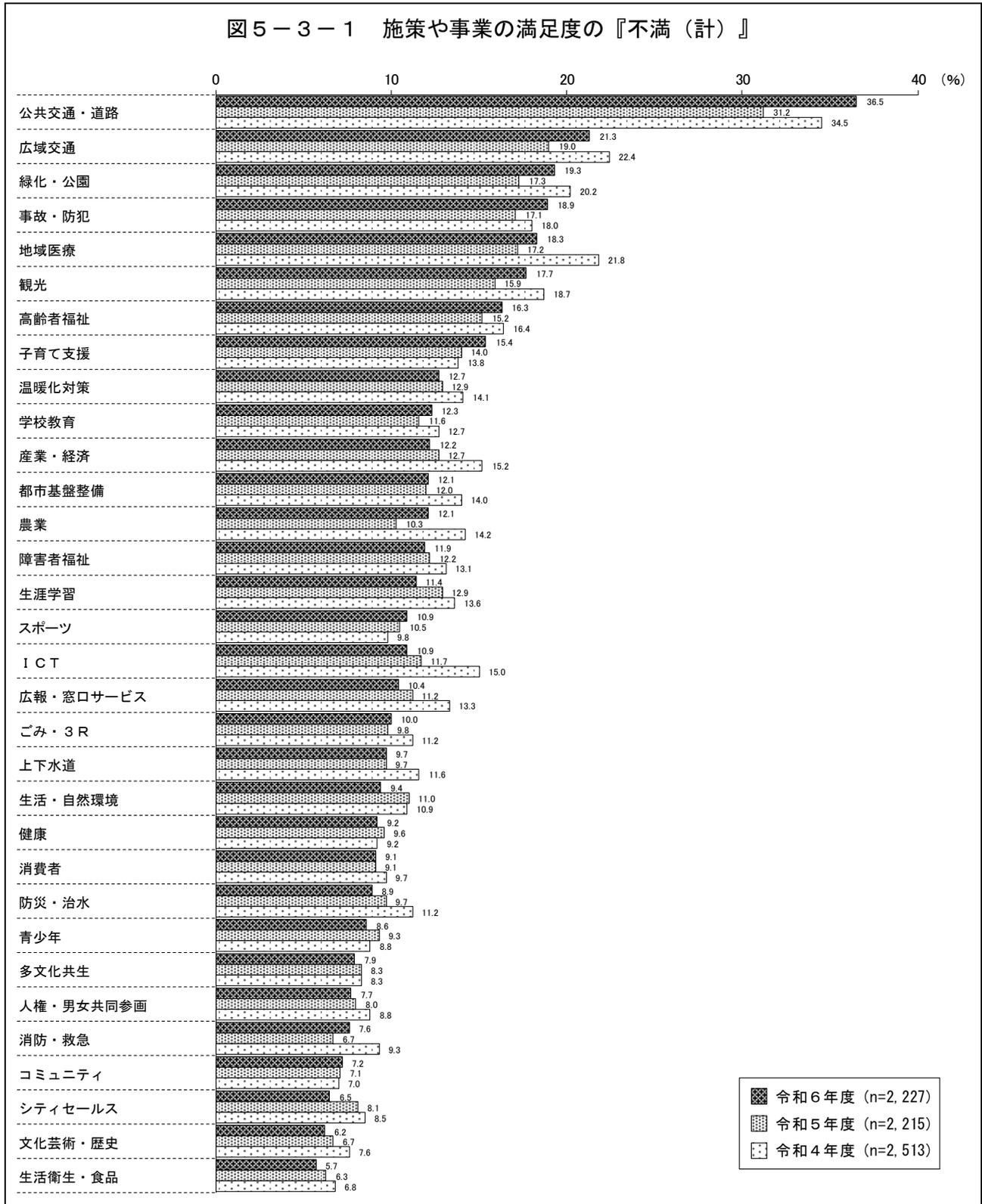


全体結果

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は、「上下水道」が 30.3%で最も高く、「ごみ・3R」(25.7%)、「消防・救急」(22.0%)が続いた。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満(計)』は、「公共交通・道路」が 36.5%で最も高く、「広域交通」(21.3%)、「緑化・公園」(19.3%)が続いた。

『満足(計)』が『不満(計)』を上回ったのは 14 項目で、『不満(計)』が『満足(計)』を上回ったのは 18 項目であった。(図 5-2-1)

(3) 施策や事業の満足度の『不満(計)』



全体結果

「公共交通・道路」が36.5%で最も高く、「広域交通」(21.3%)、「緑化・公園」(19.3%)が続いた。過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「公共交通・道路」は5.3ポイント増加した。(図5-3-1)

表5-3-1 施策や事業の満足度の『不満(計)』上位6項目-性・年代別-

男性(計) (n=984)	(%)	男性18~29歳 (n=87)	(%)	男性30代 (n=126)	(%)	男性40代 (n=177)	(%)
公共交通・道路	38.4	公共交通・道路	27.6	公共交通・道路	34.1	公共交通・道路	38.4
広域交通	26.7	観光	19.5	事故・防犯	22.2	広域交通	30.5
事故・防犯	22.5	広域交通	18.4	広域交通	22.2	観光	23.7
緑化・公園	21.5	事故・防犯	16.1	子育て支援	20.6	事故・防犯	23.2
観光	21.3	子育て支援	14.9	観光	19.8	子育て支援	21.5
地域医療	19.1	都市基盤整備	12.6	緑化・公園	19.8	学校教育	19.8
						I C T	19.8

男性50代 (n=186)	(%)	男性60代 (n=183)	(%)	男性70歳以上 (n=189)	(%)
公共交通・道路	37.1	公共交通・道路	41.5	公共交通・道路	44.4
広域交通	30.1	広域交通	31.7	高齢者福祉	31.7
事故・防犯	22.6	高齢者福祉	31.7	緑化・公園	28.6
観光	22.0	地域医療	30.1	地域医療	23.8
地域医療	19.9	事故・防犯	26.8	広域交通	21.7
緑化・公園	18.3	緑化・公園	25.7	事故・防犯	20.6

女性(計) (n=1,205)	(%)	女性18~29歳 (n=130)	(%)	女性30代 (n=171)	(%)	女性40代 (n=207)	(%)
公共交通・道路	35.6	公共交通・道路	21.5	公共交通・道路	32.2	公共交通・道路	40.1
地域医療	17.9	観光	13.8	子育て支援	31.6	子育て支援	25.1
緑化・公園	17.8	子育て支援	10.8	事故・防犯	20.5	広域交通	20.8
広域交通	17.7	事故・防犯	9.2	緑化・公園	19.9	緑化・公園	20.8
事故・防犯	16.0	学校教育	8.5	学校教育	17.0	事故・防犯	20.3
子育て支援	15.5	ごみ・3R	7.7	観光	16.4	地域医療	20.3
		緑化・公園	7.7				
		I C T	7.7				

女性50代 (n=254)	(%)	女性60代 (n=213)	(%)	女性70歳以上 (n=228)	(%)
公共交通・道路	35.4	公共交通・道路	39.9	公共交通・道路	38.6
観光	19.7	地域医療	22.1	高齢者福祉	20.6
地域医療	19.3	高齢者福祉	21.6	広域交通	20.2
広域交通	18.9	緑化・公園	21.6	地域医療	19.7
高齢者福祉	18.5	広域交通	19.2	緑化・公園	18.9
事故・防犯	16.9	観光	16.9	温暖化対策	17.5

(注記1) 男性40代は、「学校教育」と「I C T」が同じ割合で6位であった。

(注記2) 女性18~29歳は、「ごみ・3R」と「緑化・公園」と「I C T」が同じ割合で6位であった。

属性別

性・年代別でみると、「公共交通・道路」は、男女ともすべての年代で1位であった。また、「事故・防犯」、「広域交通」は幅広い年代で上位6項目に入った。一方、「子育て支援」は男女とも40代以下、「高齢者福祉」は男性60代以上、女性50代以上など、特定の年代で上位6項目に入った。

(表5-3-1)

表5-3-2 施策や事業の満足度の『不満（計）』上位6項目－居住区別－

西区 (n=152)	(%)	北区 (n=243)	(%)	大宮区 (n=194)	(%)	見沼区 (n=264)	(%)	中央区 (n=173)	(%)
公共交通・道路	41.4	公共交通・道路	37.0	公共交通・道路	32.0	公共交通・道路	38.6	公共交通・道路	41.0
広域交通	25.7	広域交通	23.0	事故・防犯	21.1	広域交通	26.5	子育て支援	23.7
緑化・公園	21.1	観光	21.4	広域交通	18.6	事故・防犯	20.1	事故・防犯	21.4
地域医療	20.4	事故・防犯	21.0	観光	18.6	緑化・公園	16.7	緑化・公園	21.4
事故・防犯	19.7	地域医療	18.1	高齢者福祉	16.0	地域医療	15.9	広域交通	17.9
高齢者福祉	18.4	緑化・公園	18.1	地域医療	16.0	高齢者福祉	15.5	観光	17.9
観光	18.4								

桜区 (n=136)	(%)	浦和区 (n=274)	(%)	南区 (n=342)	(%)	緑区 (n=207)	(%)	岩槻区 (n=187)	(%)
公共交通・道路	30.9	公共交通・道路	35.4	公共交通・道路	37.1	公共交通・道路	33.8	公共交通・道路	42.2
広域交通	20.6	緑化・公園	20.4	緑化・公園	24.9	地域医療	23.2	広域交通	31.0
地域医療	19.9	観光	17.9	観光	21.3	広域交通	22.7	地域医療	28.9
緑化・公園	17.6	広域交通	17.5	事故・防犯	19.0	事故・防犯	16.4	緑化・公園	23.5
事故・防犯	15.4	子育て支援	17.2	地域医療	18.7	子育て支援	16.4	事故・防犯	20.9
高齢者福祉	15.4	高齢者福祉	16.4	広域交通	17.3	高齢者福祉	15.9	観光	19.8
子育て支援	15.4								

(注記1) 西区は、「高齢者福祉」と「観光」が同じ割合で6位であった。

(注記2) 桜区は、「事故・防犯」と「高齢者福祉」と「子育て支援」が同じ割合で5位であった。

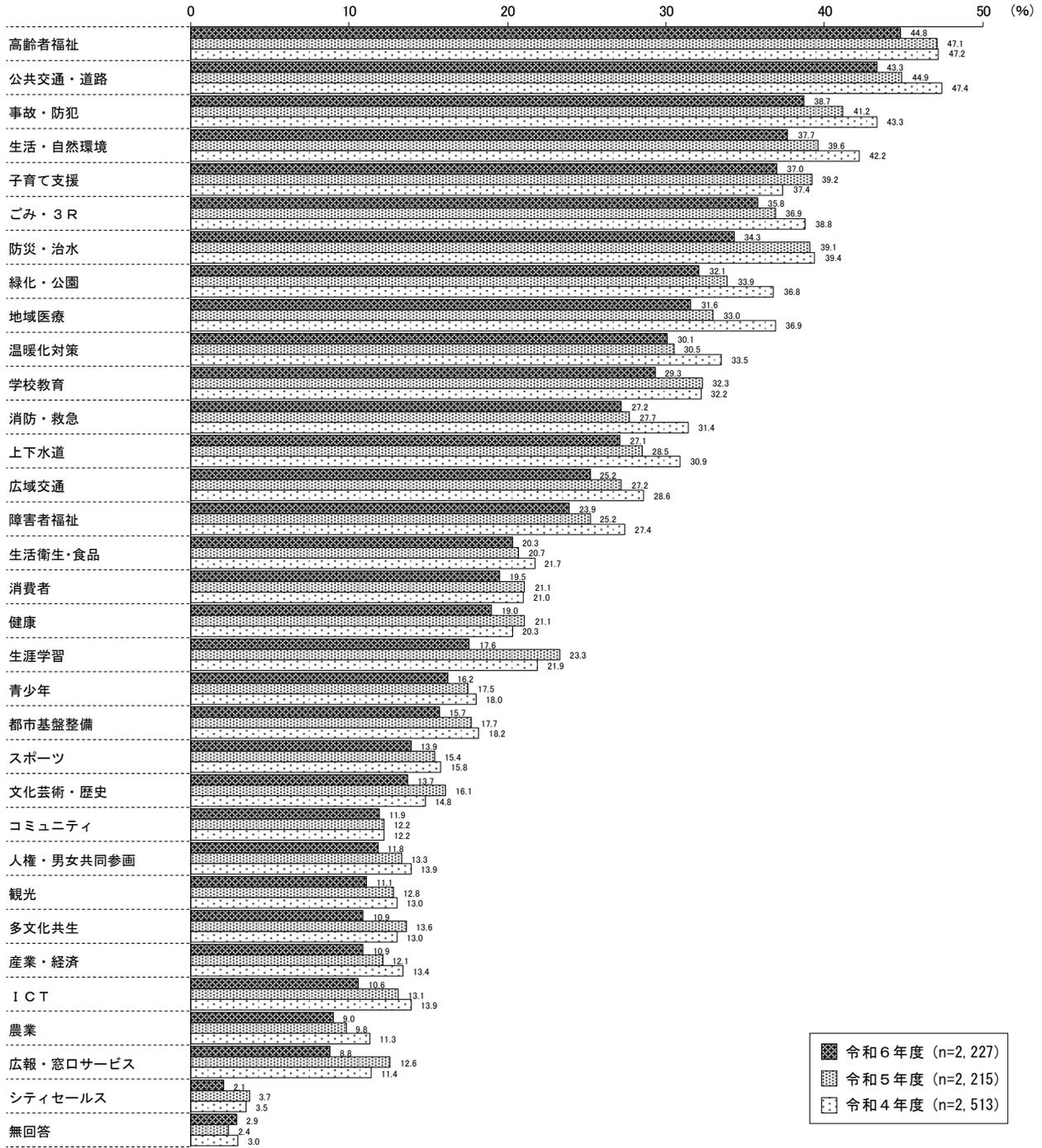
属性別

居住区別でみると、「公共交通・道路」は、すべての区で1位であった。「広域交通」は10区すべて、「事故・防犯」は浦和区以外の9区、「地域医療」、「緑化・公園」は8区、「観光」は7区、「高齢者福祉」は6区、「子育て支援」は4区で6位以内となり、他の項目は6位以内に入らなかった。(表5-3-2)

(4) 今後力を入れてほしい施策

問 14 前問と同じ1～32の項目の中で、あなたが、今後力を入れて取り組んでほしいと思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図5-4-1 今後力を入れてほしい施策



全体結果

「高齢者福祉」が44.8%で最も高く、「公共交通・道路」(43.3%)、「事故・防犯」(38.7%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、すべての項目が令和5年度を下回り、「生涯学習」(17.6%)は、5.7ポイント、「防災・治水」(34.3%)は、4.8ポイント減少した。(図5-4-1)

表5-4-1 今後力を入れてほしい施策（上位6項目）－性・年代別－

男性（計） （n=984）	（%）	男性18～29歳 （n=87）	（%）	男性30代 （n=126）	（%）	男性40代 （n=177）	（%）
高齢者福祉	41.9	公共交通・道路	32.2	子育て支援	60.3	子育て支援	49.2
公共交通・道路	41.4	子育て支援	29.9	学校教育	43.7	事故・防犯	41.2
事故・防犯	39.9	学校教育	23.0	公共交通・道路	36.5	公共交通・道路	40.1
子育て支援	35.7	広域交通	23.0	広域交通	34.1	学校教育	35.6
生活・自然環境	34.9	スポーツ	21.8	緑化・公園	34.1	広域交通	31.1
ごみ・3R	33.5	ごみ・3R	20.7	生活・自然環境	31.0	生活・自然環境	27.1
		事故・防犯	20.7			緑化・公園	27.1
						防災・治水	27.1

男性50代 （n=186）	（%）	男性60代 （n=183）	（%）	男性70歳以上 （n=189）	（%）
公共交通・道路	44.1	高齢者福祉	63.4	高齢者福祉	74.1
高齢者福祉	43.5	公共交通・道路	48.6	ごみ・3R	51.9
事故・防犯	39.8	事故・防犯	47.5	事故・防犯	46.6
生活・自然環境	36.0	生活・自然環境	44.8	地域医療	45.0
防災・治水	34.4	ごみ・3R	44.3	温暖化対策	42.9
地域医療	28.5	防災・治水	40.4	生活・自然環境	42.3

女性（計） （n=1,205）	（%）	女性18～29歳 （n=130）	（%）	女性30代 （n=171）	（%）	女性40代 （n=207）	（%）
高齢者福祉	46.8	公共交通・道路	40.8	子育て支援	63.7	子育て支援	44.4
公共交通・道路	45.3	子育て支援	39.2	公共交通・道路	46.8	公共交通・道路	42.5
生活・自然環境	39.9	事故・防犯	36.9	学校教育	45.0	学校教育	39.6
子育て支援	38.1	学校教育	30.8	防災・治水	36.8	高齢者福祉	33.8
事故・防犯	37.9	防災・治水	30.8	事故・防犯	36.3	生活・自然環境	33.3
ごみ・3R	37.7	生活・自然環境	30.0	生活・自然環境	33.9	事故・防犯	33.3
		緑化・公園	30.0	緑化・公園	33.9		

女性50代 （n=254）	（%）	女性60代 （n=213）	（%）	女性70歳以上 （n=228）	（%）
高齢者福祉	52.8	高齢者福祉	66.2	高齢者福祉	74.6
公共交通・道路	44.9	生活・自然環境	53.5	ごみ・3R	53.1
防災・治水	38.6	ごみ・3R	49.3	温暖化対策	49.1
生活・自然環境	37.8	公共交通・道路	46.5	公共交通・道路	49.1
ごみ・3R	37.0	事故・防犯	41.3	生活・自然環境	46.1
事故・防犯	36.6	緑化・公園	40.8	地域医療	44.7

（注記1）男性18～29歳は、「ごみ・3R」と「事故・防犯」が同じ割合で6位であった。

（注記2）男性40代は、「生活・自然環境」と「緑化・公園」と「防災・治水」が同じ割合で6位であった。

（注記3）女性18～29歳は、「生活・自然環境」と「緑化・公園」が同じ割合で6位であった。

（注記4）女性30代は、「生活・自然環境」と「緑化・公園」が同じ割合で6位であった。

属性別

性・年代別でみると、「高齢者福祉」は男性60代以上、女性50代以上、「子育て支援」は男女とも30～40代、「公共交通・道路」は男女とも18～29歳、男性50代で1位であった。また、「公共交通・道路」、「生活・自然環境」、「事故・防犯」は幅広い年代で上位6項目に入った。（表5-4-1）

表 5-4-2 今後力を入れてほしい施策（上位 6 項目）－居住区別－

西 区 (n=152)	(%)	北 区 (n=243)	(%)	大宮区 (n=194)	(%)	見沼区 (n=264)	(%)	中央区 (n=173)	(%)
高齢者福祉	50.0	高齢者福祉	44.4	公共交通・道路	44.8	公共交通・道路	45.8	高齢者福祉	43.9
公共交通・道路	47.4	公共交通・道路	43.2	事故・防犯	42.3	高齢者福祉	44.3	事故・防犯	42.2
ごみ・3R	39.5	ごみ・3R	39.1	子育て支援	40.2	子育て支援	40.5	生活・自然環境	38.2
防災・治水	39.5	事故・防犯	39.1	高齢者福祉	38.1	事故・防犯	38.6	公共交通・道路	37.0
事故・防犯	38.8	生活・自然環境	36.2	ごみ・3R	36.1	生活・自然環境	38.3	子育て支援	35.8
緑化・公園	36.2	地域医療	35.4	生活・自然環境	34.5	ごみ・3R	36.4	緑化・公園	34.7

桜 区 (n=136)	(%)	浦和区 (n=274)	(%)	南 区 (n=342)	(%)	緑 区 (n=207)	(%)	岩槻区 (n=187)	(%)
高齢者福祉	47.1	高齢者福祉	47.4	高齢者福祉	46.2	事故・防犯	44.4	公共交通・道路	43.3
公共交通・道路	47.1	公共交通・道路	42.0	公共交通・道路	42.4	公共交通・道路	44.4	高齢者福祉	40.1
防災・治水	44.9	生活・自然環境	41.2	生活・自然環境	38.3	高齢者福祉	43.5	事故・防犯	39.6
ごみ・3R	40.4	子育て支援	40.1	子育て支援	37.4	生活・自然環境	40.6	生活・自然環境	38.0
温暖化対策	37.5	緑化・公園	39.4	緑化・公園	36.5	ごみ・3R	38.6	ごみ・3R	34.2
事故・防犯	35.3	学校教育	38.7	事故・防犯	36.0	子育て支援	38.6	防災・治水	34.2

属 性 別

居住区別でみると、「高齢者福祉」は西区など 6 区、「公共交通・道路」は大宮区、見沼区、岩槻区、「事故・防犯」は緑区で 1 位であった。また、「高齢者福祉」、「公共交通・道路」はすべての区、「事故・防犯」は 9 区、「生活・自然環境」は 8 区、「ごみ・3R」は 7 区で上位 6 項目に入った。

(表 5-4-2)

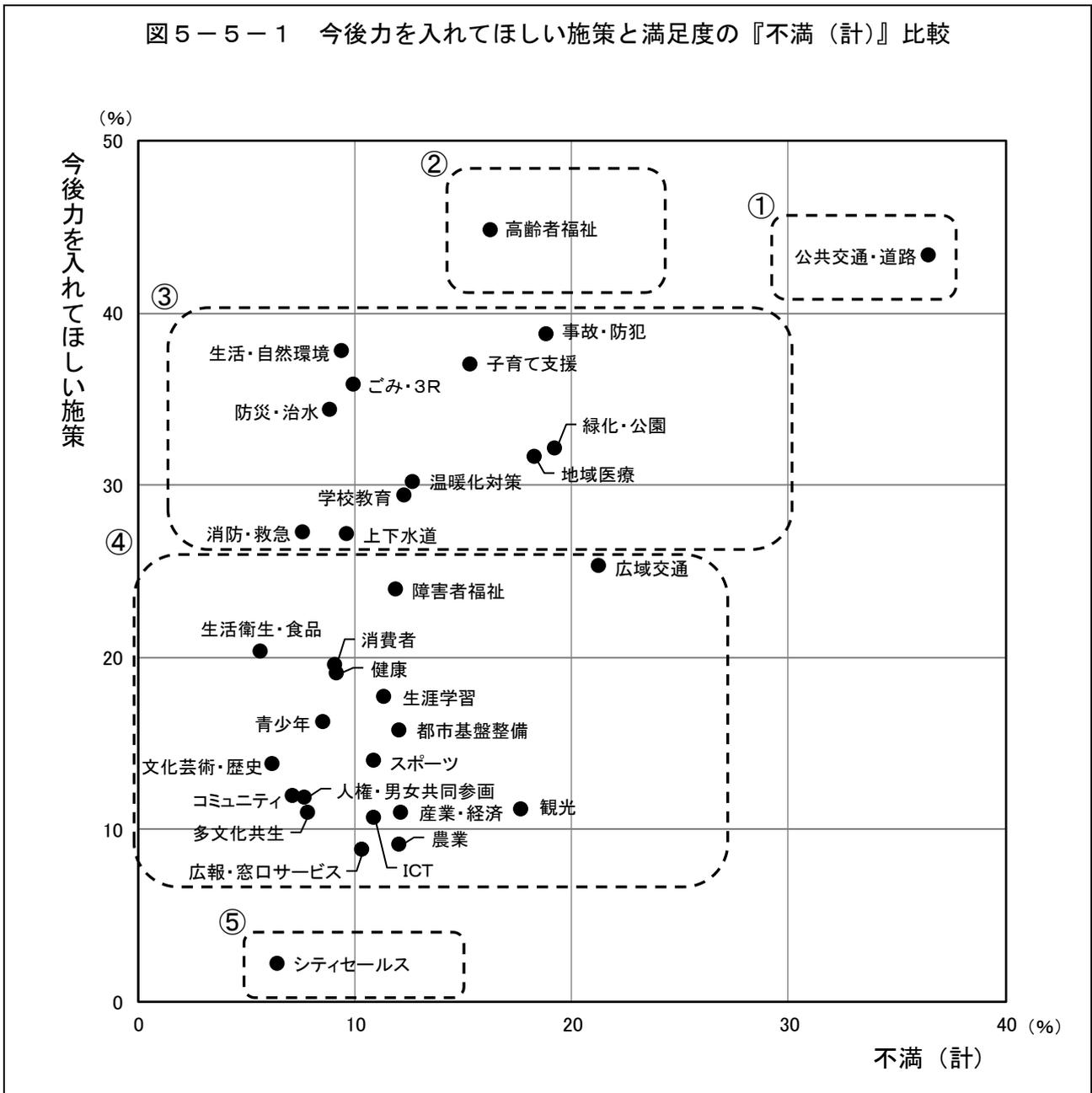
表5-4-3 今後力を入れてほしい施策一性・年代別、居住区別一（その1）

	n	(%)															
		1 高齢者福祉	2 公共交通・道路	3 事故・防犯	4 生活・自然環境	5 子育て支援	6 ごみ・3R	7 防災・治水	8 緑化・公園	9 地域医療	10 温暖化対策	11 学校教育	12 消防・救急	13 上下水道	14 広域交通	15 障害者福祉	16 生活衛生・食品
全体	2,227	44.8	43.3	38.7	37.7	37.0	35.8	34.3	32.1	31.6	30.1	29.3	27.2	27.1	25.2	23.9	20.3
<性・年代別>																	
男性	948	41.9	41.4	39.9	34.9	35.7	33.5	32.2	29.0	28.4	27.1	27.6	23.4	25.3	29.2	22.4	17.7
18~29歳	87	6.9	32.2	20.7	17.2	29.9	20.7	18.4	17.2	13.8	12.6	23.0	16.1	14.9	23.0	5.7	10.3
30代	126	9.5	36.5	30.2	31.0	60.3	21.4	26.2	34.1	11.9	15.9	43.7	14.3	16.7	34.1	8.7	16.7
40代	177	23.7	40.1	41.2	27.1	49.2	25.4	27.1	27.1	22.6	14.1	35.6	20.3	23.7	31.1	14.7	15.8
50代	186	43.5	44.1	39.8	36.0	24.7	26.3	34.4	25.8	28.5	27.4	23.1	21.0	26.3	26.3	24.2	15.6
60代	183	63.4	48.6	47.5	44.8	30.6	44.3	40.4	32.2	35.0	37.7	21.3	30.6	30.1	34.4	32.2	21.9
70歳以上	189	74.1	40.2	46.6	42.3	24.9	51.9	37.0	32.8	45.0	42.9	22.2	31.2	31.7	24.9	34.9	21.7
女性	1,205	46.8	45.3	37.9	39.9	38.1	37.7	35.9	34.6	34.1	32.2	31.0	30.4	28.4	22.4	24.9	22.1
18~29歳	130	19.2	40.8	36.9	30.0	39.2	28.5	30.8	30.0	20.0	23.1	30.8	25.4	23.1	16.9	13.8	17.7
30代	171	14.0	46.8	36.3	33.9	63.7	22.2	36.8	33.9	26.3	18.1	45.0	21.6	27.5	25.7	13.5	17.5
40代	207	33.8	42.5	33.3	33.3	44.4	28.5	30.0	31.9	30.4	26.6	39.6	25.1	20.8	16.4	25.1	15.0
50代	254	52.8	44.9	36.6	37.8	26.8	37.0	38.6	31.9	35.0	29.1	22.4	31.1	28.3	29.1	26.4	24.4
60代	213	66.2	46.5	41.3	53.5	37.1	49.3	40.4	40.8	40.4	40.4	23.0	37.6	32.4	19.2	33.3	23.0
70歳以上	228	74.6	49.1	42.5	46.1	26.3	53.1	36.0	37.7	44.7	49.1	30.3	37.3	35.1	24.1	30.3	31.1
<居住区別>																	
西区	152	50.0	47.4	38.8	35.5	35.5	39.5	39.5	36.2	35.5	34.9	28.3	25.7	33.6	26.3	22.4	25.0
北区	243	44.4	43.2	39.1	36.2	34.6	39.1	32.5	28.0	35.4	28.0	28.4	28.4	23.9	25.9	25.9	18.5
大宮区	194	38.1	44.8	42.3	34.5	40.2	36.1	29.9	31.4	25.3	27.3	28.9	23.7	23.7	30.4	25.3	21.6
見沼区	264	44.3	45.8	38.6	38.3	40.5	36.4	29.5	26.9	31.8	32.2	30.3	25.8	26.9	28.4	25.0	19.7
中央区	173	43.9	37.0	42.2	38.2	35.8	27.2	30.6	34.7	28.9	23.1	31.8	23.1	26.6	23.7	17.9	18.5
桜区	136	47.1	47.1	35.3	33.8	29.4	40.4	44.9	31.6	30.9	37.5	25.7	31.6	25.0	26.5	29.4	19.9
浦和区	274	47.4	42.0	35.0	41.2	40.1	37.6	34.3	39.4	31.4	29.9	38.7	29.9	29.6	22.6	25.2	20.8
南区	342	46.2	42.4	36.0	38.3	37.4	31.9	35.4	36.5	29.8	26.9	28.9	26.0	28.4	20.2	23.1	19.0
緑区	207	43.5	44.4	44.4	40.6	38.6	38.6	38.2	31.4	35.3	33.3	28.0	29.0	26.1	24.2	20.3	22.2
岩槻区	187	40.1	43.3	39.6	38.0	33.7	34.2	34.2	23.5	33.7	31.6	21.9	31.0	27.8	29.9	23.0	18.2

表5-4-3 今後力を入れてほしい施策一性・年代別、居住区別一（その2）

		(%)															
	n	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
		消費者	健康	生涯学習	青少年	都市基盤整備	スポーツ	文化芸術・歴史	コミュニティ	人権・男女共同参画	観光	多文化共生	産業・経済	I C T	農業	広報・窓口サービス	シテイセールス
全 体	2,227	19.5	19.0	17.6	16.2	15.7	13.9	13.7	11.9	11.8	11.1	10.9	10.9	10.6	9.0	8.8	2.1
<性・年代別>																	
男 性	948	21.9	21.0	16.1	15.4	16.4	16.6	12.2	12.6	10.5	11.2	8.9	12.0	14.2	8.6	8.0	2.1
18~29歳	87	14.9	16.1	9.2	12.6	17.2	21.8	6.9	9.2	5.7	12.6	4.6	9.2	12.6	4.6	4.6	1.1
30代	126	14.3	21.4	15.9	20.6	17.5	18.3	7.9	5.6	5.6	9.5	6.3	9.5	20.6	4.8	4.0	3.2
40代	177	15.8	19.2	15.8	17.5	22.0	18.1	10.7	9.0	6.8	12.4	4.0	12.4	15.8	8.5	5.1	1.1
50代	186	19.9	21.0	16.1	10.8	15.6	16.1	13.4	11.3	11.3	10.8	9.1	12.4	16.7	9.1	5.4	2.2
60代	183	29.0	20.2	19.1	16.4	15.8	16.4	14.2	14.2	11.5	15.3	14.8	14.8	7.7	8.7	9.8	1.1
70歳以上	189	31.2	25.4	16.9	14.8	11.1	12.2	15.9	21.7	18.0	6.9	11.1	11.6	13.2	12.7	15.9	3.7
女 性	1,205	17.8	17.7	18.8	16.6	15.6	12.0	14.9	11.2	12.4	11.0	12.4	10.0	8.0	9.2	9.5	2.1
18~29歳	130	13.1	14.6	11.5	5.4	27.7	13.1	9.2	7.7	16.9	14.6	10.0	5.4	14.6	5.4	4.6	3.8
30代	171	11.7	8.2	18.7	23.4	21.6	12.3	11.7	8.8	9.9	10.5	9.9	9.9	13.5	2.3	6.4	1.2
40代	207	12.1	15.9	19.3	19.3	13.0	13.5	12.1	7.2	13.0	11.1	14.5	9.2	8.2	7.2	7.7	2.4
50代	254	21.3	18.9	18.9	13.4	14.2	13.8	18.9	7.9	10.2	13.4	10.6	11.4	9.1	9.8	8.7	1.6
60代	213	20.7	17.8	22.1	16.9	11.3	8.5	16.4	13.6	13.6	9.4	15.5	12.2	4.2	12.2	11.7	2.8
70歳以上	228	24.1	26.8	19.7	18.9	12.3	11.4	17.5	20.2	12.3	8.3	12.7	10.1	2.2	14.9	14.9	1.3
<居住区別>																	
西 区	152	20.4	22.4	17.8	17.1	14.5	15.8	13.8	11.2	10.5	13.2	13.2	13.2	3.3	10.5	6.6	0.7
北 区	243	18.9	20.6	16.5	12.3	19.3	14.8	11.5	12.3	11.9	8.6	11.5	11.9	10.3	8.6	11.1	1.2
大 宮 区	194	17.5	21.1	17.5	17.0	23.2	16.0	14.9	13.9	11.3	13.4	13.9	8.2	13.9	7.7	7.7	4.6
見 沼 区	264	21.2	20.5	18.2	17.8	15.2	15.5	11.7	11.4	12.9	12.1	10.2	13.3	10.2	8.7	8.0	1.5
中 央 区	173	13.9	12.7	15.6	12.7	17.3	5.8	11.6	9.2	14.5	8.7	8.1	5.2	8.7	6.4	6.9	1.7
桜 区	136	19.9	15.4	15.4	13.2	15.4	14.7	14.0	9.6	11.0	11.0	13.2	14.0	11.0	12.5	8.8	0.7
浦 和 区	274	22.6	19.3	24.8	21.5	19.0	16.8	17.2	13.5	12.8	10.6	11.3	10.6	17.5	10.2	12.4	3.6
南 区	342	17.8	20.5	17.5	15.2	9.9	14.0	14.6	11.7	11.1	12.0	9.9	11.4	12.9	10.2	8.2	2.6
緑 区	207	23.7	21.3	15.5	16.9	13.0	15.5	12.1	11.1	9.2	7.7	9.2	11.6	9.2	8.2	8.7	1.9
岩 槻 区	187	19.3	13.9	15.0	15.5	14.4	9.1	15.5	12.8	10.2	13.4	9.1	9.1	5.3	8.0	8.0	1.1

(5) 今後力を入れてほしい施策と満足度の『不満（計）』比較



全体結果

施策や事業の満足度の『不満（計）』（現状の満足度）と、今後力を入れてほしい施策（今後の重視度）の関係をみると、以下の5つのグループに分かれた。

- ①『不満（計）』が高く、今後の重視度が高い「公共交通・道路」
- ②『不満（計）』が中位で、今後の重視度が高い「高齢者福祉」
- ③『不満（計）』と、今後の重視度がともに中位の「事故・防犯」、「子育て支援」など
- ④『不満（計）』が中位で、今後の重視度が低い「障害者福祉」、「生涯学習」など
- ⑤『不満（計）』と、今後の重視度がともに低い「シティセールス」

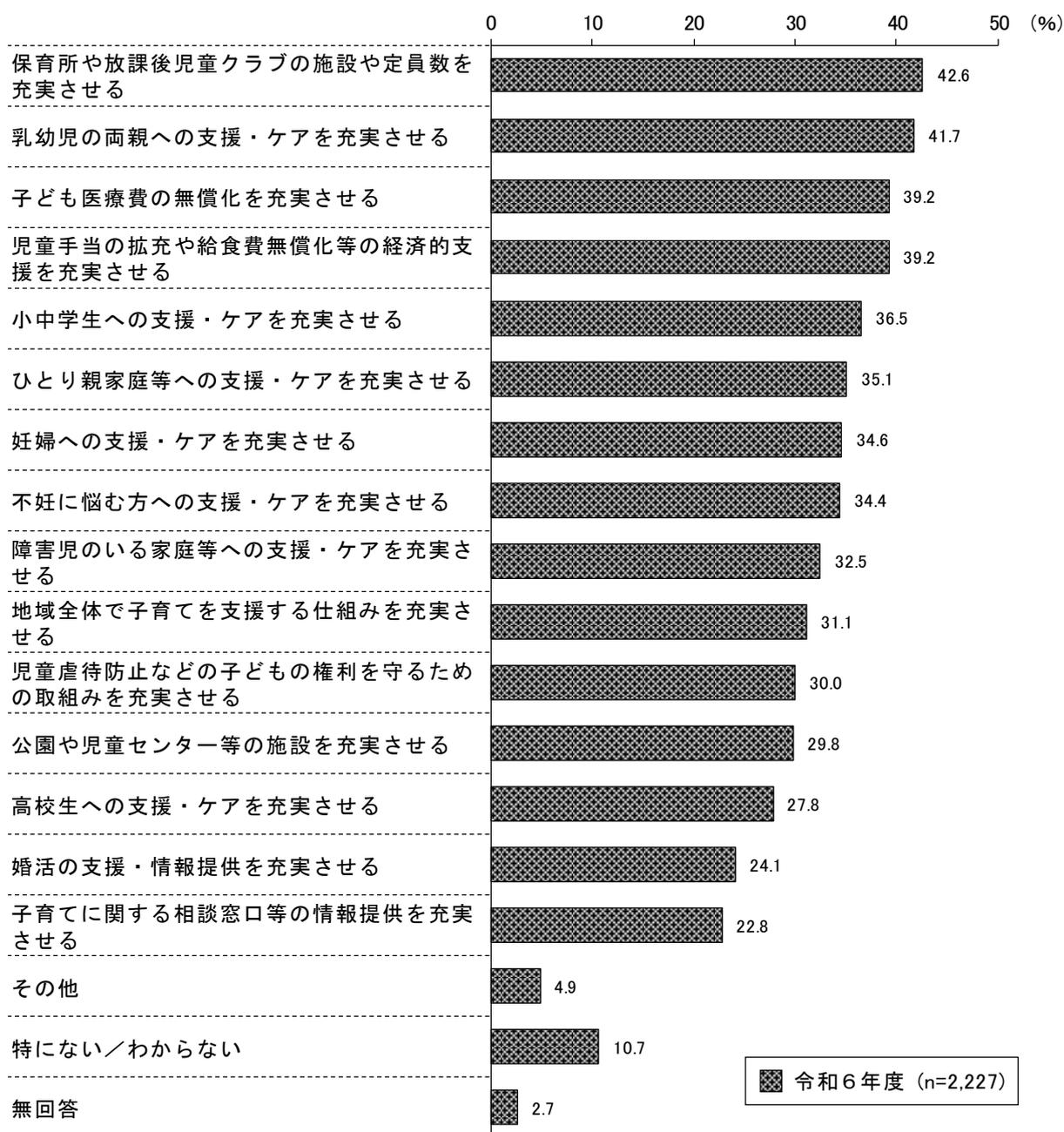
(図5-5-1)

6. 少子化対策・子育て支援

(1) 「少子化対策・子育て支援」で特に重視すべき施策

問 15 「少子化対策・子育て支援」の施策を進めるにあたって、あなたが特に重視するとよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

図 6-1-1 「少子化対策・子育て支援」で特に重視すべき施策



全体結果

「保育所や放課後児童クラブの施設や定員数を充実させる」が 42.6%で最も高く、「乳幼児の両親への支援・ケアを充実させる」(41.7%)、「子ども医療費の無償化を充実させる」、「児童手当の拡充や給食費無償化等の経済的支援を充実させる」(ともに 39.2%)が続いた。(図 6-1-1)

表6-1-1 「少子化対策・子育て支援」で特に重視すべき施策（上位10項目）

－性・年代別、居住区別－

(%)

	n	設 保 育 所 や 放 課 後 児 童 ク ラ ブ の 施 設 や 定 員 数 を 充 実 さ せ る	充 乳 幼 児 の 両 親 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	せ 子 ど も 医 療 費 の 無 償 化 を 充 実 さ せ る	等 児 童 の 経 済 的 支 援 を 充 実 さ せ る	さ 小 中 学 生 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	を ひ と り 親 家 庭 等 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	る 妊 婦 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	充 不 妊 に 悩 む 方 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	ケ 障 害 児 の い る 家 庭 等 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	組 地 域 全 体 で 子 育 て を 支 援 す る 仕 組 み を 充 実 さ せ る
全 体	2,227	42.6	41.7	39.2	39.2	36.5	35.1	34.6	34.4	32.5	31.1
<性・年代別>											
男 性	948	38.8	40.1	40.8	38.4	35.7	33.8	32.9	30.7	29.7	28.1
18～29歳	87	34.5	39.1	49.4	37.9	37.9	32.2	39.1	21.8	19.5	25.3
30代	126	44.4	47.6	50.0	51.6	47.6	27.0	39.7	39.7	25.4	31.7
40代	177	37.9	39.5	41.8	43.5	44.6	29.9	33.9	36.2	28.2	27.1
50代	186	37.1	38.2	34.9	30.6	34.9	30.1	30.1	32.8	29.6	26.3
60代	183	40.4	41.5	38.3	36.1	26.2	38.3	35.0	30.6	32.2	29.0
70歳以上	189	38.1	36.5	38.1	34.9	28.0	41.8	25.4	21.7	36.5	28.6
女 性	1,205	46.3	43.6	38.7	40.2	37.3	36.3	36.2	37.8	34.8	33.4
18～29歳	130	44.6	53.8	51.5	43.1	41.5	33.1	49.2	39.2	30.0	33.8
30代	171	60.2	62.6	48.0	59.6	57.9	29.8	49.1	43.3	31.6	42.7
40代	207	42.5	38.2	48.8	49.3	45.9	35.3	30.4	42.0	37.7	29.0
50代	254	44.1	35.4	33.5	31.9	33.9	37.0	32.7	39.0	33.1	28.7
60代	213	55.9	47.9	31.9	33.3	28.2	43.7	39.4	38.5	40.4	39.4
70歳以上	228	34.2	33.8	27.6	31.6	24.6	36.4	25.4	26.8	33.8	29.8
<居住区別>											
西 区	152	42.1	39.5	38.2	36.8	36.2	37.5	32.2	32.9	34.2	34.2
北 区	243	45.3	39.5	35.4	35.4	31.7	37.4	35.8	36.2	29.6	33.3
大 宮 区	194	43.8	39.2	39.7	37.1	39.2	33.0	37.6	33.5	31.4	30.4
見 沼 区	264	42.8	45.1	43.2	45.1	40.9	33.0	34.5	39.4	35.2	31.4
中 央 区	173	45.1	42.8	38.7	39.3	42.2	38.7	30.1	34.7	33.5	27.7
桜 区	136	39.0	44.1	39.0	41.9	32.4	39.7	39.7	35.3	34.6	27.2
浦 和 区	274	44.9	42.0	43.8	43.4	38.7	32.8	35.4	32.1	30.3	36.1
南 区	342	40.1	45.6	40.1	38.6	37.1	34.8	34.8	33.3	34.8	30.1
緑 区	207	44.0	44.4	42.5	37.7	37.2	35.3	37.2	35.3	33.8	28.5
岩 槻 区	187	42.2	35.3	33.2	38.0	28.9	32.6	31.6	34.8	28.9	29.4

属 性 別

性・年代別でみると、「子ども医療費の無償化を充実させる」以外の項目は女性が男性より高かった。「保育所や放課後児童クラブの施設や定員数を充実させる」、「不妊に悩む方への支援・ケアを充実させる」、「地域全体で子育てを支援する仕組みを充実させる」、「障害児のいる家庭等への支援・ケアを充実させる」は、女性が男性より5ポイント以上高かった。また、「保育所や放課後児童クラブの施設や定員数を充実させる」、「乳幼児の両親への支援・ケアを充実させる」は、女性30代で6割台であった。

(表6-1-1)

表6-1-2 「少子化対策・子育て支援」で特に重視すべき施策（上位10項目）

—家族構成別、子どもの有無別、子どもの年齢階層別—

(%)

	n	設 保 育 所 や 放 課 後 児 童 ク ラ ブ の 施 設 充 実 さ せ る	乳 幼 児 の 両 親 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	子 ど も 医 療 費 の 無 償 化 を 充 実 さ せ る	児 童 の 経 済 的 支 援 を 充 実 さ せ る	小 中 学 生 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	一 人 親 家 庭 等 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	妊 婦 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	不 妊 に 悩 む 方 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	障 害 児 の い る 家 庭 等 へ の 支 援 ・ ケ ア を 充 実 さ せ る	地 域 全 体 で 子 育 て を 支 援 す る 仕 組 み を 充 実 さ せ る
全 体	2,227	42.6	41.7	39.2	39.2	36.5	35.1	34.6	34.4	32.5	31.1
＜家族構成別＞											
一人暮らし	244	26.6	28.3	25.8	27.5	21.7	35.2	25.4	25.8	29.1	24.6
夫婦だけ	591	43.0	38.7	31.5	32.7	27.4	33.8	33.0	33.7	32.5	30.1
親子（2世代）	1,180	46.3	45.9	45.3	44.8	44.2	34.9	37.1	36.6	32.9	33.3
親と子と孫（3世代）	115	40.0	48.7	47.8	47.0	40.9	40.9	36.5	35.7	32.2	29.6
その他	44	36.4	36.4	40.9	27.3	29.5	38.6	38.6	34.1	34.1	25.0
＜子どもの有無別＞											
いる	1,476	47.2	45.7	43.4	44.2	41.5	36.0	35.0	34.3	33.9	33.2
いない	698	32.8	34.2	30.7	29.1	26.4	33.1	34.4	35.1	28.9	26.5
＜子どもの年齢階層別＞											
小学校入学前（0～6歳）	229	64.2	69.0	59.4	68.1	66.4	30.6	51.1	38.4	31.9	41.9
小学生・中学生	303	47.5	46.9	57.8	66.0	66.0	32.0	32.3	37.3	32.7	36.0
高校生・大学生・大学院生 ・短大生・専門学校生	264	45.5	37.9	51.9	45.5	45.8	31.8	33.3	39.4	31.1	30.7
学校教育終了	769	45.4	42.8	35.1	34.3	29.3	39.8	33.7	32.0	34.7	32.4
その他	124	39.5	39.5	39.5	29.8	29.8	38.7	30.6	33.1	38.7	30.6

属 性 別

家族構成別でみると、上位5項目で、「親子（2世代）」、「親と子と孫（3世代）」が4割台であった。子どもの有無別でみると、「不妊に悩む方への支援・ケアを充実させる」を除き、「いる」が「いない」を上回り、上位5項目は10ポイント以上高かった。

子どもの年齢階層別でみると、「小学校入学前（0～6歳）」は、上位5項目で6割前後であった。

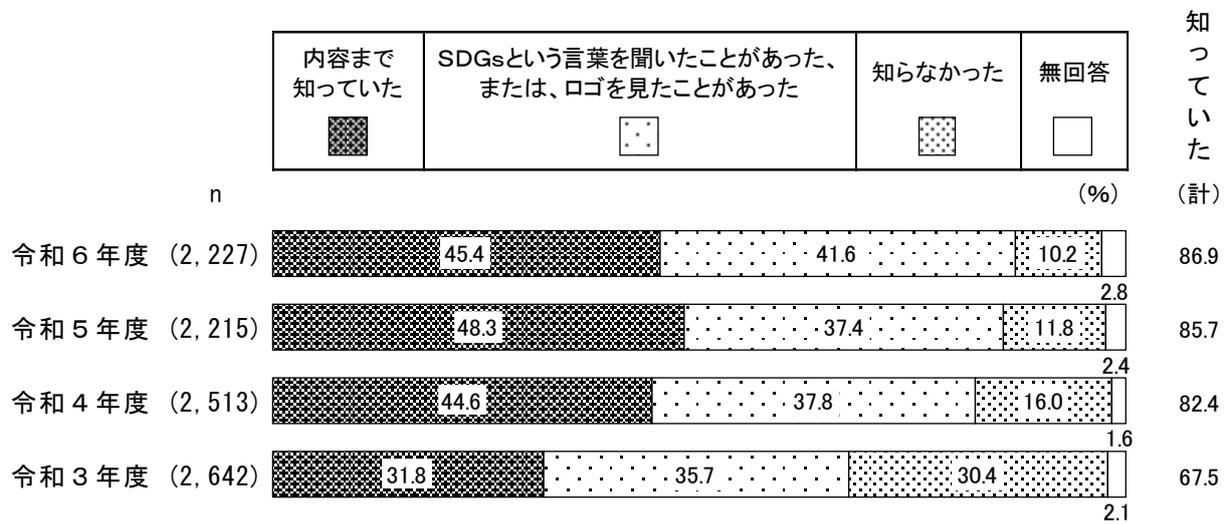
(表6-1-2)

7. SDGs

(1) SDGsの認知度

問16 あなたは、SDGsについてどの程度知っていましたか。(〇は1つ)

図7-1-1 SDGsの認知度

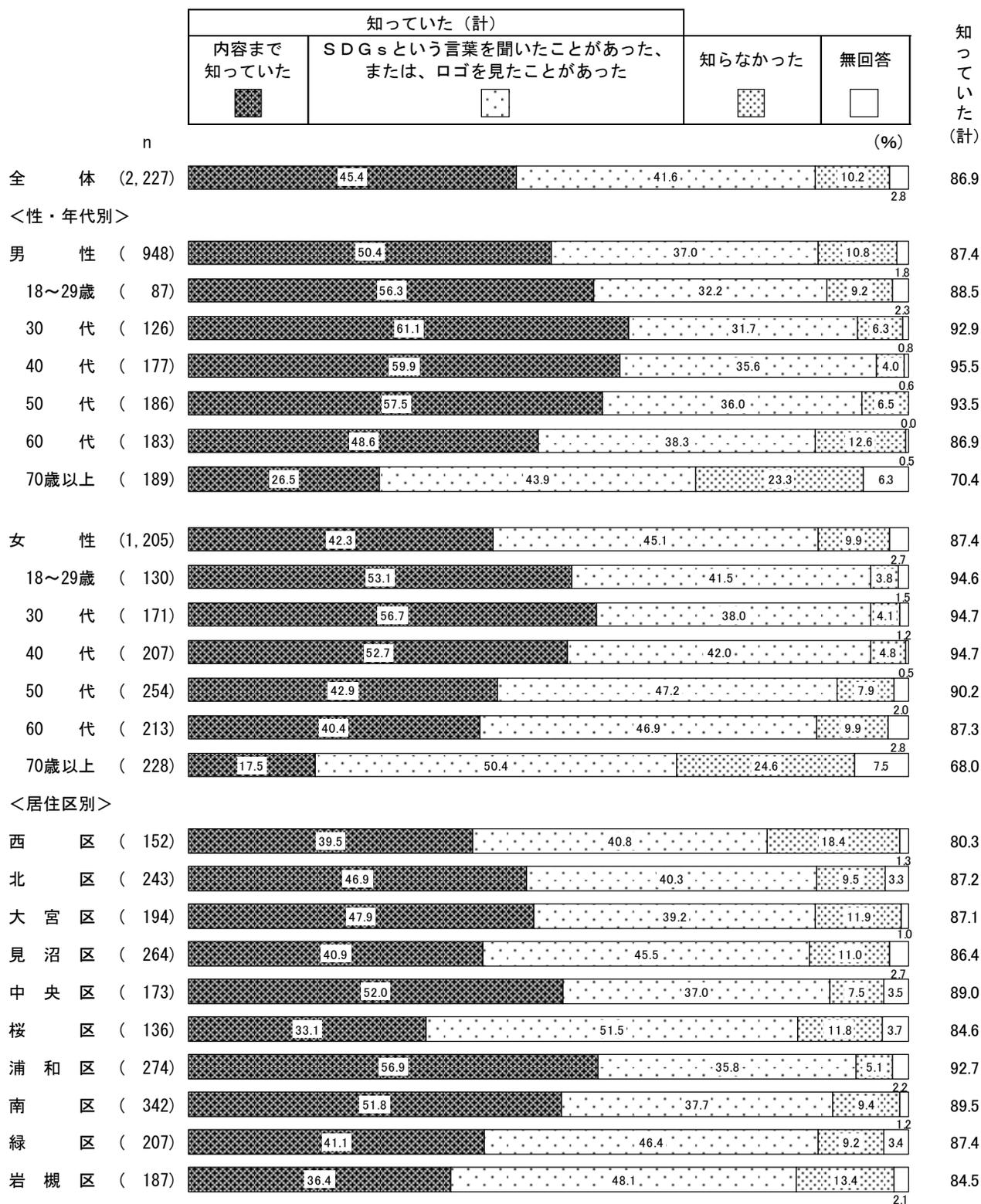


全体結果

「内容まで知っていた」(45.4%)と「SDGsという言葉聞いたことがあった、または、ロゴを見たことがあった」(41.6%)を合わせた『知っていた(計)』(86.9%)は、9割近くであった。一方、「知らなかった」(10.2%)は、1割であった。

過去3年間の調査結果と比較すると、『知っていた(計)』は増加傾向にある。(図7-1-1)

図7-1-2 SDGsの認知度—性・年代別、居住区別—



属性別

性・年代別でみると、『知っていた (計)』は、男性30~50代、女性50代以下で9割台であった。一方、70歳以上は、男女とも7割前後であった。

居住区別でみると、『知っていた (計)』は、浦和区が92.7%で最も高く、すべての区で8割以上であった。(図7-1-2)

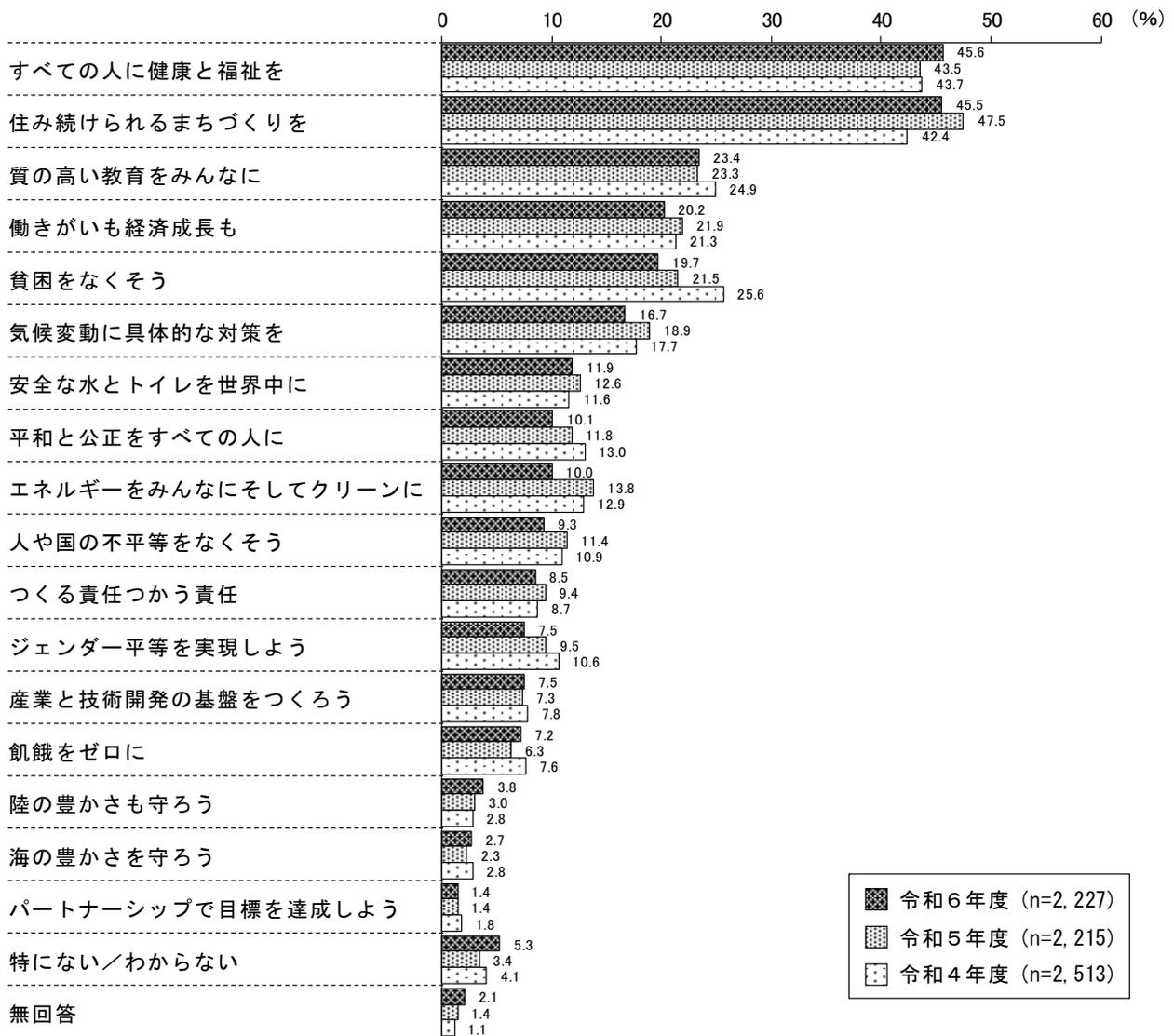
(2) さいたま市が「持続可能な都市」となっていくために実現を重視する目標

問17 SDGsは国際的な目標ですが、様々な地域で一人ひとりがその達成に向けて取り組んでいます。

今後、さいたま市が「持続可能な都市」となっていくために、どの目標の実現を重視するとよいと思いますか。以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

図7-2-1 さいたま市が「持続可能な都市」となっていくために実現を重視する目標



全体結果

「すべての人に健康と福祉を」が45.6%で最も高く、「住み続けられるまちづくりを」(45.5%)、「質の高い教育をみんなに」(23.4%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、「貧困をなくそう」は減少傾向にある。(図7-2-1)

表7-2-1 さいたま市が「持続可能な都市」となっていくために実現を重視する目標
 -性・年代別、居住区別- (上位10項目)

(%)											
	n	すべての人に健康と福祉を	住み続けられるまちづくりを	質の高い教育をみんなに	働きがいも経済成長も	貧困をなくそう	気候変動に具体的な対策を	安全な水とトイレを世界中に	平和と公正をすべての人に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	人や国の不平等をなくそう
全 体	2,227	45.6	45.5	23.4	20.2	19.7	16.7	11.9	10.1	10.0	9.3
<性・年代別>											
男 性	948	42.6	44.6	25.8	21.1	18.7	13.2	11.9	9.6	11.7	7.8
18~29歳	87	37.9	44.8	36.8	25.3	11.5	11.5	6.9	5.7	9.2	5.7
30代	126	34.9	50.0	43.7	25.4	14.3	7.1	11.1	9.5	7.1	5.6
40代	177	43.5	46.9	35.6	21.5	15.8	8.5	13.0	6.8	9.0	5.1
50代	186	44.6	46.2	17.2	23.7	19.9	15.6	9.1	6.5	10.8	8.1
60代	183	45.4	45.4	21.9	20.2	21.3	18.0	15.8	13.7	16.4	8.2
70歳以上	189	44.4	36.5	12.2	14.3	23.8	15.3	12.7	13.2	14.8	12.2
女 性	1,205	48.6	46.8	22.0	19.9	20.6	19.5	11.5	10.4	8.7	10.6
18~29歳	130	49.2	52.3	27.7	21.5	15.4	10.0	10.0	8.5	6.9	8.5
30代	171	50.9	53.8	35.7	22.2	20.5	5.3	16.4	8.2	5.3	11.7
40代	207	44.4	50.2	28.0	24.2	18.4	15.5	9.2	8.7	7.7	8.7
50代	254	53.5	43.7	19.7	19.7	23.2	21.3	7.9	10.2	9.1	12.2
60代	213	51.2	42.7	15.0	19.7	20.7	29.6	9.9	9.4	12.7	11.7
70歳以上	228	43.0	43.0	12.3	14.0	22.4	28.1	16.7	15.4	9.2	10.1
<居住区別>											
西 区	152	47.4	48.0	24.3	19.7	23.0	17.1	17.1	5.9	11.2	9.2
北 区	243	49.0	47.3	23.0	23.0	18.5	16.0	10.7	7.0	13.2	9.1
大宮区	194	38.7	53.1	27.3	25.3	15.5	15.5	10.3	13.9	8.2	7.2
見沼区	264	42.0	43.6	20.5	20.5	24.6	15.9	12.1	15.5	10.6	12.1
中央区	173	41.6	40.5	29.5	20.2	23.1	16.8	11.6	9.8	8.7	8.1
桜 区	136	50.0	47.1	16.9	15.4	22.8	16.9	16.2	7.4	12.5	4.4
浦和区	274	47.8	46.7	29.9	20.4	16.1	17.5	10.6	11.3	9.1	10.6
南区	342	49.1	46.2	22.8	17.8	17.0	16.4	9.6	8.5	9.4	10.8
緑 区	207	46.9	41.5	26.1	21.3	21.7	14.0	13.0	7.7	8.2	6.3
岩槻区	187	45.5	44.4	15.0	19.3	18.2	23.5	11.8	11.2	10.2	12.3

属 性 別

性・年代別でみると、「すべての人に健康と福祉を」、「気候変動に具体的な対策を」は、女性が男性より6ポイント以上高かった。「質の高い教育をみんなに」は、男性30代(43.7%)で4割を超えた。

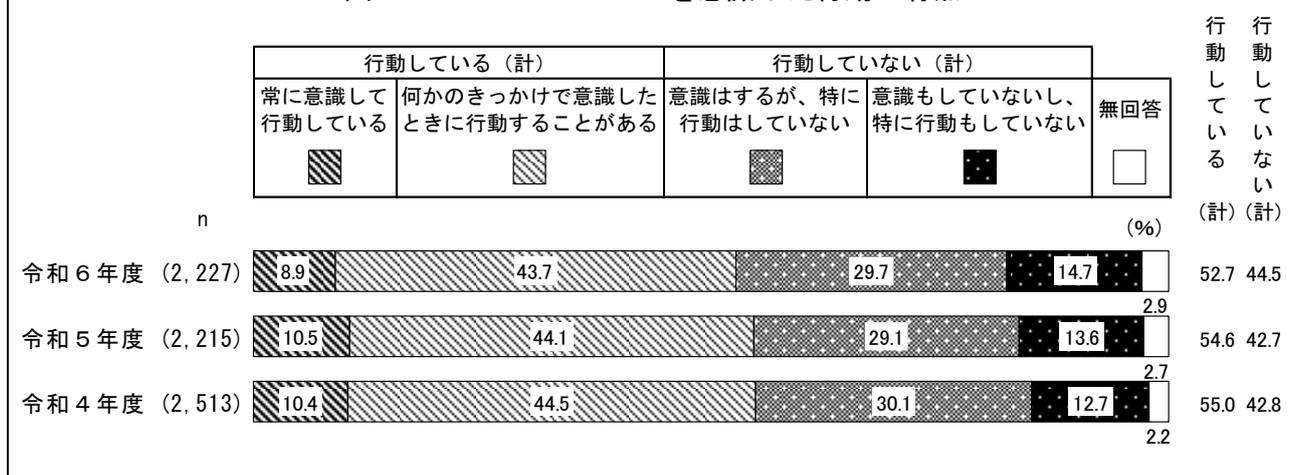
居住区別でみると、「住み続けられるまちづくりを」は、すべての区で4割以上であった。また、「すべての人に健康と福祉を」は、大宮区(38.7%)を除く9区で4割以上であった。

(表7-2-1)

(3) SDGsを意識した行動の有無

問 18 あなたは、家庭や仕事などの日常生活において、SDGsの17の目標のうち、1つでも意識して行動をしていますか。(〇は1つ)

図 7-3-1 SDGsを意識した行動の有無

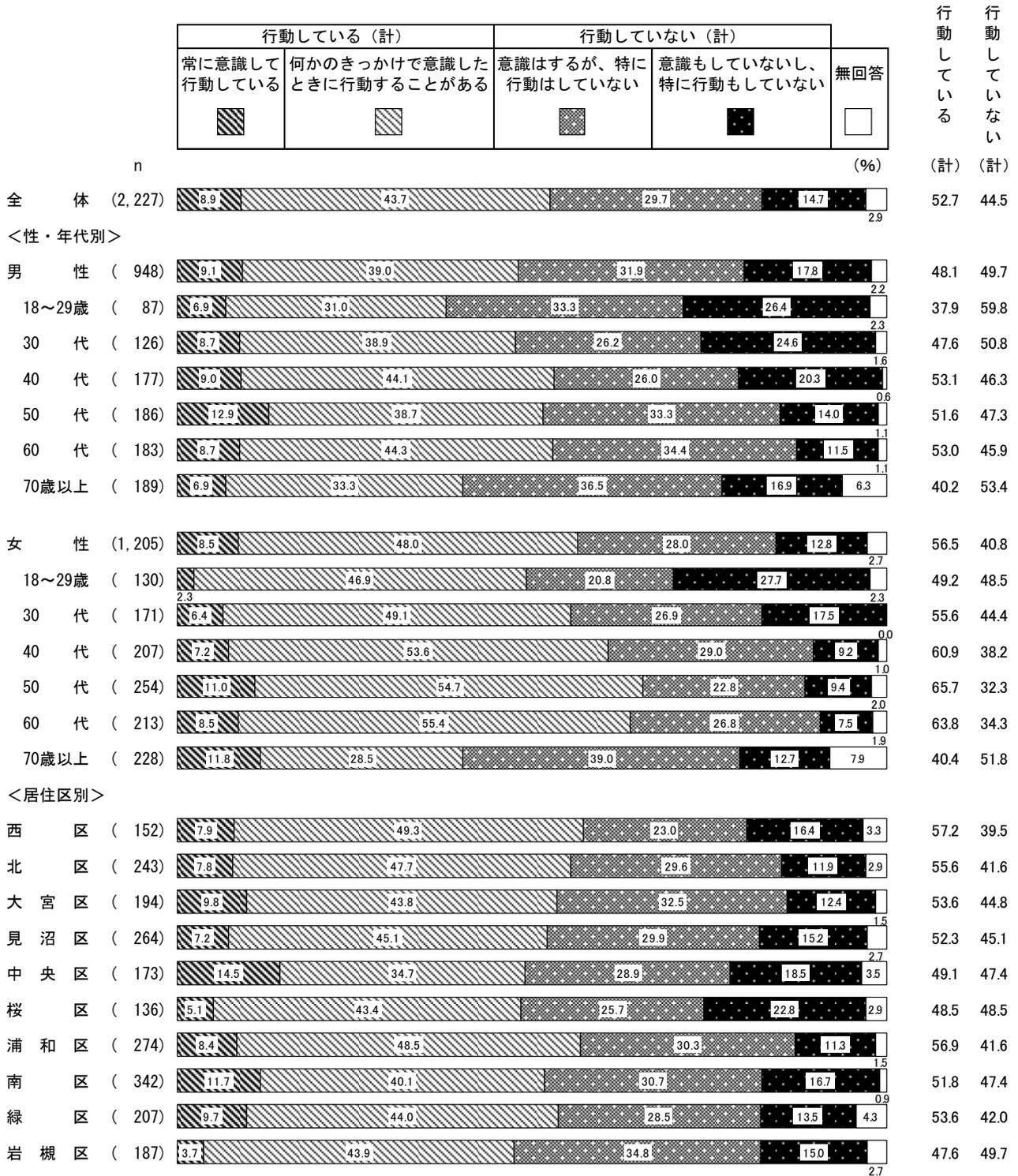


全体結果

「常に意識して行動している」(8.9%)と「何かのきっかけで意識したときに行動することがある」(43.7%)を合わせた『行動している(計)』(52.7%)は、5割を超えた。一方、「意識はするが、特に行動はしていない」(29.7%)と「意識もしていないし、特に行動もしていない」(14.7%)を合わせた『行動していない(計)』(44.5%)は、4割半ばであった。

過去2年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図7-3-1)

図7-3-2 SDGsを意識した行動の有無—性・年代別、居住区別—



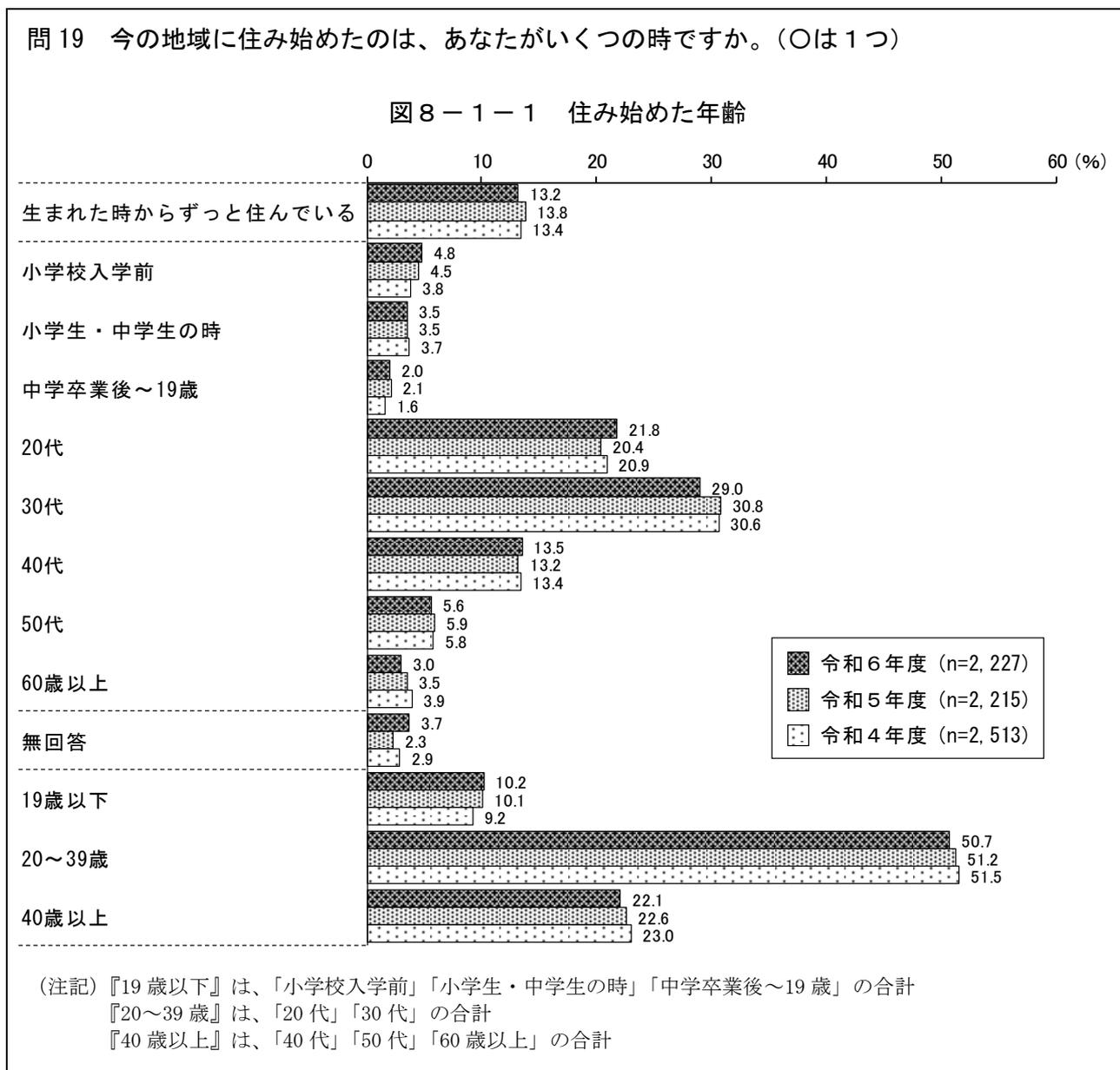
属性別

性・年代別でみると、『行動している (計)』は、女性 (56.5%) が男性 (48.1%) より 8.4 ポイント高く、女性 40代~60代で6割台であった。

居住区別でみると、『行動している (計)』は、西区が 57.2% で最も高く、浦和区 (56.9%)、北区 (55.6%) が続いた。(図7-3-2)

8. 今の地域を選んだ理由

(1) 住み始めた年齢



全体結果

「30代」が29.0%で最も高く、「20代」(21.8%)が続いた。全体の半数以上が20～30代に転入している。

過去2年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図8-1-1)

表 8-1-1 住み始めた年齢-性・年代別、居住区別-

	n	生 ま れ た 時 か ら ず と 住 ん で い る	19歳以下			20～39歳		40歳以上			無 回 答	1 9 歳 以 下	2 0 ～ 3 9 歳	4 0 歳 以 上	(%)
			小 学 校 入 学 前	小 学 生 ・ 中 学 生 の 時	中 学 卒 業 後 ～ 1 9 歳	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 歳 以 上					
全 体	2,227	13.2	4.8	3.5	2.0	21.8	29.0	13.5	5.6	3.0	3.7	10.2	50.7	22.1	
<性・年代別>															
男 性	948	15.4	4.5	3.6	2.7	18.1	29.6	15.6	5.7	3.8	0.8	10.9	47.8	25.1	
18～29歳	87	35.6	12.6	5.7	5.7	39.1	-	-	-	-	1.1	24.1	39.1	-	
30 代	126	15.1	4.0	1.6	3.2	27.8	48.4	-	-	-	-	8.7	76.2	-	
40 代	177	14.1	6.2	2.3	1.1	18.1	39.5	18.1	-	-	0.6	9.6	57.6	18.1	
50 代	186	13.4	4.8	4.8	1.1	15.6	32.8	19.4	7.0	-	1.1	10.8	48.4	26.3	
60 代	183	12.6	2.7	4.4	3.3	7.7	26.8	22.4	12.6	7.1	0.5	10.4	34.4	42.1	
70歳以上	189	12.2	1.1	3.2	3.7	14.8	21.2	20.6	9.5	12.2	1.6	7.9	36.0	42.3	
女 性	1,205	11.9	5.0	3.7	1.5	25.8	29.2	12.6	5.8	2.6	2.0	10.1	55.0	21.0	
18～29歳	130	30.0	16.2	7.7	6.9	36.2	-	-	-	-	3.1	30.8	36.2	-	
30 代	171	9.9	7.0	6.4	1.2	33.3	41.5	-	-	-	0.6	14.6	74.9	-	
40 代	207	6.8	3.4	1.9	1.0	27.5	37.7	20.8	-	-	1.0	6.3	65.2	20.8	
50 代	254	12.6	3.1	5.5	0.8	17.3	30.7	19.3	10.2	-	0.4	9.4	48.0	29.5	
60 代	213	8.9	2.8	0.9	0.5	23.5	32.9	12.7	10.8	5.2	1.9	4.2	56.3	28.6	
70歳以上	228	9.6	2.6	1.3	0.9	24.6	24.1	14.0	9.2	8.8	4.8	4.8	48.7	32.0	
<居住区別>															
西 区	152	19.1	5.3	1.3	2.6	22.4	26.3	13.8	5.9	3.3	-	9.2	48.7	23.0	
北 区	243	12.8	5.3	1.6	1.2	23.0	28.0	12.3	9.5	4.5	1.6	8.2	51.0	26.3	
大 宮 区	194	17.0	5.7	3.1	2.6	24.2	25.8	13.9	4.6	3.1	-	11.3	50.0	21.6	
見 沼 区	264	11.7	4.9	4.5	2.3	22.0	28.4	15.2	5.3	3.4	2.3	11.7	50.4	23.9	
中 央 区	173	15.0	4.0	3.5	2.9	23.7	27.7	13.3	5.2	2.3	2.3	10.4	51.4	20.8	
桜 区	136	11.0	10.3	5.9	2.2	23.5	26.5	11.8	5.9	2.2	0.7	18.4	50.0	19.9	
浦 和 区	274	11.7	5.5	4.4	1.8	21.9	31.4	16.8	4.0	1.8	0.7	11.7	53.3	22.6	
南 区	342	10.2	1.5	3.5	1.5	22.2	34.2	16.1	6.1	2.6	2.0	6.4	56.4	24.9	
緑 区	207	6.8	6.8	4.3	1.4	18.8	36.7	14.5	5.3	2.9	2.4	12.6	55.6	22.7	
岩 槻 区	187	26.2	3.2	3.7	2.7	21.9	25.1	7.0	4.8	4.8	0.5	9.6	47.1	16.6	

属 性 別

性・年代別でみると、『20～39歳』は、女性（55.0%）が男性（47.8%）より7.2ポイント高かった。居住区別でみると、「生まれた時からずっと住んでいる」は、岩槻区（26.2%）が最も高かった。一方、緑区（6.8%）は1割未満であった。（表8-1-1）

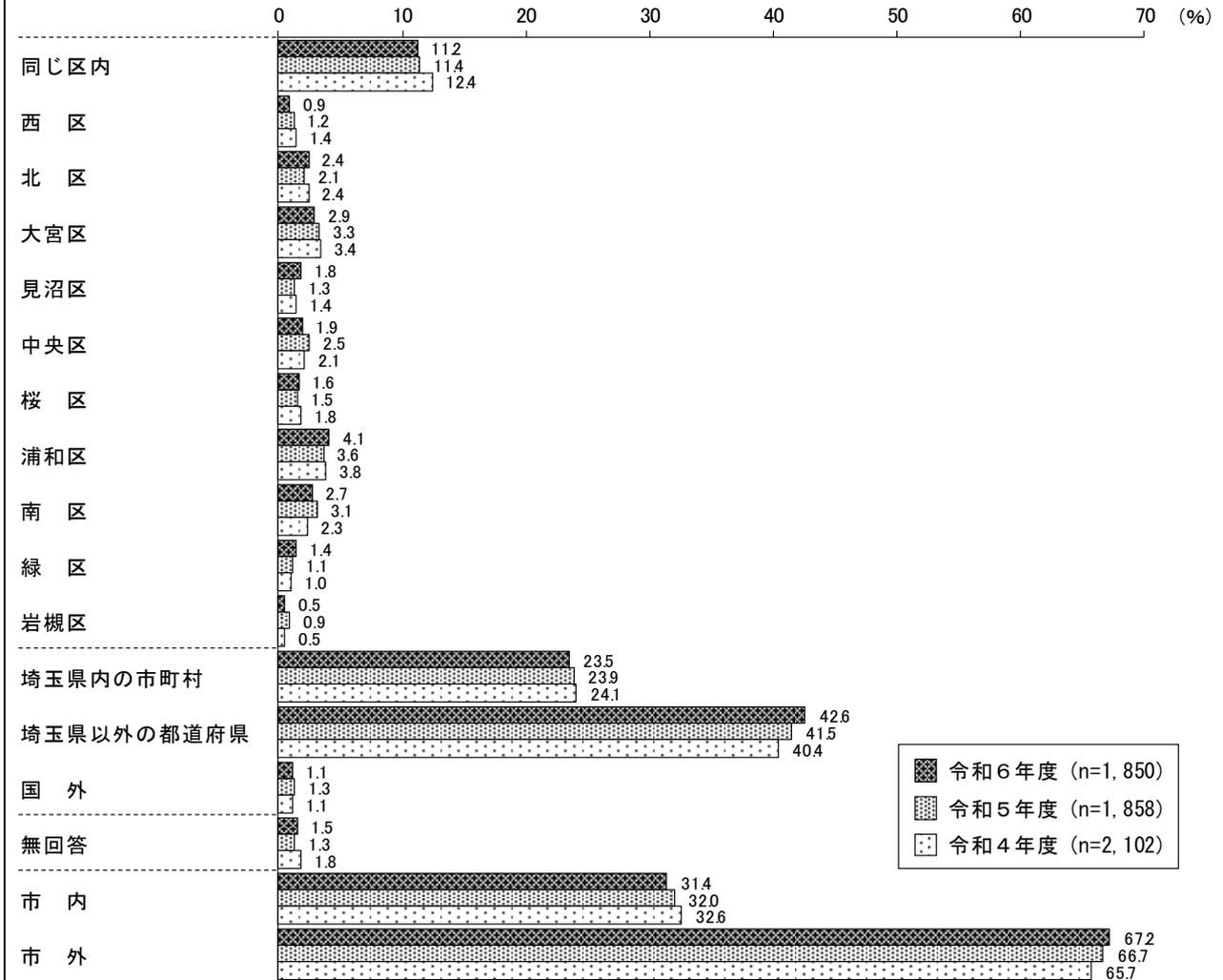
(2) 以前住んでいた地域

(引っ越してきた人に質問します。)

問 19-1 どこから、今の地域に引っ越してきましたか。

同じ区内で転居した方は、現在お住まいの区を選んでください。(○は1つ)

図 8-2-1 以前住んでいた地域



(注記1) 『市内』は、「同じ区内」「西区」「北区」「大宮区」「見沼区」「中央区」「桜区」「浦和区」「南区」「緑区」「岩槻区」の合計

『市外』は、「埼玉県内の市町村」「埼玉県以外の都道府県」「国外」の合計

(注記2) この質問でさいたま市内の10区を答えた人の回答が、居住区(参照: 報告書7ページ・(4)居住区)の回答と同じである人を「同じ区内」に区分して再集計した結果を示している。

全体結果

『市内』は31.4%、「埼玉県内の市町村」は23.5%、「埼玉県以外の都道府県」は42.6%であった。過去2年間の調査結果と、おおむね同じであった。(図8-2-1)

表8-2-1 以前住んでいた地域-性別、今の地域に住み始めた年齢別、居住区別-

	n	市 内											市 外				(%)	
		同 じ 区 内	西 区	北 区	大 宮 区	見 沼 区	中 央 区	桜 区	浦 和 区	南 区	緑 区	岩 槻 区	埼 玉 県 内 の 市 町 村	埼 玉 県 以 外 の 都 道 府 県	国 外	無 回 答	市 内	市 外
全 体	1,850	11.2	0.9	2.4	2.9	1.8	1.9	1.6	4.1	2.7	1.4	0.5	23.5	42.6	1.1	1.5	31.4	67.2
< 性 別 >																		
男 性	794	10.3	0.5	2.5	2.8	2.4	1.4	1.8	4.3	2.0	1.3	0.3	22.9	45.3	1.3	1.0	29.5	69.5
女 性	1,038	12.1	1.3	2.2	3.0	1.4	2.2	1.4	3.8	3.2	1.4	0.7	24.0	40.6	1.1	1.6	32.8	65.6
<今の地域に 住み始めた年齢別>																		
小 学 校 入 学 前	106	9.4	0.9	2.8	4.7	2.8	3.8	-	7.5	3.8	-	-	10.4	48.1	-	5.7	35.8	58.5
小 学 生 ・ 中 学 生 の 時	78	16.7	1.3	2.6	2.6	3.8	1.3	3.8	3.8	1.3	-	1.3	21.8	33.3	3.8	2.6	38.5	59.0
中 学 卒 業 後 ~ 19 歳	44	15.9	-	2.3	6.8	-	-	2.3	-	2.3	-	2.3	34.1	34.1	-	-	31.8	68.2
20 代	485	9.7	1.6	2.5	1.9	1.4	1.6	0.8	3.7	1.6	2.5	0.2	24.3	46.2	1.0	0.8	27.6	71.5
30 代	645	10.2	0.2	2.0	3.1	1.7	1.9	2.0	3.6	2.3	0.8	0.5	25.0	45.0	0.9	0.9	28.2	70.9
40 代	301	12.6	0.3	2.3	2.3	0.3	1.0	1.3	5.6	4.3	1.3	0.7	24.6	40.2	1.7	1.3	32.2	66.4
50 代	124	13.7	3.2	4.0	3.2	4.0	3.2	0.8	4.0	4.0	2.4	1.6	18.5	33.9	1.6	1.6	44.4	54.0
60 歳 以 上	67	14.9	1.5	1.5	4.5	6.0	4.5	4.5	1.5	4.5	1.5	-	22.4	28.4	-	4.5	44.8	50.7
< 居 住 区 別 >																		
西 区	123	11.4	-	9.8	8.1	1.6	2.4	1.6	2.4	1.6	2.4	0.8	19.5	37.4	-	0.8	42.3	56.9
北 区	208	13.9	2.9	-	5.3	6.3	2.9	0.5	1.9	2.4	0.5	-	26.9	34.1	1.4	1.0	36.5	62.5
大 宮 区	161	14.9	1.2	3.1	-	1.9	2.5	2.5	5.0	1.2	1.9	-	20.5	41.6	1.9	1.9	34.2	64.0
見 沼 区	227	11.9	1.3	6.2	4.0	-	2.2	0.4	2.6	0.9	1.3	1.8	22.9	41.4	1.8	1.3	32.6	66.1
中 央 区	143	13.3	1.4	2.1	4.2	1.4	-	5.6	6.3	4.2	0.7	-	14.0	44.8	-	2.1	39.2	58.7
桜 区	120	11.7	1.7	-	2.5	0.8	5.0	-	3.3	5.8	1.7	-	17.5	47.5	0.8	1.7	32.5	65.8
浦 和 区	240	12.9	-	1.3	2.5	1.3	2.9	1.3	-	3.8	1.7	0.4	19.2	49.2	2.1	1.7	27.9	70.4
南 区	300	8.7	-	0.7	1.0	0.3	0.7	2.7	6.7	-	2.0	0.7	25.0	50.0	1.3	0.3	23.3	76.3
緑 区	188	6.9	-	1.1	1.6	2.7	1.1	0.5	6.9	9.0	-	1.1	29.8	37.8	-	1.6	30.9	67.6
岩 槻 区	137	8.0	1.5	2.2	1.5	2.9	-	0.7	5.8	-	1.5	-	37.2	35.8	0.7	2.2	24.1	73.7

属 性 別

今の地域に住み始めた年齢別でみると、『市外』は、すべての年代で5割以上であり、20代(71.5%)、30代(70.9%)は7割台であった。一方、『市内』は、50代以上で4割半ばであった。

居住区別でみると、『市内』は西区(42.3%)、『市外』は南区(76.3%)が最も高かった。

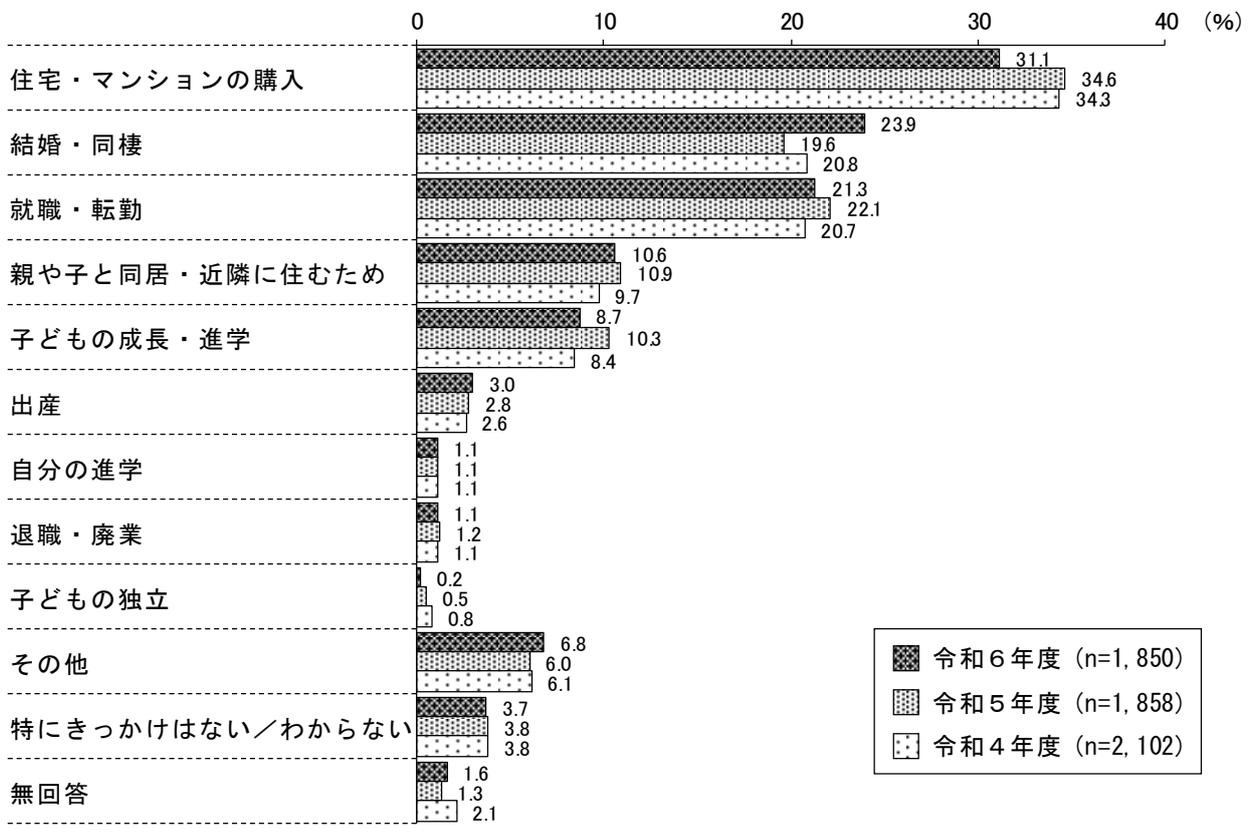
(表8-2-1)

(3) 以前の場所から引っ越してきたきっかけ

(引っ越してきた人に質問します。)

問 19-2 以前の地域から引っ越してきたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

図 8-3-1 以前の場所から引っ越してきたきっかけ



全体結果

「住宅・マンションの購入」が31.1%で最も高く、「結婚・同棲」(23.9%)、「就職・転勤」(21.3%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「結婚・同棲」は4.3ポイント増加した。一方、「住宅・マンションの購入」は3.5ポイント減少した。(図8-3-1)

表 8-3-1 以前の場所から引っ越してきたきっかけ-性別、今の地域に住み始めた年齢別、
以前住んでいた地域別、居住区別-

(%)													
	n	購住宅・マンションの	結婚・同棲	就職・転勤	に親や子と同居・近隣	子どもの成長・進学	出産	自分の進学	退職・廃業	子どもの独立	その他	／特にきっかけはない	無回答
全体	1,850	31.1	23.9	21.3	10.6	8.7	3.0	1.1	1.1	0.2	6.8	3.7	1.6
<性別>													
男性	794	33.0	19.0	27.1	9.6	8.1	2.6	1.3	1.0	0.1	6.5	3.8	1.8
女性	1,038	29.7	27.8	16.9	11.7	9.2	3.4	1.1	1.2	0.3	6.9	3.5	1.3
<今の地域に住み始めた年齢別>													
小学校入学前	106	26.4	1.9	20.8	15.1	2.8	2.8	6.6	-	-	9.4	12.3	8.5
小学生・中学生の時	78	41.0	5.1	23.1	7.7	-	1.3	-	-	-	15.4	12.8	1.3
中学卒業後～19歳	44	31.8	6.8	15.9	18.2	2.3	-	18.2	2.3	-	4.5	4.5	-
20代	485	16.7	49.7	21.4	6.4	3.7	3.9	1.0	0.4	-	3.9	3.9	0.6
30代	645	37.5	24.3	22.0	9.3	13.5	4.8	0.2	0.6	-	5.3	1.1	0.8
40代	301	39.9	8.6	23.9	13.0	13.3	0.7	-	1.3	0.3	6.6	1.7	1.7
50代	124	33.1	5.6	20.2	16.9	9.7	-	-	2.4	1.6	12.1	4.8	1.6
60歳以上	67	26.9	4.5	6.0	23.9	-	-	-	9.0	1.5	19.4	9.0	6.0
<以前住んでいた地域別>													
市内	580	43.3	17.9	8.6	10.7	9.0	2.9	0.9	1.7	0.3	6.9	5.3	1.7
同じ区内	208	39.9	18.3	13.5	10.1	10.6	4.3	0.5	1.4	1.0	3.4	2.9	3.4
西北区	17	11.8	29.4	11.8	17.6	-	5.9	-	-	-	17.6	5.9	5.9
北大宮区	44	56.8	13.6	2.3	4.5	13.6	-	2.3	-	-	-	13.6	-
大見宮区	53	45.3	20.8	-	9.4	5.7	3.8	1.9	1.9	-	11.3	5.7	1.9
見沼区	34	41.2	17.6	2.9	11.8	8.8	-	-	-	-	17.6	8.8	2.9
中央区	35	60.0	5.7	11.4	11.4	8.6	2.9	-	-	-	-	8.6	-
桜浦和区	29	55.2	13.8	10.3	13.8	6.9	3.4	-	3.4	-	6.9	3.4	-
浦南区	75	44.0	22.7	4.0	13.3	8.0	1.3	1.3	1.3	-	2.7	6.7	-
南緑区	50	48.0	12.0	8.0	10.0	12.0	4.0	2.0	6.0	-	14.0	4.0	-
岩槻区	25	24.0	28.0	16.0	8.0	4.0	-	-	4.0	-	20.0	-	-
	10	30.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	10.0	-
市外	1,243	26.0	27.1	27.3	10.9	8.6	3.1	1.3	0.8	0.2	6.8	2.7	0.5
埼玉県内の市町村	434	32.5	33.4	11.5	11.8	9.9	3.0	0.2	0.9	0.2	8.5	3.2	0.5
埼玉県以外の都道府県	788	23.0	24.0	34.8	10.4	8.1	3.3	1.9	0.8	0.1	6.0	2.5	0.5
国	21	4.8	14.3	71.4	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-
<居住区別>													
西北区	123	41.5	18.7	22.0	13.0	7.3	1.6	-	2.4	-	4.1	4.9	-
西北区	208	28.4	28.8	18.3	11.1	5.8	2.9	0.5	-	1.0	10.1	1.9	2.4
北大宮区	161	28.6	18.6	22.4	14.3	5.6	1.9	1.9	-	-	9.9	4.3	1.9
大見宮区	227	31.7	20.7	20.7	8.4	9.3	1.8	1.3	0.9	0.4	6.2	4.8	3.1
見沼区	143	31.5	22.4	22.4	11.9	7.7	4.2	2.1	2.8	-	4.9	1.4	2.1
中央区	120	30.0	20.8	18.3	10.0	4.2	1.7	2.5	0.8	-	11.7	6.7	1.7
桜浦和区	240	33.3	24.6	25.8	10.0	10.0	3.3	2.1	0.4	-	3.8	3.3	0.8
浦南区	300	28.3	28.7	23.0	9.3	8.3	4.7	0.3	1.3	0.3	5.3	2.7	0.7
南緑区	188	30.3	19.7	20.7	12.8	18.6	3.7	0.5	2.1	-	6.4	4.8	0.5
岩槻区	137	32.8	32.1	14.6	8.0	7.3	2.9	0.7	0.7	-	8.0	3.6	2.2

属性別

性別でみると、「就職・転勤」は、男性（27.1%）が女性（16.9%）より10.2ポイント高かった。また、「結婚・同棲」は、女性（27.8%）が男性（19.0%）より8.8ポイント高かった。

今の地域に住み始めた年齢別でみると、「結婚・同棲」は、20代が49.7%で最も高く、30代（24.3%）が続いた。「住宅・マンションの購入」は、小学生・中学生の時（41.0%）で4割を超え、「親や子と同居・近隣に住むため」は、60歳以上（23.9%）で2割を超えた。

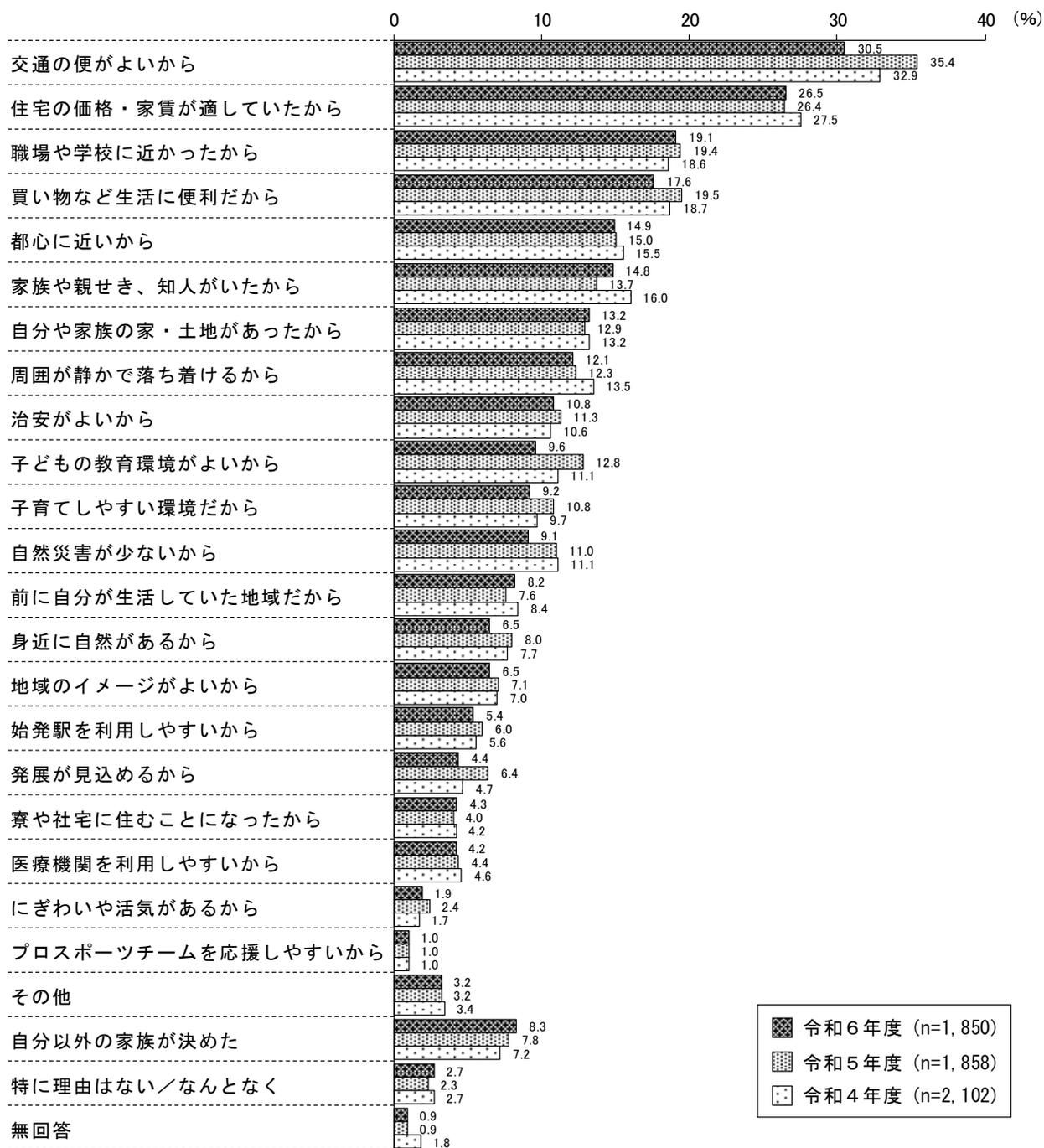
以前住んでいた地域別でみると、「住宅・マンションの購入」は、『市内』（43.3%）が『市外』（26.0%）より17.3ポイント高かった。一方、「就職・転勤」は、『市外』（27.3%）が『市内』（8.6%）より18.7ポイント高かった。（表8-3-1）

(4) 今の地域を選んだ理由

(引っ越してきた人に質問します。)

問 19-3 今の地域を選んだ大きな理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図 8-4-1 今の地域を選んだ理由



全体結果

「交通の便がよいから」が30.5%で最も高く、「住宅の価格・家賃が適していたから」(26.5%)、「職場や学校に近かったから」(19.1%)、「買い物など生活に便利だから」(17.6%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「交通の便がよいから」は4.9ポイント減少した。(図8-4-1)

表 8-4-1 今の地域を選んだ理由－性別、今の地域に住み始めた年齢別、
以前住んでいた地域別、居住区別－（上位 10 項目）

	n	交通の便がよいから	住宅の価格・家賃が適していたから	職場や学校に近かったから	買い物など生活に便利だから	都心に近いから	家族や親せき、知人がいたから	自分や家族の家・土地があつたから	周囲が静かで落ち着けるから	治安がよいから	子どもの教育環境がよいから
全体	1,850	30.5	26.5	19.1	17.6	14.9	14.8	13.2	12.1	10.8	9.6
<性別>											
男性	794	34.3	30.6	21.5	17.9	18.9	15.0	10.6	13.0	11.1	8.7
女性	1,038	27.6	23.3	17.3	17.3	11.8	14.9	15.4	11.5	10.6	10.1
<今の地域に住み始めた年齢別>											
小学校入学前	106	8.5	7.5	7.5	4.7	7.5	16.0	17.0	2.8	4.7	3.8
小学生・中学生の時	78	12.8	9.0	10.3	3.8	6.4	14.1	20.5	5.1	2.6	2.6
中学卒業後～19歳	44	22.7	9.1	22.7	11.4	18.2	9.1	29.5	6.8	4.5	2.3
20代	485	27.8	25.2	23.1	16.1	14.2	14.2	15.9	9.3	9.1	5.4
30代	645	36.0	32.6	17.8	20.0	16.3	14.9	10.5	14.6	12.4	15.3
40代	301	36.2	29.6	22.3	22.6	17.6	15.0	10.6	15.6	15.0	13.3
50代	124	35.5	29.8	22.6	20.2	16.1	12.9	11.3	14.5	12.1	4.0
60歳以上	67	23.9	20.9	7.5	19.4	10.4	23.9	9.0	13.4	10.4	-
<以前住んでいた地域別>											
市内	580	26.9	30.9	17.1	18.8	8.3	11.2	12.1	14.3	9.7	7.9
同じ区内	208	30.8	26.4	20.2	16.8	11.5	13.0	12.0	15.4	11.5	9.1
西区	17	41.2	23.5	5.9	17.6	17.6	23.5	-	-	-	5.9
北区	44	34.1	38.6	27.3	18.2	2.3	2.3	11.4	18.2	13.6	4.5
大宮区	53	17.0	39.6	20.8	18.9	13.2	11.3	9.4	18.9	7.5	1.9
見沼区	34	20.6	32.4	20.6	26.5	-	20.6	8.8	11.8	14.7	11.8
中央区	35	22.9	40.0	17.1	22.9	2.9	-	8.6	17.1	5.7	8.6
桜区	29	34.5	31.0	6.9	27.6	6.9	10.3	6.9	6.9	10.3	10.3
浦和区	75	17.3	26.7	10.7	13.3	4.0	13.3	20.0	10.7	5.3	5.3
南区	50	26.0	48.0	10.0	26.0	6.0	4.0	4.0	20.0	12.0	14.0
緑区	25	32.0	12.0	20.0	12.0	16.0	12.0	24.0	12.0	8.0	8.0
岩槻区	10	20.0	10.0	-	20.0	-	20.0	40.0	-	-	-
市外	1,243	32.8	24.9	20.4	17.3	18.1	16.6	13.7	11.2	11.3	10.5
埼玉県内の市町村	434	32.7	24.4	19.8	18.9	12.4	13.1	15.7	15.0	13.4	10.1
埼玉県以外の都道府県	788	33.1	25.6	20.4	16.5	21.3	18.8	12.3	9.0	10.2	10.2
国	21	23.8	9.5	28.6	14.3	14.3	4.8	23.8	14.3	14.3	28.6
<居住区別>											
西区	123	17.1	27.6	24.4	10.6	12.2	20.3	12.2	12.2	8.9	3.3
北区	208	31.3	25.5	21.6	23.1	11.5	17.3	11.5	12.5	6.3	4.8
大宮区	161	39.1	19.3	16.1	26.1	16.8	16.1	19.3	11.8	8.1	6.2
見沼区	227	25.6	33.0	17.6	13.7	12.8	13.7	14.5	11.5	5.3	4.0
中央区	143	37.1	28.7	18.9	18.9	14.0	14.0	10.5	9.8	11.2	6.3
桜区	120	17.5	40.0	22.5	10.0	12.5	9.2	9.2	10.0	3.3	3.3
浦和区	240	43.3	18.3	20.0	24.2	23.8	15.4	14.6	11.3	22.9	27.5
南区	300	44.0	23.7	18.3	19.7	20.3	12.7	12.0	12.7	16.3	13.3
緑区	188	19.7	28.7	14.4	13.3	12.2	12.2	11.2	17.6	9.6	12.8
岩槻区	137	7.3	29.2	19.7	8.0	2.9	19.7	16.8	8.8	6.6	0.7

属性別

性別で見ると、「交通の便がよいから」、「住宅の価格・家賃が適していたから」、「都心に近いから」は、男性が女性より 6.0 ポイント以上高かった。

今の地域に住み始めた年齢別で見ると、「交通の便がよいから」は、30代～50代、「住宅の価格・家賃が適していたから」は、30代（32.6%）で3割台であった。

以前住んでいた地域別で見ると、「住宅の価格・家賃が適していたから」は、『市内』（30.9%）が『市外』（24.9%）より 6.0 ポイント高かった。一方、「都心に近いから」は、『市外』（18.1%）が『市内』（8.3%）より 9.8 ポイント高かった。

居住区別で見ると、「交通の便がよいから」は、南区（44.0%）、浦和区（43.3%）、「住宅の価格・家賃が適していたから」は、桜区（40.0%）で4割台であった。（表 8-4-1）